

第七十一回帝國議會  
衆議院

## 第三回

## 貿易及關係產業ノ調整ニ關スル法律案外二件委員會議錄(速記)

付託議案  
提出、貴族院送付  
貿易組合法案(政府提出、貴族院送付)  
工業組合法案(政府提出、貴族院送付)

(六八)

		外務事務官 山形 清君
昭和十二年八月五日(木曜日)午前十時二十 五分開議		
出席委員左ノ如シ		
委員長 増田 義一君		
理事寺島 権藏君 理事行吉 角治君		
理事中村 梅吉君理事川崎巳之太郎君		
飯塚春太郎君 津原 武君		
原 玉重君 渡邊玉三郎君		
木村 淩七君 西村金三郎君		
川副 隆君 江羅直三郎君		
中田 儀直君 田中源三郎君		
吉植 庄亮君 倉元 要一君		
松浦 伊平君 會和 義式君		
坂田 道男君 高岡 大輔君		
北 勝太郎君 坂本宗太郎君		
加藤 錄造君 井上 良次君		
三田村武夫君		
出席國務大臣左ノ如シ		
出席政府委員左ノ如シ		
商工大臣 吉野 信次君		
外務省通商局長 松嶋 鹿夫君		

イト思ヒマス、ドウゾ其意味デ御質問願ヒ  
タイト思ヒマス、尙ホ本日中ニ質疑ヲ終了  
シテ、明日午前中ニ討論ニ移リタイト云フ  
考デアリマスカラ、是亦御含ミ置キヲ願ヒ  
タイト思ヒマス——田中源三郎君  
「バランス」ヲドウ云フヤウニ見テ居ラレル  
カ、其見透シヲ伺ヒタイト思ヒマス  
○田中委員 最初ニ政府ハ下半期ノ貿易ノ  
貿易及關係產業ノ調整ニ關スル法律案  
(政府提出、貴族院送付)  
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ  
貿易及關係產業ノ調整ニ關スル法律案  
(政府提出、貴族院送付)  
貿易組合法案(政府提出、貴族院送付)  
工業組合法中改正法律案(政府提出、貴族  
院送付)  
○増田委員長 是ヨリ貿易及關係產業ノ調  
整ニ關スル法律案外二件ノ委員會ヲ開キマ  
ス——御承知ノヤウニ會期モ明後日限リト  
云フコトデ、愈、時間ガ乏シイノニアリマシ  
テ、只今理事諸君トモ御相談シテ質問應答  
ノ時間ヲ制限致シタイ、ト申シマスノハ十  
二名質疑者ガアリマシテ、是ガ一人三十分  
間ヅツトシテ六時間掛ル譯アリマス、ソレ  
デ成ベク質疑應答ノ時間ヲ一人三十分ニ限  
定シテ、質疑ノ重複ヲ避ケルヤウニ致シタ  
ト仰シヤルナラバ、強ヒテ尋ネル譯ニモ行  
カナイ、答ヘテ戴クコトモ出來ナイノデア  
リマスガ、過日來ノ本會議ニ於キマシテモ、  
貿易收支ノ均衡上本年度ハ現在ノ正貨現送  
ノ上ニ於テモ、日銀等ノ手持ノ關係カラ左  
様ナ心配スル程度デモナイガ、來年度カラ  
ハ產金ノ限度ニ之ヲ止メル、斯ウ云フコト  
ハ屢々申サレテ居ルヤウデアリマス、然ラバ  
產金ノ額ガ假ニ將來二億圓カ二億二三千萬  
圓位出來ルト云フコトニ想定致シマスト、此  
範圍ニ於テ輸出入ノ管理ガ行ハレルト云フ  
コトヲ考ヘナケレバナラヌ、サウスルト必  
然的ニ輸出入ノ統制ノ上ニ於テ、各種ノ物  
價ガ昂騰シテ來ルト云フコトハ明カナ事實  
デアリマス、既ニ本日ノ新聞ニ於キマシテ  
モ、モウ大分騰シテ居ル、ハッキリト騰ッタモ  
ノニ付テ新聞ニ報道シテ居ルモノモアルノ  
デアリマス、隨テ物價騰貴ガ國民生活ノ上  
ニ於テ非常ナ脅威ヲ齎ス、爲替管理ノ關係、  
產金ノ程度ニ於テ管理ヲ致シテ行キマスル  
トニ相成ルノデアリマスガ、此點ニ於テ爲  
替管理ト輸出入ノ統制ト產金トノ此ニツ

○寺尾政府委員　此法律ノ適用ニ依リマシテ、直接ニ物價ノ騰貴ヲ抑制スルト云フコトガ到達セラル、意味デハナイノデアリマシテ、今御話ノアリマシタヤウナ物價騰貴ト云フヤウナコトニ對シマシテハ、本法ノ關係ノミデナク、有ユル觀點カラ是ガ對策ヲ講ジテ行カナケレバナラヌト思フノデアリマス、併シ本法ノ關係ニ於キマシテモ、第一條第四號デ「國民經濟ノ健全ナル發達ヲ圖ル爲重要物資ノ供給ヲ適正ナラシメントスルトキ」此條項ノ適用ニ依ッテ、或種ノ重要物資ヲ海外ニ留保スルト云フヤウナ措置モ執ルコトガ出來ルノデアリマス、サウト云フ點カラ申シマスレバ、ヤハリ此法律ノ適用ノ結果、間接ニ物價ノ騰貴ヲ抑制スルアリマス、全般ノ物價騰貴ニ對スル對策如何ト云フ問題ニ關シマシテハ、私カラ御答スルコトニ行カヌト思ヒマスカラ、是ハ又適當ナ機會ニ於テ他ノ方カラデモ申上ゲタ方ガ宜クハナイカト云フヤウニ考ヘテ居リカレル考デアリマスルカ承リタイ

○田中委員 ソレデハ商工次官ナリ大臣ニ  
此處へ出席シテ戴イテ御答辯ヲ願ハナケレ  
官カラ第一ニハ「政府ハ輸入ノ禁止、抑制  
ヲ致シマスル場合ニ於キマシテモ、商工次  
業ノ原料デアルモノニ對シマシテハ、適當  
ナル輸入ヲ許シマシテ、サウシテ此事業ガ  
沈衰スルコトヲ防グヤウニ致シマスルコト  
ガ適當デアル」斯ウ云フ風ニ御答ニナッテ居  
リマスルガ、私ハ然ラバ之ニ對シテ輸出產  
業ノ原料デアル棉、羊毛ヲ適當ニ輸入ヲ許  
可スルト云フコトハ、ドウ云フ手續ヲ御執  
リニナルカ、之ヲ伺ヒタイ

リマスカラ、其規定ノ適當ナ運用ニ依リマ  
シテ、御話ノヤウナ點ニ付テ善處スルコト  
ガ出來ルカト考ヘテ居リマス  
○田中委員 今ノ御答ノヤウナコトデアリ  
マシタナラバ、左様ナ自治的ニ當業者ノ間  
ニ於テ出來レバ宜シイガ、申々サウ云フ  
ナコトハ實際上ニ於テ私共ハ出來ルモノデ  
ハナイト見テ居ル、必然的ニ輸出入ノ統制  
ヲヤリマスルナラバ、必ズ貿易ノ上ニ於テ  
輸出入ニ於キマシテモ萎靡沈滯スルト云フ  
コトハ、是ハモウ分リ切ツタ事實デアル、其  
間ニ折角開拓致シマシタ色々ナ海外市場ノ  
得意先モ、段々諸外國ニ侵蝕サレテ行クト  
云フコトモ、是ハ分ツテ來ル事實デアリマ  
ス、ソコデ私ハ時間モナイコトデスカラ、  
是ハ其程度ニ止メテ置キマシテ、其次ニ伺  
ヒマスルコトハ、必然的ニ只今申シマシタ  
ヤウニ、輸出入ノ上ニ於テ必ズ今後總テノ  
品物ガ私ハ不足ヲ致シテ來ルグラウト思  
フ、不足ヲ致シテ來ルナラバ自然的ニ又物  
資ノ消費竝ニ分配ノ方法ヲ付ケテ行カナケ  
レバナラヌト思フノデアリマスルガ、將來  
サウ云フ方面ニ付テハ、政府ハドウ云フ御  
考ヲ持ツテ居ラレルカ、是モ承リタイ

○寺尾政府委員 其點ニ付キマシテモ、過  
日政務次官ヨリ本會議ニ於テ御答ニナッタ  
ノデゴザイマスガ、御話ノヤウニ輸入等ヲ  
制限致シマシタ際ニ、先程申上げマシタヤ  
ウナ統制ノ方法ニ依リマシテ、出來得ル限  
リ其輸入品ニ付テ配給ノ方面ニ付テノ適當  
ナル調整ト云フコトヲ此本法ノ關係ニ於テ  
モヤリ得ルノデアリマス、唯併シ其ヤリ得  
ルノハ、此輸入ニ直接關係シテ居リマス輸  
入業者竝ニ生産業者ノ間ニ於テ、右申シマ  
シタヤウナ調整ニ關スル統制ヲヤルコトガ  
出來ルノデアリマス、更ニソレヨリ進ンデ  
消費ノ先々マデモ本法ニ依ツテ調整ガ出來  
ルカト申シマスト、其點ハ必シモ本法ダケ  
ノ力デハ出來ナイノデアリマス、ソレハ又  
別途其點ニ付テノ然ルベキ方法ト云フモノ  
ヲ考究致サナケレバナラヌト考ヘテ居リマ  
ス

ニナツテ來マシタナラバ、必然的ニドウシテモ爲替管理ノ關係ニ於テ物價ガ騰貴シテ來、サウシテ其輸出入ノ上ニ於キマシテ非常ニ沈滯ヲ致シテ來ルシ、國民ノ生活ノ上ニ脅威ヲ及ボシテ來ルト云フコトハ、是ハハツキリシタ事實デアリマス、如何ニ統制ノ方法ヲ政府ガ發動サレテ自治的ニ當業者ニヤラセラレルト言ハレマシテモ、左様ナコトデアナタノ仰シヤルヤウナ机上論通リニハ行カヌノデアリマス、デアリマスカラ、ハツキリシタ貿易上ノ見透シヲ付ケテ——

ナラバ、餘程此三點ニ付テシカリトシタ考ヲ以テ進メテ行ツテ戴カナケレバ、私ハ國家ノ爲ニ非常ナ不利ヲ來スコトニナルダラウト思フノデアリマス、此三點ニ付テ先程アナタカラ答ヘ惡イト云フコトデアリマシタカラ、明日ノ討論マデニ次官若クハ大臣カラシハツキリシタ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレデナイトアトノ質問ヲ續ケテ行クコトガ出來ナイノデアリマス、是ダケ御願ヲ致シテ置キタイト思ヒマス。

其次ニハ工業組合ノ方ノ問題デアリマスガ、昨日モ是ハ渡邊サンカラ頻リニ御質問ニ運用サレテ行クト云フコトニ付テハ、ドガアツヤウデアリマスルガ、統制ダケノ工業組合ヲ御作リニナリマスト、從來同業組合デヤツテ居リマスルコト非常ナ摩擦ガ生ジテ來ルノデアリマス、私共ノ考デハ現ガアツヤウデアリマスルガ、統制ダケノ工業組合ト工業組合トノ間ニ此法ガ圓滑居ラレルノデハナカラウカ、實際論カラ考ヘタラ中々昨日御答ノ程度ノヤウナモノデスルケレドモ、私ハ政府ノ方デモ大分困ッテスルナラバ、恐ラク法律ハ出シテ居ラレマスガ、大體ニ於テ見透シヲ付ケテ置イテ、適宜ニ其補充スベキ品物ヲ考ヘ出シテ行ク、例ヘバ羊毛ナラ羊毛ノ問題ニ對シテハ、羊毛ニ代ルベキ代用品ガアルカドウカト云フ問題ガ必然的ニ起キテ來ルガ、ステープル・ファイバー」ノヤウナ物デ以テ羊毛ニ代用スルコトハ絶對出來ナイ、サウ云フ風ニ考ヘテ行カレマスナラバ、又繰返シテ申上ゲルヤウニナリマスケレドモ、必ズ茲ニサウ云フ主要ナ總テノ物資ニ對シテ缺乏ガアテ、其價格ガ騰貴シテ來ルト云フ問題ガアル、又反面ニアナタノ只今ノ御答カラ推察致シマシテ考ヘテ見ルナラバ、必然的ニ各國トノ間ニ「パートナ」制ノヤウナ問題ガ

ニナツテ來マシタナラバ、必然的ニドウシテモ爲替管理ノ關係ニ於テ物價ガ騰貴シテ來、サウシテ其輸出入ノ上ニ於キマシテ非常ニ沈滯ヲ致シテ來ルシ、國民ノ生活ノ上ニ脅威ヲ及ボシテ來ルト云フコトハ、是ハハツキリシタ事實デアリマス、如何ニ統制ノ方法ヲ政府ガ發動サレテ自治的ニ當業者ニヤラセラレルト言ハレマシテモ、左様ナコトデアナタノ仰シヤルヤウナ机上論通リニハ行カヌノデアリマス、デアリマスカラ、ハツキリシタ貿易上ノ見透シヲ付ケテ——

ナラバ、餘程此三點ニ付テシカリトシタ考ヲ以テ進メテ行ツテ戴カナケレバ、私ハ國家ノ爲ニ非常ナ不利ヲ來スコトニナルダラウト思フノデアリマス、此三點ニ付テ先程アナタカラ答ヘ惡イト云フコトデアリマシタカラ、明日ノ討論マデニ次官若クハ大臣カラシハツキリシタ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレデナイトアトノ質問ヲ續ケテ行クコトガ出來ナイノデアリマス、是ダケ御願ヲ致シテ置キタイト思ヒマス。

其次ニハ工業組合ノ方ノ問題デアリマスガ、昨日モ是ハ渡邊サンカラ頻リニ御質問ニ運用サレテ行クト云フコトニ付テハ、ドガアツヤウデアリマスルガ、統制ダケノ工業組合ヲ御作リニナリマスト、從來同業組合デヤツテ居リマスルコト非常ナ摩擦ガ生ジテ來ルノデアリマス、私共ノ考デハ現ガアツヤウデアリマスルガ、統制ダケノ工業組合ト工業組合トノ間ニ此法ガ圓滑居ラレルノデハナカラウカ、實際論カラ考ヘタラ中々昨日御答ノ程度ノヤウナモノデスルケレドモ、私ハ政府ノ方デモ大分困ッテスルナラバ、恐ラク法律ハ出シテ居ラレマスガ、大體ニ於テ見透シヲ付ケテ置イテ、適宜ニ其補充スベキ品物物ヲ考ヘ出シテ行ク、例ヘバ羊毛ナラ羊毛ノ問題ニ對シテハ、羊毛ニ代ルベキ代用品ガアルカドウカト云フ問題ガ必然的ニ起キテ來ルガ、ステープル・ファイバー」ノヤウナ物デ以テ羊毛ニ代用スルコトハ絶對出來ナイ、サウ云フ風ニ考ヘテ行カレマスナラバ、又繰返シテ申上ゲルヤウニナリマスケレドモ、必ズ茲ニサウ云フ主要ナ總テノ物資ニ對シテ缺乏ガアテ、其價格ガ騰貴シテ來ルト云フ問題ガアル、又反面ニアナタノ只今ノ御答カラ推察致シマシテ考ヘテ見ルナラバ、必然的ニ各國トノ間ニ「パートナ」制ノヤウナ問題ガ

起ツテ來ルグラウト思ヒマスガ、併シ考ヘテ見ルト、日本ハ買フ方ガ多クテ、賣ル方ガ進マヌカラ、口デ言フヤウニ旨ク行クト云フコトハ一寸考ヘ得ラレナイ、デアリマスカラ此法律ヲ實施サレル上カラ考ヘマスル

バ、茲ニ非常ナ工業組合ト同業組合トノ摩擦ガ起ツテ來ル、昨日渡邊サンニ對シマシテハサウ云フヤウナコトハナイヤウニヤツテ行クト云フ風ナ御答モアツヤウデアリマスガ、實際論トシテ同業組合ナリヲ以テナタカラ答ヘ惡イト云フコトデアリマシタカラ、明日ノ討論マデニ次官若クハ大臣カラシハツキリシタ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレデナイトアトノ質問ヲ續ケテ行クコトガ出來ナイノデアリマス、是ダケ御願ヲ致シテ置キタイト思ヒマス。

○北委員 去ル一日本會議デ貿易組合法ニ對スル私ノ質問ニ對シテ當局カラ御答辯ガアツタノデスガ、洵ニ簡單過ぎテ要ヲ得ナカッタ點モアツタノデアリマス、併シソレハ察スルニ前議會ニ於ケル此法案ノ委員會デ産業組合ニ依ル農林水產物ノ輸出ハ、其特異性カラ云ツテ一般商品ヤ營利業者ト劃一ノ取扱ヲスルコトハ當ヲ得ナイト云フヤウナ理由デ兩省ノ會議テ産業組合ノ行フ輸出ハ事實上輸出ヲ業トスル者トシテ取扱ツテ居ナイカラ、今後モ兩省ガ合議シテ誤リナキヲ期スルト云フ原則ヲ明ニサレタ點ト、又此法ニアル主務大臣ト云フノハ商工、農林兩大臣トスルコトヲ勅令デ規定スル、斯ウシテハ工務局長ヨリ答辯ガアル苦デスガ、只今見エマセヌカラ後刻出席サレタラ工務局長カラ答辯致サセマス

○増田委員長 只今ノ田中君ノ御質問ニ對シテハ工務局長ヨリ答辯ガアル苦デスガ、只今見エマセヌカラ後刻出席サレタラ工務局長カラ答辯致サセマス

スルシ、後ノ質問ノ方ノ御都合モアラウト思ヒマスカラ、私ハ此程度デ質問ヲ打切り

マシテ、尙ホ後ニ時間ノ餘裕ヲ見テ戴キマシテ、適當ニ發言ノ機會ヲ與ヘテ戴キタイト思ヒマス

來ノ同業組合ガヤツテ居リマス所ノ検査ノ權限ヲ工業組合ニ移譲シテ行ク機會ヲ與ヘルト云フコトガ考ヘラレルノデアリマス、斯ウ云フ風ナコトヲ考ヘテ見マスルナラバ、茲ニ非常ナ工業組合ト同業組合トノ摩擦ガ起ツテ來ル、昨日渡邊サンニ對シマシテハサウ云フヤウナコトハナイヤウニヤツテ行クト云フ風ナ御答モアツヤウデアリマスガ、實際論トシテ同業組合ナリヲ以テナタカラ答ヘ惡イト云フコトデアリマス、是ダケ御願ヲ致シテ置キタイト思ヒマス、ソレデナイトアトノ質問ヲ續ケテ行クコトガ出來ナイノデアリマス、是ダケ御願ヲ致シテ置キタイト思ヒマス。

○北委員 去ル一日本會議デ貿易組合法ニ對スル私ノ質問ニ對シテ當局カラ御答辯ガアツタノデスガ、洵ニ簡單過ぎテ要ヲ得ナカッタ點モアツタノデアリマス、併シソレハ察スルニ前議會ニ於ケル此法案ノ委員會デ産業組合ニ依ル農林水產物ノ輸出ハ、其特異性カラ云ツテ一般商品ヤ營利業者ト劃一ノ取扱ヲスルコトハ當ヲ得ナイト云フヤウナ理由デ兩省ノ會議テ産業組合ノ行フ輸出ハ事實上輸出ヲ業トスル者トシテ取扱ツテ居ナイカラ、今後モ兩省ガ合議シテ誤リナキヲ期スルト云フ原則ヲ明ニサレタ點ト、又此法ニアル主務大臣ト云フノハ商工、農林兩大臣トスルコトヲ勅令デ規定スル、斯ウシテハ工務局長ヨリ答辯ガアル苦デスガ、只今見エマセヌカラ後刻出席サレタラ工務局長カラ答辯致サセマス

○田中委員 ソレデハ時間ノ關係モアリマス、又是カラ考ヘテ見マスルナラバ、從

第六類第十號 貿易及關係產業ノ調整ニ關スル法律案外二件委員會議錄 第三回 昭和十二年八月五日

シテ兩省ノ意見ガ一致シタ場合ニ發動スルト云フ意味デアルナラバ、此重大ナ事柄ヲ全ク申譯的ニ輕ク扱フト云フモノデアリマシテ、洵ニ不十分ト思フノデアリマス、此協議ト云フコトハ當然兩省ノ共同起案ニ依ルト云フ具合ニ重ク取扱テ貰ハナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、商工當局ノ御意見ヲ承ツテ置キタイト思フノデアリマス○寺尾政府委員 只今御尋ノ點ニ付キマシテ御答ヲ申上ゲマスガ、御話ノ點ニ付テハ唯形式的ニ一片ノ協議ヲスルト云フ風ナコトデハゴザイマセヌデ、商工省ト農林省ガ十分ニ協議ヲシテ、其宜シキニ從ツテ行キタイサウ云フ意味デアリマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

○北委員 次ニ此輸出検査手數料ノコトデアリマスガ、他ノ方ノコトハ知リマセヌガ、

北海道ノ青豌豆ニ付キマシテハ、醣力産業組合聯合會ノ輸出ハ員外輸出ノ取扱ト同様ナ取扱ヲ受ケマシテ、之ガ爲ニ輸出組合ガ産業組合聯合會ニ對シテ取引手數料ト云ヒマスカ、或ハ統制手數料ト云ヒマスカ、サウ云フヤウナ検査料ヲ徵ツテ居ル事實ガアルノデアリマス、而モ輸出組合ノ分ハ四十錢ト六錢デアルノニ、産業組合ノ分ハ七倍ニ近イ手數料ヲ徵ツテ居ツタ爲

タト云フ實例ガアリマス、此事ハ他ノ方面全ク申譯的ニ輕ク扱フト云フモノデアリマシテ、洵ニ不十分ト思フノデアリマスガ、本法成立後此點ハドウ云フ工合協議ト云フコトハ當然兩省ノ共同起案ニ依ルト云フ具合ニ重ク取扱テ貰ハナケレバ

ナラヌト思フノデアリマスガ、商工當局ノ御意見ヲ承ツテ置キ

ニ於テモ往々アリ得ベキ事柄ト思フノデアリマスガ、本法成立後此點ハドウ云フ工合ニ爲サル積リデアリマスカ、之ヲ承ツテ置キ

タイ

○寺尾政府委員 統制手數料ト云フモノヲ

ハ、事實問題ト致シマシテハ既ニ其點ハ解

決ガ付イタ問題デアリマシテ、御話ノアリ

マシタ豆ノ輸出ニ付テ輸出組合ト穀聯トノ

間ニ完全ナ協調ヲ執リマシテ、其結果御話

ノ統制手數料ト云フモノモ現在ニ於テハ穀

聯ガ輸出組合ト全然同一ノ手數料ヲ納メテ

ハ、ソレガ爲ニ組合以外ノモノニモ其統制

ヲ及ボスト云フコトガ是ハアリ得ルト思ヒ

ハ、ソレガ爲ニ組合以外ノ「アウトサイダ

ー」ニマデ及ボスト云フコトハアル譯デア

リマス、只今御話ノアリマシタノハ恐ラク

検査ノ場合デアラウト思ヒマスガ、組合員

ノガ、輸出組合成立後ニ組合員外ニアツテ輸

出ヲ爲サントスル場合ニ於テハ、先程申上

外ニ其検査ヲ行フ場合ニハ、其検査手數料

ト云フモノハ組合員ノ支拂フベキ検査手數

料ヨリ高額ナ手數料ヲ支拂ハセルト云フコ

トハ御話ノ通リデアリマス、是ハ何故サウ

云フ風ニ區別ヲスルカト申シマスト、組合員ハ其組合ニ必要ナル經費ニ對シテ出資シ

味デアリマスカ

○寺尾政府委員 組合員ト、組合員外ノモ

ノノ負擔スペキ検査手數料ニハ自ラ相違ガ

アル理由ニ付テハ今申上ゲマシタ通りデア

リマス、隨テ或ル合理的ナ限度ニ於テ其間

ニ差ガアルト云フコトハ是ハ已ムヲ得ナイ

ト思ヒマス、特ニ故意ニ組合員外ノモノノ

營業ヲ不可能ナテシメルヤウナ意味ヲ以テ

ト思ヒマス、特ニ故意ニ組合員外ノモノノ

高率ナル手數料ノ差別ヲ付スルト云フコト

ハ致シタクナイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデア

リマス

○北委員 在ハゴザイマセヌ、左様御承知ヲ御願致シ

マス

○北委員 ソレデハ其點ハ安心シマスガ、

併シ從來農林水產物ノ輸出ヲシナカッタモ

ノガ、輸出組合成立後ニ組合員外ニアツテ輸

出ヲ爲サントスル場合ニ於テハ、先程申上

外ニ其検査ヲ行フ場合ニハ、其検査手數料

ト云フモノハ組合員ノ支拂フベキ検査手數

料ヨリ高額ナ手數料ヲ支拂ハセルト云フコ

トハ御話ノ通リデアリマス、是ハ何故サウ

云フ風ニ區別ヲスルカト申シマスト、組合員ハ其組合ニ必要ナル經費ニ對シテ出資シ

味デアリマスカ

○寺尾政府委員 組合員ト、組合員外ノモ

ノノ負擔スペキ検査手數料ニハ自ラ相違ガ

アル理由ニ付テハ今申上ゲマシタ通りデア

リマス、隨テ或ル合理的ナ限度ニ於テ其間

ニ差ガアルト云フコトハ是ハ已ムヲ得ナイ

ト思ヒマス、特ニ故意ニ組合員外ノモノノ

營業ヲ不可能ナテシメルヤウナ意味ヲ以テ

ト思ヒマス、特ニ故意ニ組合員外ノモノノ

高率ナル手數料ノ差別ヲ付スルト云フコト

ハ致シタクナイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデア

リマス

○北委員 次ニ輸入組合ノ問題デアリマス  
ガ、肥料、飼料或ハ農具、農業薬品、種苗、  
其他重要ナル農山漁村ノ必需品ノ輸入ニ付  
キマシテ輸入組合モ亦輸出組合同様ノ弊害  
ヲ生ズルコトガ豫想セラレルノデアリマ  
ス、營利ヲ目的トセナイモノノ輸入ニ付キ  
トガ必要ト思フノデアリマスガ、當局ノ御  
意見ハ如何デアリマスカ、御方針ヲ聽キタ  
イ

○寺尾政府委員 此點ニ付キマシテハ、一  
般的ニ貿易組合法ヲ農產物ノ關係ニ付テ適  
用致ス場合ニハ、商工、農林ノ兩省ガ十分  
ニ協議シテ行フコトニ兩省間ニ取極ヲ致シ  
テ居リマス、御話ノヤウナ點ニ付テモ十分  
ニ違算ノナイヤウニ致シタイト思ヒマス  
○北委員 農林水產物ニ對シマシテハ、貿  
易調整法ノ運用上、商工、農林兩省ノ共管  
トセラレルコトハ是亦最モ必要デアルト思  
フノデアリマス、而シテ此場合貿易審議會  
及ビ統制協議會ノ構成ニ付キマシテハ、當  
然兩省ガ慎重協議ヲシテ公平ニ決定セラレ  
ルモノト考ヘルノデアリマスケレドモ、農  
林水產物ノ生產者ハ不利益ノ立場ニ陥リ易  
イモノデアリマスカラ、生產者ノ代表者ヲ  
モ委員ニ選ブコトガ必要デアルト思フノデ

アリマス、此事ニ對シマシテ當局ノ御方針

ハドウナッテ居リマスカ、承リタイ

アリマス、此事ニ對シマシテ當局ノ御方針

スカ伺ヒタイ

アリマス、此事ニ對シマシテ當局ノ御方針  
ハドウナッテ居リマスカ、承リタイ

アリマス、此事ニ對シマシテ當局ノ御方針

スカ伺ヒタイ

高ク決メラレタコトニ依ツテ、一億圓以上ノモノハ確ニ負擔ヲ増シテ居ルト思フノデアサレテ、戰場ニ馳驅シテ居ル所ノ此際デアリマスガ、コンナ暴利ヲ資本家達ニ得セシメテ、而モ是ガ當然ナヤウナ額付ヲセラレシムノデアリマス、是デハ當局ニ果シテ社會正義感ガアルカドウカト云フコトガ疑ハシクナルノデアリマシテ、當局ハ速ニ斯ル態度ヲ御改メニナツテ、公正妥當ナ價格ニ改メシムル爲ニ、適切ナル方策ヲ御執リニナル考ハナイカ、此點ヲ商工省ノ當局ニ伺ビタイト思フノデアリマス

勿論貿易業者ノ利益ヲ擁護スルト共ニ、生産者ノ利益ト云フコトニモ十分注意致シマニ付テ、具體的ニ此點ガ不公明デアルト云コトヲ御指摘下サツテ、色々御注意ヲ戴クテ、若シサウ云フコトガアリマシタラドウゾ御遠慮ナク言ツテ戴キタイ、私共モサウ云フコトガナイヤウニ、今後十分注意シテ行キタイト思ヒマス、其氣持ダケヲ御諒解願ヒタイト思ヒマス、尙ホ其他ノ御質問ニ付テハ、私ヨリ御答ヲ致シマスノハ如何カト思ヒマスノデ、其所管ノ局長ガ見エタ際ニ御答致シマス

易及關係產業ノ調整ニ關スル法律案ノ第四條竝ニ貿易組合法案ノ第十八條乃至第六十二條ニ依ツテ「カルテル」ノ統制活動ハ廣く生産者ヲモ強制シ得ルコトニナッテ居リ、最モ強力ナル貿易「カルテル」ガ統制サレルトニナッテ居リマス、斯カル強力ナル「カルテル」ノ統制ハ、第一ニ注意セナケレバナラヌ點ハ、「カルテル」ソレ自體ガ大貿易業者ニ牛耳ラレルト云フコトニナリハシナイカト云フコトデアリマス、何デサウ云フコトヲ言フカト云フト、統制活動ニ關シマスル議決ハ、組合員ノ員數及ビ出資口數ノミニ依ルダケデナシニ、其輸出高ノ一定割合、即チ三分ノ二以上ノ組合員ノ同意ニ依ツテ成立スルコトニナッテ居リマスカラ、一層サウ云フ憂ガハツキリストコトニナッテ來ルノデアリマス、暨ヘテ申シマスト、三井物産ノヤウナ大資本ヲ背景トスル大貿易業者ニ依ツテ貿易組合ガ牛耳ラレテ、中小貿易業者ガ之ニ壓迫サレルト云フコトニナリハシナイカト云フコトヲ吾々ハ憂ヘルノデアリマスガ、此點ニ對シマシテ、政府ハドウ考ヘテ居ラレルカ

ノ壓迫ノ事實ガ愈、露骨ニナリハシナイカ  
ト云フコトデアル、即チ貿易業者、而モ特  
ニ其中ノ大資本家ノ利潤擁護ノ爲ニ、當該  
輸出品關係ノ生産、殊ニ今モ申サレテ居リ  
マシタ農民或ハ都市ノ中小工業者、是等ノ  
人々ノ利益ガ蹂躪サレルダケデナシニ、更  
ニ其下ニ働イテ居リマスル所ノ勞働者ニモ  
重大ナ打撃ヲ興ヘルノデアリマス、ソレハ  
輸出組合ガ一つノ輸出品ニ對シマシテ品質  
或ハ規格ニ付テ從來ノ生産條件ヲ無視シテ  
統制ヲ爲ス場合ニ能ク問題ガ起ルノデアリ  
マス、例ヘテ見マスルト數年來問題ニナッテ  
居リマスル亞米利加ヘ輸出サレル柑橘ノ輸  
出組合ト柑橘生産者ノ共同組合トノ間ニ非  
常ナ紛争ヲ從來續ケテ居リマス、是ナノカ  
ハ能ク其具體的ナコトヲ現ハシテ居ルト思  
ヒマスガ、斯ウ云フ點ニ付テ政府ノ方針ヲ  
先ヅ伺ヒタイト思ヒマス

例トシテ、此貿易組合法ノ第十六條ト云フモノヲ御引キニナリマシテ、從來ハ其員數トカ、出資口數トカ云フモノヲ標準ニシテ統制ニ關スル事項ヲ決定シテ居タガ、今回ノ改正ニ依ルト輸出高ト云フ風ナモノヲ標準ニシタ關係上、結局ニ於テ大資本家、大貿易業者ヲ過當ニ保護スルヤウナコトニナリハシナイカ、斯ウ云フ御尋ノヤウデアリマス、第十六條ニ付テ先ヅ申上ゲマスト、是ハ從來ノ例ニ依リマスト、或ル一部ノ、全體ノ大勢ニ關係ナイヤウナ極ク輸出高モ小サイ、又其人員モ少イト云フ人間ダケガ反對ヲシタ爲ニ、統制ノ事柄ガ纏マラナイ、而モ其統制ヲ實行スルト云フコトガ、貿易ノ振興上ドウシテモ必要ダト云フ大局カラ判断致シマシテ、必要ナル場合ニハ特ニ商工大臣ノ認可ヲ受ケテカラ、斯ウ云フ總會ヲ開イテ、新シイ法律ノ規定ニ基イタ方法ニ依テ議決ガ出來ルト云フ規定デアリマシテ、唯其際ニ於テ商工大臣ノ認可ヲ受ケルト云フコトニ致シタ所以ハ、其際ニ果シテ此法規ノ特別ナル方法ニ依ツテヤルコトガ、全般ノ利益ニナリ、又貿易ノ振興ニ大局カラ見テ適應スルカドウカト云フコトヲ、慎重ニ商工大臣トシテソレヲ判斷シタ上デ、必要ガアレバ許スト云フ趣意ニ出テ居リマス

ノデ、決シテ今御話ニナリマシタヤウニ特ニ大キナ者ダケヲ保護スルト云フヤウナコトニハナラヌト思ヒマスシ、又左様ナコトニ運用ヲシテハ甚ダ穏カデナイト思ッテ居リマス、私共其運用ニ當ル者ト致シマシテハ、勿論御話ノヤウナ一部大資本家ヲ擁護スルコトノナイヤウニ十分ニ注意ヲシテ行キタイト心懸ケル次第デアリマス

ソレカラ第二點ト致シマシテハ、今度ノ法律ニ依レバ、統制ニ關スル議決ヲ必要ニ應ジテハ生産者ニモ強制スルコトガ出來ルデヤナイカ、サウ云フ風ナコトニナッテ來ルト、益々生産者ガ大貿易業者其他ノ大資本家ノ爲ニ不當ニ其利益ヲ害セラレルト云フヤウナコトガ起ツテ來ハシナイカト云フ御尋デアリマスガ、此點ニ付キマシテモ、政府ハ斯ノ如キ統制ニ關スル協議會ヲ設ケマシテ、其議決ヲ強制スルニ付キマシテハ、毎々御説明申上ゲテ居リマスヤウニ、統制協議會ト云フモノニハ、單ニ關係業者ノミナラズ、嚴正ナル第三者、學識經驗アル者トシテ、尙ホ之ヲ強制スル際ニハ、其前提條件トシテ貿易審議會ト云フモノ、議ヲ經タ

上ニ、之ヲ強制スルト云フ風ニ、極メテ慎重ナル方法ヲ執ツテ居リマスカラ、今御話ノニ大キナ者ダケヲ保護スルト云フヤウナコトニハナラヌト思ヒマスシ、又左様ナコトニ運用ヲシテハ甚ダ穏カデナイト思ッテ居リマス、私共其運用ニ當ル者ト致シマシテハ、勿論御話ノヤウナ一部大資本家ヲ擁護スルコトノナイヤウニ十分ニ注意ヲシテ行キタイト心懸ケル次第デアリマス

ソレカラ第二點ト致シマシテハ、今度ノ法律ニ依レバ、統制ニ關スル議決ヲ必要ニ應ジテハ生産者ニモ強制スルコトガ出來ルデヤナイカ、サウ云フ風ナコトニナッテ來ルト、益々生産者ガ大貿易業者其他ノ大資本家ノ爲ニ不當ニ其利益ヲ害セラレルト云フヤウナコトガ起ツテ來ハシナイカト云フ御尋デアリマスガ、此點ニ付キマシテモ、政府ハ斯ノ如キ統制ニ關スル協議會ヲ設ケマシテ、其議決ヲ強制スルニ付キマシテハ、毎々御説明申上ゲテ居リマスヤウニ、統制協議會ト云フモノニハ、單ニ關係業者ノミナラズ、嚴正ナル第三者、學識經驗アル者トシテ、尙ホ之ヲ強制スル際ニハ、其前提條件トシテ貿易審議會ト云フモノ、議ヲ經タ

ノデ、此點ニ對シマシテノ取扱ヲ十分御注意願ヒタイト思フノデアリマス、尙ホサウニマシテ、審議委員會ノ委員或ハ統制委員會ノ委員ナルモノガ慎重ニヤラレルト云フアリマシタヤウニ、極ク一部ノ大資本家ヲ擁護スルト云フヤウナコトノナイヤウニ萬マスコトノナイヤウニ十分ニ注意ヲシテ行キタイト心懸ケル次第デアリマス

ソレカラ第二點ト致シマシテハ、今度ノ法律ニ依レバ、統制ニ關スル議決ヲ必要ニ應ジテハ生産者ニモ強制スルコトガ出來ルデヤナイカ、サウ云フ風ナコトニナッテ來ルト、益々生産者ガ大貿易業者其他ノ大資本家ノ爲ニ不當ニ其利益ヲ害セラレルト云フヤウナコトガ起ツテ來ハシナイカト云フ御尋デアリマスガ、此點ニ付キマシテモ、政府ハ斯ノ如キ統制ニ關スル協議會ヲ設ケマシテ、其議決ヲ強制スルニ付キマシテハ、毎々御説明申上ゲテ居リマスヤウニ、統制協議會ト云フモノニハ、單ニ關係業者ノミナラズ、嚴正ナル第三者、學識經驗アル者トシテ、尙ホ之ヲ強制スル際ニハ、其前提條件トシテ貿易審議會ト云フモノ、議ヲ經タ

ノデ、此點ニ對シマシテノ取扱ヲ十分御注意願ヒタイト思フノデアリマス、尙ホサウニマシテ、審議委員會ノ委員或ハ統制委員會ノ委員ナルモノガ慎重ニヤラレルト云フアリマシタヤウニ、極ク一部ノ大資本家ヲ擁護スルト云フヤウナ色々ナ統制或ハ審議ノ問題ニ付キマシテ、審議委員會ノ委員或ハ統制委員會ノ委員ナルモノガ慎重ニヤラレルト云フアリマスカラ、御話ニナリマシタヤウナ事態ノ生ズルコトノナイヤウニ、十分運用上適當ナル方法ヲ執ルコトガ出來ルト考ヘテヘテ居ル次第デアリマス

ザイマスカラ、御話ニナリマシタヤウナ事態ノ生ズルコトノナイヤウニ、十分運用上適當ナル方法ヲ執ルコトガ出來ルト考ヘテヘテ居ル次第デアリマス

○井上委員 長官ノ言ハレル其御精神ニハ吾々ハ非常ニ敬服シ、政府ト致シマシテハノデアリマスカラ、此處デ表決シ或ハ此處デ協議サレル問題ハ、極メテ重大デアリマス、隨テ其委員會ナリ統制協議會ヲ構成シマス所ノ委員及び役員ハ、頗ル責任ガ重イノデアリマスカラ、此點ニ付キマシテ、吾々從来ノ官署ガヤンテ居リマス委員會或ハ協議會ト云フヤウナモノノ内容ヲ見テ見マスト、殆ドソレガ當業者ノ代表の人々ニ依テ左右サレルト云フ幾多ノ經驗ヲ得テ居ルノデアリマス、此點ニ付キマシテ、吾々從來ノ官署ガヤンテ居リマス委員會或ハ協議會ト云フヤウナモノノ内容ヲ見テ見マスト、殆ドソレガ當業者ノ代表の人々ニ依テ左右サレルト云フ幾多ノ經驗ヲ得テ居ルノデアリマス、成程表面的ニハ學識經驗アル者ト云フヤウナコトニナリマシテ、誰カラモ非難ヲ受ケナイヤウナ言葉ヲ使ツテ居リマスケレドモ、實際ハ其背後ニ於テ色々々自己ノ營業ヲ中心ニシ或ハ自己ノ商賣ヲ中心ニシテ、算盤ヲ彈イテ協議會ヲ左右シヨウト云フヤウナ意圖ノ者ガ多イノデアリマスケレドモ、實際ハ其背後ニ於テ色々々自己ノ營業ヲ中心ニシ或ハ自己ノ商賣ヲ中心ニシテ、算盤ヲ彈イテ協議會ヲ左右シヨウト云フヤウナ意圖ノ者ガ多イノデアリマス

ト云フヤウナ意圖ノ者ガ多イノデアリマス、當局ト致シマシテハ其人選ニ對シテ、昨日モ誰カ申サレテ居リマシタヤウニ、慎

重ナル銓衡ヲサレンコトヲ御願シテ置キタ

イト思フノデアリマス

最後ニ重要ナ點ハ此兩法案ハ大體ニ於テ貿易ノ統制ヲ一步進メタモノデアル、併シ現下ノ非常時局ニ對應スル法案ト致シマシテハ洵ニ心細イ、即チ兩法案ハ貿易業者ノ所謂自治的統制ニ著目致シマシテ、之ニ若干ノ國家統制ヲ加ヘタルニ止マル、併シ現下ノ非常時局ニ鑑ミ、又今後ノ國民經濟發展ヲ考ヘルトキ、少クトモ重要原料品ノ輸入ダケハ直接國家管理ニ移スコトガ必要ダト思フノデアリマスガ、政府ノ所見如何、我國ノ重要原料ノ大部分ハ海外ヨリ輸入ヲ仰イデ居ル、特ニ最近ニ於テ其輸入商ガ非常ニ多クナツテ居ル、隨テ其輸入方法ノ適不適、或ハ數量ノ如何ガ悉ク國民經濟ノ上ニ重大ナル影響ヲ及ボシマス、平時ニ於テモ國民經濟及國民生活ノ觀點ヨリ觀マシテ、之等ヲ國家管理ニ移シ以テ國內諸產業ニ對スル原料ノ供給ヲ圓滑且ツ合理的なラシメルコトガ、特ニ今日ノ情勢ニ於テハ重要デアルト考ヘマス、ソコデ重要原料品ノ輸入ヲ國家管理ニ移シテ、我國ノ產業計畫ヲ樹立スルコトガ必要デアルト思フガ如何デアリマスカ、此點ニ付テノ御答辯ヲ得タイト思ヒマス

○寺尾政府委員 御答申上ゲマス、今ノ御尋ノ管理ト云フ言葉ガ何處マデノ意味ヲ含

ムノカハッキリ了解致シマセヌガ、貿易及關係產業ノ調整ニ關スル法律案ノ第一條ニ於

キマシテ政府ハ國際收支ノ適合ヲ圖ル爲ニハ、此第一條ニ定ムル條件ニ依リマシテ輸出又ハ輸入ノ制限又ハ禁止ヲ爲スコトヲ得

ト云フ規定ガアリマスカラ、此規定ニ基キ

マシテ只今御話ニナリマシタヤウナ或ル程度ノ輸入ノ管理ト云フコトモ出來ルモノト

考ヘテ居リマス

○井上委員 或ル程度出來ルト云フ話デゴ

ザイマスガ、積極的ニ今日ノ非常時局ニ於

テ是ガ一部大貿易業者ノ所謂非常時局ニ依

レル例ガアルノデアリマスカラ、特ニ生産

力ノ擴充ニ必要ナル機械、器具其他重要產

業ノ原料品ノ輸入、斯ウ云フモノヲ國家管

理ノ方針ニ依ツテヤッテ戴キタイト云フコト

ヲ付加ヘテ置キマス

尙ホ輸出ノコトニ付テ多少御尋シテ置キ

タイノデアリマスガ、是ハツヽ御尋シ

テ居リマスヤウニ重工業ノ生產力ノ擴充

ノ結果海外輸出ニ對スル今後ノ見透シニ付

題ガヤカマシクナツテ來マス、此生產力擴充

ト云フコトモアリマス、此時機ニ際シマシ

テ、輸出ニ付キマシテハ政府ト致シマシテ

ノデアリマシテ、又方面ニ依リマシテハ逆

ニ此輸入制限阻止ガ多少緩和サレツツアル

ト云フ方面モアリマス、此時機ニ際シマシ

テ、輸出ニ付キマシテハ政府ト致シマシテ

モ出來得ル限リ有ユル方策ヲ講ジマシテ、

之ガ振興ヲ圖ルコトニ努メテ居リマス、一

例ヲ舉ゲマスト、數年來實行シテ居リマス、一ル政府ノ輸出補償ノ制度ニ付キマシテモ、此際一層之ガ普及ヲ圖ル爲ニ、ソレヽ適當ナル改正ヲ行フ外、又海外ニ於ケル政府ノ情報機關ヲ一層整備シ、今後ハ各國ニ對シテ出來得ル限リ日本ノ立場カラ積極的ニ

デアツタノデアリマス、所ガ御承知ノ通り今

日ノ北支事變ノ結果、支那向ノ貿易ハ大體ニ於テ止ルト見ナケレバナラヌト考ヘマス、サウシマスト支那ニ對シマシテ輸出シテ居リマシタ我國ノ商品ト云フモノガ完全ニ行詰ルノデアリマス、此處デ一寸御尋シテ置キマスガ、色々參考資料ヲ貰ヒマシタケレドモ、マダ調べル時間ガアリマセヌデ分リマセヌカラ、大體ノ見當デ宜シウゴザイマスガ、支那ニ對シマス輸出ノ年額、ソレカラ其主ナル品目ニ付テ御分リデゴザイマシタラ簡單ニ一つ御説明ガ願ヒタイト思ヒマス

○寺尾政府委員 海外輸出ノ今後ノ見透シト云フ點ヲ御尋デアリマスガ、是ハ實ハ非

常ニムヅカシイ問題デハアリマスケレドモ、御承知ノヤウニ最近ハ諸外國ニ於キマシテモ相當軍需產業ノ擴張、又他方農產國、原料國アタリノ景氣ト云フモノガ相當好クナツテ、結局日本ノ商品ヲ輸出シテ居リマス相手國ノ購買力ト云フモノモ或ル程度マデ増加シテ居ルト云フコトガ言ヘルト思ヒマスノミナラズ、又海外ニ於テ御承知ノ如ク各種ノ日本ノ商品ヲ特ニ目指シタ所ノ輸入制限阻止ト云フコトモ近年非常ニ頻繁ニ行ハレテハ參づテ居リマスケレドモ、最近特ニ其情勢ガ一層激化スルト云フノミデハナイノデアリマシテ、又方面ニ依リマシテハ逆ニ此輸入制限阻止ガ多少緩和サレツツアルト云フ方面モアリマス、此時機ニ際シマシテ、輸出ニ付キマシテハ政府ト致シマシテ

ト云フコトニ願ヒマス、次ニ今日ノ如ク戰時的

ニ表ガ慥カアルト思ヒマスカラ、ソレヲ一ツ後刻差上ガルコトニ致シマシタラ如何デセウ

○寺尾政府委員 ソレハ如何デゴザイマセウカ、時間ヲ節約スル意味ニ於テ、私ノ方ニ表ガ慥カアルト思ヒマスカラ、ソレヲ一

ニ此輸入制限阻止ガ多少緩和サレツツアルト云フ方面モアリマス、此時機ニ際シマシテ、輸出ニ付キマシテハ政府ト致シマシテ

モ出來得ル限リ有ユル方策ヲ講ジマシテ、

之ガ振興ヲ圖ルコトニ努メテ居リマス、一

例ヲ舉ゲマスト、數年來實行シテ居リマス、

之ガ振興ヲ圖ルコトニ努メテ居リマス、一

勵キ掛ケテ、所謂求償主義ノ關係ニ立ツテ、寧ロ日本カラ斯々ノ物ヲ買フカラオ前ノ方デモ一ツ日本ノ品物ヲ買フコト云フ風ニ、出來得ルナラバ此方カラ勵キ掛ケルヤウナ方法ニ於テ先方ト適當ナル協調ヲ取ッテ輸出ノ振興ニ努メテ行クト云フコトニ致シマスナラバ、尙ホ今後共努力ノ如何ニ依ツテハ決シテ輸出ノ前途ト云フモノハ悲觀スペキモノデハナイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、尙ホ本年ノ上半期ニ於キマシテモ、御承知ノ通り昨年ニ比較致シマスレバ、或ル程度ノ輸出増加ト云フコトハ依然トシテ其趨勢ヲ示シテ居リマスノデ、今後出來得ル限り努力致シマスコトニ依リマシテ、尙ホ其趨勢ヲ維持シ、出來ルナラバ一層之ヲ増進サセタイト考ヘテ居ル次第アリマシテ、輸出ノ前途ト云フコトニ付テハ極メテ多難デアリマスケレドモ、決シテ私共ハ悲觀ヲ致シテ居リマセヌト云フコトヲ茲ニ申上ゲテ置キタイト思ヒマス

### ○井上委員

非常ニ抽象的デゴザイマシ

テ、當局トシテハアア答ヘルヨリ仕様ガナイカト考ヘマスガ、併ナガラ問題ハ支那問題ヲ契機ニ致シマシテ大阪ノ貿易ハ停止ノ狀態ニ立至ルダラウト考ヘマス、隨テ假ニ支那ヘ年額數千万圓或ハ數億圓ノ輸出ガサ

レテ居ルト云フコトニ致シマスナラバ、北支ノ事件ヲ通シマシテ、支那ニ對スル輸出ハ止マル、サウスルト新シ販路ヲ何處カニ求メルコトニ努力ヲシナケレバナリマセス、特ニ私今對支貿易ノ拒絶ニ對シテ新市場ヲ見出スコトニ付テノ當局ノ意見ヲ聽キタイト考ヘテ居リマシタガ、先程ノ御答辯ノヤウニ支那ヘ向イテ居タ品物ガ何處へ賣レルカト云フコトハ、此處ニ居ツテハ分ラヌコトデセウシ、非常ニムヅカシイコトデセウカラ、是以上私ハ此問題ニ付テ申シマセヌガ、併ナガラ政府當局ト致シマシテハ、特ニ此貿易關係ヲ受持タレル當局ト致シマスガ、ドウゾ簡潔ニ願ヒマス

○増田委員長 井上君ニ一寸御注意ヲ致シ出ガ止ルノデアリマス、特ニ大阪ヲ中心ニシマス所ノ對支貿易ノ業者及ビ其事業ニ從事スル者ハ是ガ爲失業シナケレバナラヌ状態ニ立至ルノデアリマス、隨テ是ノ新シイ市場捌ケ口ヲ至急ニ開拓スルノ對策ヲ樹テル必要ガアルト思フガ、之ニ對スル御所見ヲ承リタイノデアリマス

尙ホ日本輸出品ノ主ナルモノハ從來大體歐米諸國ノ商品ニ對抗シ得ル途ガナイノデキマス重工業ノ資材商品ヲ除キマス以外ハ、大體ニ於テ輕工業品デアリマス、所ガ日本ハ粗工業ノ家内的手工業ガ大部分デアリマス、結局商品ノ生產費ヲ切下ゲル以外ニ、日本ハ

ガ貿易當局ノ斡旋及ビ海外ニ駐在シテ居リマス各人ノ努力ニモ依リマセウケレドモ、効政策ニ相當ノ對策ヲ樹立スルコトデナケレバ、日本ノ將來ノ貿易對策ト云フモノハ立タヌデハナイカ、斯ウ私共ハ考ヘルノデアリマス、尙ホ今一ツ申上ゲテ置キタイ點ハ、所謂今度ノ生產力ノ擴充ハ主トシテ重工业ノモノデゴザイマスカラ、隨テ輕工業ノ方ノ勞動人員ガ此方面ニ異動致シマス、スガ、莫大小製品ガアノ位海外ニ賣リ出サレルノハ、其生產工程ガ殆ド家内工業デアリマス、十五六ノ小サイ子供ガ朝ノ七時頃カラ晩ノ十一時十二時……

○井上委員 晚ノ十一時、十二時マデ營々トシテ働キマシテ、其結果作上ゲタ婦人幼年工ノ低賃銀ニ依ル生產品デアルト云フコトヲ吾々ハ見遁シテハナラヌ、私ガナゼ此問題ヲ取上ゲタカト言ヒマスト、歐米諸國ノ商品ト我國ノ商品ノ比較ハ、向フハ大規模工業ノ生產品デアリマス、所ガ日本ハ粗工業ノ家内的手工業ガ大部分デアリマス、結局商品ノ生產費ヲ切下ゲル以外ニ、日本ハシイ商品ヲ海外ニ輸出シ、以テ國家ノ財政ヲ裕カニシテ行クト云フヤリ方モヤハリ執ラナケレバナラヌト私共ハ考ヘルノデアリマスカラ、斯ウ云フ點カラ吾々ハ今後一層御願シタイノデアリマス、以上ニ對スル御

所見ガゴザイマシタラ御伺シタイト思ヒマス

○寺尾政府委員 御話ノ御趣意ハ洵ニ御尤

ト存ジマス、私共モ其御趣意ニ副フベク十分努力致シタイト考ヘテ居リマス

○井上委員 私ノ質問ハ大體是デ打切りマス

○増田委員長 田中君、北君カラ工務局長ノ御出席ヲ要求サレテ居リマス、只今小島工務局長ガ御出席ニナリマシタカラ先程ノ御質問ニ對スル御答辯ガアル筈デアリマス

○小島政府委員 田中委員、北委員カラ工業組合ニ關シマシテ御尋ガアッタサウデアリマス、先づ田中委員ノ御質疑ニ對シマシテ御答ヲ申上ゲタイト思ヒマス、田中委員ノ御質疑ノ要旨ハ此際統制工業組合ノ制度ヲ設ケズトモ、同業組合法ノ改正ニ依リマシテ其目的ヲ達シ得ルノデハナカラウカ、今後將來統制工業組合トノ間ニ摩擦ヲ生ズル虞ガアルノデハナカラウカ、今後其兩者ノ關係ヲ如何ニ措置セラル、考カト云フヤウナ御趣旨デアッタ伺シテ居リマス、統制工業組合ノ制度ハ、政府ガ國民經濟全體ノ立場カラ特ニ必要ト認メタ場合ニ於テハ、出資ニ依ラズシテ經費ノ賦課ニ依

ル工業組合ノ設立ヲ命ズルト云フコトデアリマスルガ、御話ノ如ク同業組合法ノ改正ニ依リマシテモ、同ジコトヲ考ヘ得ルノデアリマス、併ナガラ今回統制工業組合ノ制度ヲ特ニ考ヘマシタ趣旨ハ、最近ノ國際情勢ノ推移ニ鑑ミマシテ、貿易ノ統制ト云フコトガドウシテモ必要ニナッテ参リ、是方圓滑ナル施行ヲ致シマスル爲ニハ此貿易業者ノ背後ニアリマシテ其生産ニ與カリ、實質ニ依リマシテ、之ニ基イテ我國ノ産業ヲ擔當シテ居リマスル工業者ノ方面ニ於テ適當ナル統制ヲ致スト云フコトガ緊要デアル、左様ニ考ヘマシタノデアリマス、之ニ付キマシテハヤハリ現在相當ニ發達致シテ居リマシ、且ツ又其事業内容モ可ナリ具體的ニ、其統制ノ組織方法ト云フ方面ニ於テモ相当ノ御質疑ノ要旨ハ此際統制工業組合ノ制度ヲ設ケズトモ、同業組合法ノ改正ニ依リマシテ其目的ヲ達シ得ルノデハナカラウカ、今後将來統制工業組合トノ間ニ摩擦ヲ生ズルト云フコトハ大體ナイデアラウ、左様ニ考ヘテ居リマス次第デアリマス

○田中委員 只今ノ御答ニ依リマスト云フト、此ノ法ヲ適用致シマシテモ、工業組合ト同業組合トノ摩擦ハ恐ラクナカラウト云ト御推定ト考ヘマス、併ナガラ最近ニ於キマシテハ農村ノ餘剩能力ヲ工業化シマシテ、色々ナ生産ヲ行ッテ居ルモノガ我國ノ貿易ノ上ニ於テ相當大キナ力ニナッテ居ル、此モノガ同業組合法ニ依ヅテ出サレテ居ルモノモアリマス、故ニアナタノ只今御話ノ通リニ、全然摩擦ガナイト想像サレルト云フコトハ、少シク私ハ極言デハナカラウカト思フ、私共ハ長ラクノ間傳統的ニ精練サレテ來マシタ所ノ此ノ同業組合ガ各種ノ事業モ其製品ガ農林省ノ主管ノ事項ニ重要ナ關係ノアリマスル場合ニ於キマシテハ、從來ト

ノデアリマスカラ、是無ノ諸點カラ考ヘマシテモ、此際統制工業組合ノ制度ニ依リマス、大體ニ於テ農林水產物ニ付テハ、工業組合ノ見地カラ之ガ統制命令ヲ出ス場合ハ先づ無イダラウ、極メテ稀ナ場合デアラウト考ヘマスガ、是等ノ場合ニ付キマシテハ、農林省ト篤ト協議致シテ、是ガ運用ノ圓滑ヲ圖リタイト考ヘテ居リマス、此點ニ付キマシテハ從來農林省ト協議ノ上組合法ノ運用ヲシテ參々通リニ今後モ同様ノ方針ニ依リ運用シテ参リタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス次第デアリマス

○田中委員 只今ノ御答ニ依リマスト云フト、此ノ法ヲ適用致シマシテモ、工業組合ト同業組合トノ摩擦ハ恐ラクナカラウト云ト御推定ト考ヘマス、併ナガラ最近ニ於キマシテハ農村ノ餘剩能力ヲ工業化シマシテ、色々ナ生産ヲ行ッテ居ルモノガ我國ノ貿易ノ上ニ於テ相當大キナ力ニナッテ居ル、此モノガ同業組合法ニ依ヅテ出サレテ居ルモノモアリマス、故ニアナタノ只今御話ノ通リニ、全然摩擦ガナイト想像サレルト云フコトハ、少シク私ハ極言デハナカラウカト思フ、私共ハ長ラクノ間傳統的ニ精練サレテ來マシタ所ノ此ノ同業組合ガ各種ノ事業モ其製品ガ農林省ノ主管ノ事項ニ重要ナ關係ノアリマスル場合ニ於キマシテハ、從來ト

寧ロソレナラバ今日ノ時局ニ對シテ思ヒ  
切ツテ同業組合法ヲ一時停止シテ、アナタノ  
御説デ行クナラバ、此法ニ依ツテ總テヲ統括  
シテシマフト云フ風ニ思ヒ切ツタ所マデ行  
クナラバマダンモデアリマスガ、ソレデナ  
カツタナラバ、之ヲ暫定的ナモノト見、或ハ  
此儘之ヲ出シテ行カレル場合ニ於テハ、先  
程申シマシタ摩擦ハ十分アルモノト私ハ解  
シテ居ルノデアリマス、決シテ御説ノヤウ  
ナ工合ニハ行カヌト思ヒマス、此點ハモウ  
少シ具體的ナ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

制ハ期待シ得ルノデハナカラウカ、サウ云  
フ見地カラ特ニ輸出ニ付テ此統制組合ト云  
フモノノ設立ヲ命ズルト云フヤウナ場合  
ハ、只今ノ所餘リ豫想ハ致シテ居ラナイ  
デアリマス、只今御例示ニナッタヤウナ場合  
ハ、ソレハ從來ノ同業組合ニ依リマシテ十  
分生産方面ノ統制ガ立ツテ居リマスナラバ、  
強ヒ政府ガ統制組合ノ設立ヲ命ズルト云  
フヤウナコトハ私共ハ只今豫想致シテ居ラ  
ナイノデアリマス、寧ロ問題ハ重要ナル輸  
入品ニ付キマシテ、或ハ急速ニ輸入ヲ統制ヲ  
致シマス爲ニ、之ニ對應シテ其原料ノ使用  
方面ニ於テ或ハ今申上ゲマシタヤウナ法制  
上ノ用意ヲ必要トスルト、斯様ニ考ヘテ居  
ル次第デアリマス、併ナガラ今後此法ノ運  
用ニ付キマシテハ各種ノ場合ガアリ得ルモ  
ノト思ヒマスカラ、十分御質疑ノ趣旨ヲ諒  
ト致シマシテ、關係組合間ニ摩擦ノナイヤ  
ウニ努力ヲ致シタイ、ト斯様ニ考ヘテ居リ  
マス

ニ上程サレマシタ場合ニ、商工政務次官カラノ御答ノ中ニ「内地ノ産業ニ關係致シマスル問題ヲ審議スルノガ貿易審議會デアリマスルカラシテ、是ハ當然商工省ノ中ニ置ケベキモノデアルヤウニ考ヘラレルノデアリマスケレドモ、更ニ的確ナル答辯ハ大臣ガ出マシテカラ申上ゲルコトニ致シマス」トアルノデアリマス、是ハ商工省ニ置クノカ、内閣ニ置クノカ、ハッキリトシタ御答辯ヲ大臣カラ願ヒタイノデアリマス、此點御願ヲ致シテ置キタイノデアリマス、尙ほ併セテ先程御尋致シマシタ點モ大臣カラ共ニ御答辯ヲ願ヘレバ結構デアリマス

○北委員 工務局長ニ御伺致シマスルガ、農林水產物ノ加工ニ付テ工業組合、同聯合會ノ設立、統制品目、是等ニ付キマシテハ、從來豫メ農林省ト協議セラレルコト承知致シテ居ツタノデアリマスルガ、改正後ニ於ケル本法ノ運用ニ付キマシテハ、商工農林兩省ニ於テ完全ナ御協議ヲ遂ゲラレルモノト承知シテ宜イモノデアルカドウカ、此點ヲ御伺致シマス

○小島政府委員 従来トモ工業組合法ノ運用ニ付キマシテハ、其製品ノ種類ガ農林省所管ニ屬スルモノニ付テハ、出來得ル限リ

モ只今北委員ノ御擧ゲニナリマシタヤウナ  
コトニ付キマシテハ、十分農林省ト協議ヲ  
致シマシテ、工業組合ノ運用ヲ致シタイト  
斯様ニ考ヘテ居リマス

○北委員 日本蜜柑櫻詰工業組合聯合會、  
此設立ノ場合ニハ農林省ニ何等ノ御相談ガ  
無カツタト云フコトデアリマスガ、是ハ其時  
ノ手落デアリタト考ヘテ宜イノデアリマス  
カ、將來サウ云フヤウナ扱ハ爲サラスト云  
フコトデアリマスルナラバ、此處デ御言明  
ヲ願ツテ置キタインデアリマス

○小島政府委員 今御例示ノ場合ニ付テハ  
私能ク承知致シテ居リマセヌカラ、能ク事  
情ヲ調べテ御答申上ゲマス

○北委員 尚ホ産業組合其他農林水產物ノ  
加工事業ヲ營ム非營利法人ハ從來通り本法  
ノ適用外ニ置カレルモノト承知シテ宜シウ  
ゴザイマスカ、此點モ御伺致シタイノデア  
リマス

○小島政府委員 工業組合ノ關係ニ付キマ  
シテハ、産業組合ヲ如何ニ扱フカト云フ、  
トニ付キマシテハ農林省ト從來連絡ヲ取ッ  
テ其運用ヲ致シテ居ツタ次第デアリマス、產  
業組合其他ノ非營利法人ヲ如何ニ取扱フカ  
ト云フコトニ付キマシテハ、各個ノ場合ニ

付キマシテ農林省ト協議ノ上適當ニ取扱ヒ

タイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○増田委員長 原君カラ關聯質問ノ通告ガアリマス——原君

○小島政府委員 只今原委員カラ工業組合  
法ノ第二十八條ノ三ニ依リマスル工業組  
合、即チ統制工業組合ト同業組合トノ關係

スル同業組合ノ制度トサウ摩擦ヲ生ズルト  
云フヤウナコトハ無イデアラウト考ヘテ居

○原委員 大體此工業組合トカ云フヤウナモノハ、營利ヲ目的トスルモノデアリマスカラ、營利ヲ目的トスル方面ノ仕事ハ別ト

○原委員 只今田中委員カラ 御質問ニナツ  
タ點ニ付テ關聯シテニ三御伺シタイト思ヒ  
マス、重要物産同業組合ト此工業組合トノ  
關係デアリマスルガ、是ハ田中委員カラ既  
ニ御質問ガアツタヤウデアリマスガ、私モ重  
要物産同業組合ガ多年活動ヲシテ參リマシ

ニ於キマシテ、其摩擦ヲ生ズル場合ハナイ  
カト云フ御尋デアリマスガ、只今モ田中委  
員ニ御答申上ゲマシタ通り、大體ニ於テ今  
日同業組合ハ地方産業ニ於キマシテ相當ノ  
發達ヲ致シテ居リマス、ソレハ其組合設  
立ノ趣旨ニ向ヅテ活動シテ居ルノデアリマ

フ御質問ハ洵ニ御尤ト存ジマスガ、此統制工業組合等ヲ認メマシタ本旨カラ考ヘマシテ、其適用ノ範圍ハ極メテ狹ク、其場合モ非常ニ稀デアリマスノデ、現在ノ同業組合制度トサウ摩擦ヲ生ズルト云フコトハナカラウト、斯様ニ考ヘテ居リマス

タニ付テ、新シクスノ如キモノガ出来ルヨ  
トニ付キマシテハ、相當考慮ヲ拂ハナクテ  
ハナラヌ問題ダト考ヘルノデアリマス、ソ

スガ、此工業組合法ノ二十八條ノ三ニ依リ  
マスル工業組合ハ貿易統制ニ依リマシテ急  
速ニ生産方面ノ統制ヲ必要スルト云フヤウ

○原委員 サウスルト工業組合法第二十八條ノ三ノ發動スル場合ハ輸入品ニ限ルト  
伺ツテ宜シイノデスカ

コデ御聽キ致シタイノハ、工業組合法ノ第  
二十八條ノ三並ニ第十五條但書ニ依リマシ  
テ、出資ヲ必要トシナイ、強制加入ラスル、  
唯統制ダケヲ目的トスル組合ヲ御認ニナル  
ヤウデアリマスガ、斯ノ如キモノヲ御認ニ

ナ場合ニ限ラレテ居ルノデアリマス、而シ  
テソレヲ發動シマスル場合ハ大體我ガ國民  
經濟全體ノ立場カラ是非其統制ヲ必要トス  
ル、サウシテ是ハ恐ラクハ輸入品ニ關シマ  
スル場合ニ於テ考慮セラレルノデアリマシ

○小島政府委員 貿易統制ニ關シマシテ生産統制ヲ必要トスルコトハ既ニ申述ベマシタガ、此貿易統制ヲ如何ナル品種ニ付キ如何ナル場合ニ發動スルカト云フコトハ、其場合ニナゾテ初メテ定マルノデアリマシテ、

ナリマシタナラバ、少クトモ此組合ト重要  
物産同業組合トノ摩擦相剋ヲ生ズルヤウナ  
コトガナイカト考ヘルノデアリマス、サウ  
シテ結局ハ中小工業者ニ對シテ非常ナ迷惑  
ガ掛ルト云フコトニナルノデハナイカト思  
ヒマスガ、一般的ニ重要物産同業組合法ニ  
關スル關係ダケデハナクテ、第二十八條ノ  
三ノ組合ニ付テノ關係ヲ一つ御説明願ヒタ

テ、普通ノ各地ノ物産ノ生産、販賣ニ關シマスル場合ニ於キマシテハ、大體政府ノ指導ニ依リマシテ、ソレゞ組織ニ依リマシテ適當ナル組合組織ガ出來得ルデアラウト様ニ考ヘテ居リマス、即チ統制工業組合ヲ認メマスル製品ノ種類ガ非常ニ局限サレテ居リ、其組合ノ地區竝ニ業者ノ範圍ガ非常ニ限ラレテ居リマスノデ、特ニ現在アリマ

只今私ガ輸入統制ト云フコトヲ例ニ舉ゲマシタガ、法律上之ニ限ルト云フコトヲ申上  
ゲル譯ニハ參ラヌト思フ、唯併ナガラ吾々タニ  
今日ニ於テハ大體輸出品ニ關スル限りハ、  
特ニ斯ウ云フ風ナ法律デ以テ組合組織ヲ命  
ジナクテモ、政府ノ指導ニ依リマシテ、適  
當ナ統制組合ガ出來ルモノト私ハ考ヘテ居  
リマスト云フコトヲ申上ゲタ次第アリマシ

ヤウナ公共的仕事ハ、重要物産同業組合ニ  
與ヘル、工業組合ノ如キハ單ニ營利方面ニ  
付テノ色々ノ仕事ダケヲヤラセルト云フ方  
法ニシタ方ガ宜イト考ヘルガ、此點ニ付テ  
ノ商工省ノ御意見ハ如何デセウカ

○小島政府委員 大體商工省ニ於キマシテ、中小工業者ノ振興ヲ圖リマスル場合ニ於テハ、其生産ノ技術竝ニ經營方法ヲ改善致スト云フコトガ根本デアルト考ヘマスノデ、是ガ組織ト致シマシテハ、單ニ検査デアリマスルトカ、或ハ所謂價格ノ協定デアルトカ云フコトノミツ以テハ其目的ヲ達スルコトガ困難デアリマシテ、ヤハリ其經營

ノ全體ニ瓦リマシテ、或ハ製品ノ共同販賣トカ或ハ更ニ邇ツテハ原料材料ノ共同購入、又加工ニ付テハ共同ノ設備ト云フヤウナ經濟的ノ共同施設ヲ爲スコトガ最モ必要デアリマス、而シテ今日ノ時勢カラ統制ト云フコトモ必要ト致シマスガ、其統制モ是等經濟的事業ヲ出來ル限り併セ行ヒマシテ、之ニ依テ其目的ヲ達スルコトガヨリ以上效果的デアルト斯様ニ考ヘテ居リマシテ、只

今ノ工業組合ハ大體經濟的ノ共同施設、ソレカラ検査其他ノ統制等ヲ併セ行フト云フ立前ノ下ニ出來テ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ原則ト致シマシテハ、ヤハリ現在ノ立前デ行ク方ガ中小工業ノ振興ノ爲メ適當デアラウトス様ニ考ヘテ居リマスノデ、工業組合ハ經濟的ノ仕事ノミヲ致シ、而シテ從來ノ同業組合法ヲ改正致シマシテ、統制ト云フヤウナコトハ全部同業組合ニサスト云フヤウナコトハ今日考ヘテ居リマセヌ次第デアリマス

○原委員 統制トカ検査ト云フヤウナコトハ重要物産同業組合ニノミ與ヘタ方ガ宜マシテモ、少クトモ重要物産同業組合ノ方面ニモ此検査權ヲ與ヘル、統制ヲ爲スベキ

セウカ、サウ云フ風ニ重要物産同業組合法ヲ御改正ナサルコトニ付テノ御意見ハ如何デセウカ

○小島政府委員 現在アリマスル重要物產同業組合法ノ改正ニ付キマシテハ、今後トモ更ニ努力致シマシテ、十分調査研究ヲ盡シタイト斯様ニ考ヘテ居リマス次第デアリマス、併ナガラ今御例示ニナリマシタ検査ノ問題デアリマスルナラバ、是ハ現在ノ同業組合法ニ於キマシテモ十分ヤリ得ルコト

デアリマス、而シテ之ヲ各種ノ輸出品ニ向テ、輸出品ノ検査ニ付テ如何ニ適用スルカ、如何ナル場合ニ同業組合ノ検査ヲ認メルカト云フ問題ニ付キマシテハ、個々ノ場合ニ其實情ニ應ジマシテ考ヘタイト斯様ニ考ヘ

ト雲フヤウナコトハ重要物産同業組合ニ付キマシテハ、個々ノ場合ニ其實情ニ應ジマシテ考ヘタイト斯様ニ考ヘタマシテ、其地方産業ニ對スル各種ノ意見ヲ述べラレ、或ハ相談サレルト云フコトハ、是ハ至當ナコトト考ヘマスノデ、同業組合制度ニ付キマシテ特ニ兎角ノ考ハ持テ居リマセヌ、隨ヒマシテ此組合法ヲ廢スルト云フ考モ持ツテ居リマセヌ、而シテ今後此同業組合ト他ノ組合トノ連絡統制ト云フ問題ニ付キマシテハ、重要物產同業組合法ノ改正ニ關聯シマシテ私共ト致シマシテモ

ヘテ居リマス

○原委員 最後ニ種々ノ産業組合ヤ商工關係ノ組合ガ重要物產同業組合ヲ侵害スルヤ

ウナコトニ付テハ十分御注意ヲ願ヒマシ

テ、特ニ中小商工業者ヲ害セザルヤウナ御

留意ヲ願ヒタイノデアリマスルガ、只今ノ

工業組合法第二十八條ノ三ノ組合ニ付テ

ハ、特別ナル少數ノ場合ノミデアルシ、成

ポン新シイ組合法デモ作ルヤウナ風ニスルシテハ、新シイ産業組合ヤ商工關係ノ組合ニ侵害サレマシテ、平素迷惑ヲ蒙ツテ居ルヤウナ次第デアリマス、前議會ノ此委員會ニモ真ニ重要物產同業組合法ヲ重要視セラレルモノナラバ、此法律ニ付テノ缺點ヲ速ニ改正シテ、十分活用ガ出來ルヤウニナサラウ

トルモナラバ、此法律ニ付テノ缺點ヲ速ニ改正シテ、十分活用ガ出來ルヤウニナサラウ思ヒマス

○小島政府委員 私共ト致シマシテモ現在ノ同業組合制度ガ、例ヘバ地方產業ト云フ

ヤウナコトヲ考ヘマシテモ、其地方ニ於ケ

ノ同業組合制度ガ、例ヘバ地方產業ト云フ

ヤウナコトヲ考ヘマシテモ、其地方ニ於ケ

ノ同業組合制度ガ、例ヘバ



カ、是ハ國力ノ總和カラ言ツテモ非常ニ重要ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、サウ言ツタ意味ノ根限サレテ居リマスノデ、或ハ御伺シタイ點ヲ全部御伺ヒ出來ナイカト思テ居リマスケレドモ、甚ダ勝手ナコトヲ前提致シマスガ、御伺スル點ニ付キマシテハ、極メテ簡明率直ニ御所見ヲ御伺シタイト思ヒマス、第一ニ私本法案ヲ立案サレマシタ御當局ニ御伺シタインデアリマスガ、貿易及關係產業ノ調整ニ關スル法律案ノ第一條ノ第四號デアリマス、第四號ニ「國民經濟ノ健全ナル發達ヲ圖ル爲」斯ウ云フ言葉ガ使ツテアルノデアリマス、私ハ甚ダ不勉強ノ爲カマグ立法上ノ用語トシマシテ國民經濟ト云フ言葉ハ餘リ多ク見ラレナイノデアリマス、立案サレマス時ニ法律上ノ用語トシテ國民經濟ト云フ文字ガ先例トシテアリマシタカドウカ、其點先づ最初ニ御伺シテ置キタイト思ヒマス

リマスケレドモ、國民經濟ト云フ言葉ハ私  
達非常ニ意味深ク解シタイト思ヒマス、是  
ハ何ト申シマスカ、從來ノ經濟觀念ヲ申シ  
カ、經濟活動其モノヲ資本主義的ノ經濟社  
會ト申シテ居リマス、ソレト對應的ニ吾々  
ハ國民主義的ノ經濟、詰リ國家全體ノ觀念、  
國家モ國民モ一緒ニシタ、所謂同一體ノ原  
則ノ下ニ立ツタ經濟ト云フモノヲ考ヘタイ  
ノデアリマスシ、勿論今日ハソレガ必要ダ  
ト思フノデアリマス、其際ニ國民經濟ト云  
フ言葉ガ法律上ノ用語トシテ出テ來ルト  
云フコトハ、非常ニ意義ガアルト思フノデ  
アリマス、デアリマスカラ、國民經濟ト云  
フ用語——是ハ私法律上ノ用語トシテ考ヘ  
ルノデアリマスガ、國民經濟ト云フ用語ノ  
意義竝ニ概念、更ニソレニ續イテ用ヒテア  
リマス「國民經濟ノ健全ナル發達」ト云フ  
言葉ガアリマスガ、是ハ私此法律ノ全體ニ  
付テ非常ニ意味ノ深イ法律用語デアルト思  
ヒマスカラ、此國民經濟ノ健全ナル發達ノ  
概念ト立法目的、斯ウ云フモノヲ一寸御伺  
シタイト思フノデアリマス

申上ゲテ置キタイコトハ、此國民經濟ト云  
フ言葉ヲ、只今アナタノ御話ノヤウニ資本  
主義經濟ト對蹠的ニ考ヘタイト云フ御考ノ  
ヤウデアリマスガ、茲ニ申シマスル國民經  
濟ト云フノハ、所謂資本主義經濟ト對蹠的  
ノ意味デ書キマシタモノデハゴザイマセ  
又、唯國民經濟ト云フモノハ、御承知ノ通  
リ近代國家ノ作用ト云フモノガ、古イ二百  
年、三百年前ノ國家ノ作用ノ時分カラ見ル  
ト、非常ニ擴大強化サレタ爲ニ、所謂國家  
經濟ト國民經濟ト云フモノハ非常ニ錯綜シ  
テ、其區別ヲスルコトガ困難ニナッテ參ッテ  
來テ居ルノガ今日ノ狀態デゴザイマス、殊  
ニ各種ノ統制ヲ國民經濟ノ活動ニ、好ムト  
好マザルトニ拘ラズ用ヒルヤウナ場合ニナ  
リマスレバ、國家經濟ト國民經濟ノ定義ノ  
間ノ區別ト云フモノヲ確然トスルコトガ中  
中困難ニナッテ來タヤウニ考ヘマスノデ、其  
意味デ所謂國民經濟ト云フモノヲ非常ニ強  
意シイカト考ヘラレルノデアリマス、ソコ  
デ今ノ「國民經濟ノ健全ナル發達ヲ圖ル爲  
重要物資ノ供給ヲ適正ナラシメントスルト  
ハ健全ナル發達ヲ圖ルト云フ意味ハドウ云  
キ」ト云フ意味ハ、是ハ今ノ概念トカ、或  
フ意味カト云フヤウナ文字ノ上ノ御説明ヨ

コトヲ申上ゲタ方ガ御答ニナルカト存ジマ  
スノデ、場合ヲ申上ガテ見タイト思ヒマス、  
即チ重要原料ノ分散貿付ニ依リマシテ、一  
方的ニ餘リニ其供給先ガ一ツノ國ニバカリ  
偏シテ居ルヤウナ場合ニ、ソレヲ制限ヲス  
ルトカ、或ハ代用原料ノ使用ヲ獎勵致シマ  
シテ、其工業ノ發達ヲ助成スル爲ニ、其代  
用サルル品物ノ輸入ヲ或ル程度制限スルヤ  
ウナ場合デアルトカ、或ハ國內ニ於テ不足  
セル重要ノ物ヲ輸出ヲ禁止シ抑制スル場  
合、例ヘバ機械工作物ノ如キモノハ日本デ  
マダ足ラナイノデスカラ、輸出ヲ獎勵スル  
ト云フ國際貸借戻ノ優良化ト云フ關係カラ  
バカリデナク、物資ノ上カラ見テ、サウ云  
フヤウナモノハ或ル程度制限シナクテハナ  
ラヌ、或ハ雑材ガ國內ニ於テ非常ニ不足シ  
テ居ル時ニ、之ヲ輸出スルト云フコトモ理  
窟ニ合ハヌデハナイカト云フヤウナ場合ニ  
ハ、サウ云フ國內ニ供給不足セル重要物資  
ノ輸出ヲ制限又ハ禁止スルト云フヤウナ、  
國民經濟ノ維持、發達ヲ圖リマス爲ニ、重  
要ナルモノノ需要供給ヲ調整スル必要ガア  
リマスル場合ニ於キマシテ、當業者ノ自治  
的統制ダケニ依頼スルコトガ出來ナイト云  
フヤウナ場合ニ、此第一條ノ第四號ノ發動

ヲ見ルコトトナルノデアラウト思ッテ居リマス、其意味デ、今ノ國民經濟ノ健全ナル發達ヲ圖ル爲ト云フ所ヲ御諒解ヲ願ヒタイト思ヒマス

○三田村委員 木暮政府委員ノ御説明ニ依

リマシテ、政府ノ御意圖ハ分リマシタノデアリマスガ、私ガ御尋シマシタノハ、詰リ只今例示サレマシタ本法適用乃至運用上ノ事例ト申シマスカ、事項デス、ソレガ本法ニ依ツテ統制サレ、調整サレルト云フコトソレ自體、此上ヘ戻ツテ來マシテ、國民經濟ノ健全ナル發達ト云フ觀念ニ化シテ來ルト思フノデアリマス、ソレデ私ハ立法ノ根本、立法ノ目的ト云フモノニ對シテ、多少新ラシイ經濟觀念ト言ヒマスカ、サウ云フ點カラ考ヘテ見タイト思フノデアリマス、只今木暮政府委員ハ國民經濟ト國家經濟トガ非常ニ接近シテ來テ、區別ガ明カデナイト云フ御話デアリマシタガ、私ハ國民經濟モ國家經濟モ同ジ事デアルト思フノデアリマス、只今ノ御説明ニ國家經濟ト國民經濟トヲ觀念的ニ御區別ニナッテ居ラシキヤウニ承ッタノデアリマスガ、私達ハサウ云フ觀方デハナク、苟モ政府ガ一つノ制裁ヲ以テ經濟行動ヲ律セントセラル場合ハ、國家意思ニ依ツテ經濟ト云フモノハ動クノデアリマシ

ト思フノデアリマス、國家意思ガ國民意思ニナルノデアリマス、國民經濟ト國家經濟ト同一體デアルト思フノデアリマス、唯私ノ意見ヲ是ダケ附加ヘマシテ、私達ハサウモノデアリマス、何故私ガコンナ變ナ理窟メイタコトヲ申上ゲタカト申シマスト、是ハ特ニ通商關係ノ御仕事ヲ爲サツテ居ラレマス商工當局ニ於テハ、十分御承知ノ通りデアリマスガ、曩ニモ一寸申シマシタヤウニ、通商ノ自由ト云フモノハ、今日モウ既ニナクナツテ居ルノデアリマス、千九百十九年デアリマシタカ、世界ヲ總舐メニ舐メタ經濟恐慌以來、長イ間國際經濟ノ原則ニナツテ居リマシタ通商ノ自由ト云フモノハ、殆ド根本カラ覆ヘサレマシテ、英吉利ハ千九百三十二年八月「オッタワ」經濟會議ヲ開キ、所謂「ブロック」經濟ノ大先驅ヲナシタ、次イデ千九百三十二年六月ノ倫敦會議ノ破綻ハ、所謂經濟「ブロック」ノ強化、鎖國經濟主義ノ發展、國民主義經濟ノ高揚ト云フ

コトニ非常ニ役立チマシテ、今日ノ如ク通商貿易關係ハ非常ニ困難ニナツテ來タノデアリマス、日本ノ商品ガ非常ニ優秀デアッテ、氣持ヲ申上ゲマスナラバ、優秀ナ而モ廉價而モ廉價デアル、經濟ノ自然ノ原理カラ云

ヘバ、安イ優秀ナ商品ガドンヽ其需要ニ依テ海外ニ吐出サレ、優秀ナ、廉價ナ商品ヲレテ居ル今日ノ現状、是ハ私達ガ新聞ヲ通ジ或ハ實際議會ニ現レテ來ル法案ノ内容ニ依ツテマザヽト知ツテ居ルノデアリマスガ、日蘭會商ト云ヒ、日印會商ト云ヒ、日濠會商ト云ヒ、悉クソレナノデアリマス、斯ウ云フコトハ率直ニ申シマスト、日本ノ外交ノ弱腰ト云フコトガ言ヒタイノデアリマスガ、國際經濟戰力深刻ニナリマスト、サウ簡単ニオ互ノ利益ハ棄テナイ、利害ニ非常ニ強クナリマシテ、日本ニ利益デアルバ、相手國ニ不利益デアルニ違ヒナイ、相手國ニ不利益デアレバ、日本ニ利益デアルニ違ヒナイ、之ヲ外交上ノ取引乃至ハ貿易上ノ行政手段ニ依ツテ御考ニナル場合ハ、相當強い決意が必要デアリマシテ、唯單ニ之ヲア、シテ吳レトカ、斯ウシテ吳レトカ、經濟使節ノ交驩トカ、一片ノ會商ニ依ツテ、私ハ斯ウ云フ問題ガ根本的な調整ヲ見ルモノデハナイト思フノデアリマス、亞米利加邊リハ非常ニ強イ方針デ對外貿易ニ當ツテ居ルヤウデアリマスガ、千九百三十三年ノ六月改訂サレマシタ亞米利加ノ海軍政策要綱ヲ見マスト、亞米利加海軍ノ根本政策トシテ、合衆國ノ海軍ハ其生産ト通商ヲ支持シ、且ツ本國ト海外領土ヲ保護スルニ十分

ナル兵力ヲ保持シナケレバナラヌ、斯ウ云  
フコトヲ言ツテ居ルノデアリマス、詰リ國力  
ガ背景ニナツテ、貿易關係ト云フモノガ調整  
デハイケナイト思フノデアリマス、モット率  
直ニ申シマスト、廉イ良イ商品ガ海外ニ其  
需要ニ依ツテ流レルコトハ、自然ノ法則ニア  
リマスカラ、其自然ノ法則ヲ阻止スル不自  
然ナ不合理ナ壓力ニ對シテハ、國力ヲ背景  
トシテ處理シナクチヤナラヌ、昨年デアリ  
マスカ問題ニナリマシタ例ノ支那ノ冀東政  
府アタリノ密輸問題デモ、一體密輸ト云フ  
言葉ヲ付ケルノハ不自然デアリマシテ、當  
然行クベキ性質ノモノデアリマス、自然ノ  
要求ヲ阻止スルモノニ對シテ肯カナケレバ  
俺ノ方ハ軍艦デ商船ヲ掩護シテデモ出スゾ  
ト云フ決意ガ加ハラナケレバ、日本ノ通商  
關係ト云フモノハ強クナラナイト私ハ確信  
シテ居ル、ソレダケヲ前提ト致シマシテ政  
府當局ニ御伺シタイ

ト根本的ニ國內モ國外モ一貫シテ、國自身ガ經濟產業ノ大方針ヲオ樹テニナツテ、ソレニ依ツテ運營サレルコトガ必要デアリマスガ故ニ、サウ云フ方面ニ付テ、私ハ寧ロ此法案ヲ甚ダ微溫的ダト思フノデアリマスカ、ドウ云フ御考ヲオ持チニナツテ居リマスカ、更ニ其間ニ加ヘテ申上ゲタイコトハ、最近吉野商工大臣ト賀屋大藏大臣トノ合作ニ依ツテ、所謂經濟三原則ト云フコトヲ言ハレテ居ル、此經濟三原則ヲ大學ノ卒業論文ニシテ書クト立派ナモノガ出來ルト思ヒマスガ、之ヲ實際運營スル場合ニハ、非常ニ難カシイト思フ、丁度外ス切レ目ノ無イ智慧ノ輪ヲ貰ツテ、優秀ナ官僚ガ高等遊戲ヲヤッテ居ルヤウナ氣ガスルノデアリマス、何處ヲ外シテ宜イカ、外レル所ガナイ、見タ眼ハ綺麗デアリマスケレドモ、實際何處カラ弄ツテ宜イノカ弄ル場所ガ分ラヌ、政府ハ自ラ其外ス所ノ分ラヌ智慧ノ輪ノ一環ヲ外シテ、此處カラ入ツテ此三原則ヲ斯ノ如クススニ行フノダト云フコトヲ私ハハッキリ御示シニナル必要ガアルト思フノデアリマス、私ノ御伺シタイコトハ貿易關係ニ付テモ、貿易關係ノ三原則ニ付テモ、根本的ニ私ガ只今申シマシタ國家同一體ノ原則ニ依ツテ御調整ニナル御決意ヲ御持チニナル

カドウカ、モツ具體的ニ申シマスト、今日  
經濟ノ混亂トカ、財政ノ逼迫トカ、生產力  
ノ擴充トカ色々言ハレテ居リマスガ、其由ツ  
テ來ル所ハ所謂資本主義經濟ノ弊害デアリ  
マス、是ハモウ好ムト好マザルトニ拘ラズ、  
必然的ナ運命トシテ今日生產サレナクチヤ  
ナラナイモノデアリマシテ、ソレハ丁度吾  
吾ガ自分ノ體内ニ何カ腫物デモ出來シタヤ  
ウナ氣持ニナラナケレバナラナイ、自分ノ  
身體ヲ健康ニスル爲ニハ邪魔ナ腫物ヲ取除  
ク、相當ナ手術ヲ加ヘテデモ取除クコトガ  
必要デアルト同時ニ、國家モ亦國內ニ資本  
主義的弊害ヲ持ツタノデアリマスカラ、勇敢  
ニソレヲ取除ク決意ガ必要デアルト思フノ  
デアリマス、單ナル觀念的ナ、國民經濟ノ  
健全ナ發達トカ言ツテ居ル時代デハナイ、既  
バナラナイ時期ダト思フノデアリマスカラ  
ラ、サウ云フ方面ニ對シテ如何ナル決意ヲ  
御持チデアリマスカ、御伺シタイノデアリ  
マス

ノデゴザイマシテ、日本ノ商品ガ良品廉價  
デアルニ拘ラズ、到ル處ニ於テ其入ルコト  
ヲ拒絶サレ、或ハ制限ヲ受ケ、或ハ又高關  
稅率ノ適用ニ依ッテ「シャット・アウト」サレ  
テ居ルト云フ此事實ハ、モウ今迄ノ自由主  
義經濟ノ通商時代カラ更ニ數歩ヲ世界ノ經  
濟ガ進メタモノデアルト云フ御意見ニハ洵  
ニ御同感デゴザイマス、私共モサウ云フコ  
トヲ考へマシテ、日本ノ商品ガ良クテ廉イ  
ニ拘ラズ、賣レナクチヤナラナイ管ダガ賣  
レナイ、ソコデ色々ウ云フヤウナ法律ヲ  
出シタリ、行政手段ニ懇ヘタリ、或ハ相手  
國ト協商商議ヲ行フト云フヤウナコトニ出  
テ居ルノデアリマシテ、根本的ナ問題ヲ定  
メズニ、サウ小サナコトヲヤッテモドウダ  
ト云フヤウナ御意見デアリマスケレドモ、  
根本的ナコトモ勿論必要デアルト同時ニ其  
場合々ニ生ジマシタ所ノ「フリクション」  
ヲ矯メテ行クト云フコトモ極メテ必要ナコ  
トデ、道ハ近キニ在リ、餘り足ヲ離サズニ  
ト云フ立前ノ下ニ、著々具體的ニ起リマシ  
タル各「ケース」ノ「フリクション」ヲ無  
クスルト云フコトニ商工當局ハ今日マデ盡  
力ヲ致シテ參ツテ居ルノデゴザイマス、而シ  
テ只今御意見デゴザイマスルガ、資本主義

ノ弊害ヲ除去スル爲ニ、一つ根本的ノ考方  
ハナイカト云フ御話デゴザイマスルガ、既  
ニ本會議ニ於キマシテ總理大臣カラモハッ  
キリト言明致シマシタヤウニ、資本主義經  
濟ニ附隨致シマスル所ノト申シマスルカ、  
或ハ資本主義ガ爛熟致シマシタ結果由ツテ  
生ズルト申シマスルカ、幾多ノ弊害ヲ是正  
スルト云フコトガ今回申サレテ居ルノデア  
リマスガ、即チ此法律案ノ如キモ或ル一方  
カラ見ルト餘リニ國家ガ干渉シ過ギルデハ  
ナイカト云フ其御言葉ハ、取リモ直サズ從  
來ノ如ク個人主義經濟ト申シマスカ、個人  
ノ利益ノミヲ追究スルコトヲ許サレテ居タ  
其コトヲ許サナイデ、ソレニ或ル補正ヲ加ヘ  
ヨウト云フコトガ此統制ト云フ形ニナッテ  
現レテ來テ居ルノデゴザイマス、私共ノ考  
ハ、今ノ資本主義經濟ノ爛熟ニ依ツテ生ズル  
弊害ヲ是正シテ行クト云フ根本ノ方針ニ立  
脚致シマシテ、其場合々ニ處シテ具體的  
ニ段々ト改メテ行キタイ、此法律ナドモ或  
八十數年、或ハ五六年前出シタナラバ、直  
ニ世間ノ非難ノ焦點ニナルモノガ、今日デ  
ハ其根本ニハ餘リノ御非難ガナク、部分的  
ニ色々御議論ヲ戴イテ居リマスト云フコト  
モ、時勢ガ此處マデ來タモノデアルト吾々  
ハ考ヘテ居ルノデアリマス

○三田村委員發言ヲ求ム

○増田委員長 三田村君ニ一言御注意申上  
ゲマスガ、御約束ノ時間ガ段々迫ツテ居リマ  
スカラ……

○三田村委員 モウドレダケデスカ……

○増田委員長 十分デス、御議論方長イヤ  
ウデスカラ、餘リ御意見ニ涉ラヌヤウニ、  
簡潔ニ御願致シマス

○三田村委員 ソコデ私御伺シタイコト  
ハ、今マデ申上ゲタコトハ實ハ總論デアッタ  
ノデアリマス（笑聲）詰リ經濟ノ實勢ト云  
フモノガ、ドウシテモ已ムヲ得ナイ必然ニ  
ナツテ來タノデアリマス、況ヤ最近ノ北支關  
係ヲ中心ニシマシテ、其感ヲ強ク致シマス  
ノデ、經濟ノ實勢ノ見地カラ、貿易關係ノ  
產業ノ統制モ必要デアリマスガ、此貿易關  
係、詰リ現在日本ガ必要ナ物資トシテ輸入  
シテ居リマスモノノ中ニハ、私ハ自給自足  
ヲ爲シ得ルモノガ澤山アルト思フノデアリ  
マス、是ハ一朝經濟封鎖デモ受ケレバ、當  
然ソレヲヤラナケレバナラヌノデアリマス  
カラ、寧ロ進ンデ、此際貿易關係ヲ調整ス  
ルコトモ必要デアリマスガ、自給自足ノ根  
本ヲ一つ御考ニナツタラドウカ、斯ウ云フコトヲ  
申上ゲタノデアリマスガ、其點ニ付テノ御  
所見ヲ先づ一應御伺致シマス

○木暮政府委員 淳ニ御尤ナ御意見デアリ  
シタガ、私ハモウ少シ強イ意味デ申上ゲテ  
居ルノデアリマス、甚ダ失禮ナ言葉カモ知  
レマセヌガ、ドウシテモ今日ノ經濟ニ於テ  
ハ、一ツノ飛躍ヲ必要トルノデスガ、其  
際極メテ優秀ナ官僚ハ餘リニ反省ガ多イト  
思フノデアリマス、常ニ周到デアリ、反省ガ  
強イ、其爲ニ必要グト云フコトハ分ツテ居  
テモ其處マデバツト飛ブコトガ出來ナイ實際  
ノ狀態ニアルノデハナイカト思ヒマス、ド  
ウシテモ大キナ飛躍ト云フモノガ必要デア  
リマシテ、必要ナラバ必要ナ所マデ行ツテシ  
スガ、「バルブ」資材ノ窮乏ト云フ叫ビガ相當アリマ  
フモノノ資材窮乏ト云フ叫ビガ相當アリマ  
シテ、其爲ニ事實カドウカ知リマセヌガ、  
由トシテ、今日國民ハ非常ニ迷惑シテ居ル、  
紙ガ非常ニ高クナツテ、新聞ハ一圓ガ一圓二  
十錢ニナツタ、紙ト云フモノハ、今日文化生  
活ヲスル國民ニ絕對ナクチヤナラヌモノデ  
アリマシテ、小學校ノ兒童ノ持ツ學習帳マ  
デ紙デアリマス、此「バルブ」資源ニ付テ  
モット產業當局ハ銳イ「メス」ヲ御加ヘニナツ  
テ、先刻私ガ申シマシタ產業經濟對策ノ飛  
躍性ト云フモノヲ御考ニナツテ、自給自足ノ  
途ヲ御考ニナツタラドウカ、斯ウ云フコトヲ  
申上ゲタノデアリマスガ、其點ニ付テノ御  
所見ヲ先づ一應御伺致シマス

○三田村委員 政府ノ御意思ハ能ク分リマ  
シタガ、私ハモウ少シ強イ意味デ申上ゲテ  
居ルノデアリマス、甚ダ失禮ナ言葉カモ知  
レマセヌガ、ドウシテモ今日ノ經濟ニ於テ  
ハ、一ツノ飛躍ヲ必要トルノデスガ、其  
際極メテ優秀ナ官僚ハ餘リニ反省ガ多イト  
思フノデアリマス、常ニ周到デアリ、反省ガ  
強イ、其爲ニ必要グト云フコトハ分ツテ居  
テモ其處マデバツト飛ブコトガ出來ナイ實際  
ノ狀態ニアルノデハナイカト思ヒマス、ド  
ウシテモ大キナ飛躍ト云フモノガ必要デア  
リマシテ、必要ナラバ必要ナ所マデ行ツテシ  
スガ、「バルブ」資材ノ窮乏ト云フ叫ビガ相當アリマ  
フモノノ資材窮乏ト云フ叫ビガ相當アリマ  
シテ、其爲ニ事實カドウカ知リマセヌガ、  
由トシテ、今日國民ハ非常ニ迷惑シテ居ル、  
紙ガ非常ニ高クナツテ、新聞ハ一圓ガ一圓二  
十錢ニナツタ、紙ト云フモノハ、今日文化生  
活ヲスル國民ニ絕對ナクチヤナラヌモノデ  
アリマシテ、小學校ノ兒童ノ持ツ學習帳マ  
デ紙デアリマス、此「バルブ」資源ニ付テ  
モット產業當局ハ銳イ「メス」ヲ御加ヘニナツ  
テ、先刻私ガ申シマシタ產業經濟對策ノ飛  
躍性ト云フモノヲ御考ニナツテ、自給自足ノ  
途ヲ御考ニナツタラドウカ、斯ウ云フコトヲ  
申上ゲタノデアリマスガ、其點ニ付テノ御  
所見ヲ先づ一應御伺致シマス

マハウ、其氣持ガ私ハ欲シイノデアリマス、  
「バルブ」ニ付テモ今日日本デ實際使ッテ居ル  
ノハ百十何万廻位ラシイノデスガ、其中デ  
海外カラ買ッテ居リマスル分ハ三十二一万六  
千廻デアリマスカ、全部デ百十万廻位デア  
リマス、東京帝國大學、北海道帝國大學ノ演  
習林デ専門ノ權威アル學者が研究調査シタ  
所ニ依リマスト、モット澤山伐レルト思フノ  
デアリマスガ、少クトモ今ノ成長率、詰リ  
毎年木ガ大キクナツテ行クダケノ成長率ダ  
ケ伐ツテモ、一年ニ約七十万廻ノ増産ガ可能  
ダト云フコトヲ聞イテ居リマス、成長率ダ  
ケ伐ルコトハ利息ヲ使フダケデ、元金ニハ  
喰込マヌ、私ハ寧ロ此際元金ニ喰込ンデモ、  
宜イト思フノデアリマスガ、五十年、七十  
年、百年ノ先マデ考ヘテ、成長率ダケ伐ツ  
行クコトハ、最モ安全デアリマス、其安全  
ナ方法ニ依ツテモ、約七十万廻ノ増産ガ出來  
——製紙「バルブ」ノ關稅免除ダトカ何ダト  
カ言ツテ居リマスガ、何ヲ苦シニ買フノカ、  
茲ニ十分アリ餘る程アルノデハナイカ、サ  
ウシテ七十年、百年、百二十年ノ先マデ安全  
デアレバ、ココ五年ヤ十年相當無理ヲシテ  
モ宜イト思フ、其位勇敢ナ飛躍ガ此際必要  
ダト思フ、更ニ私何故ソレヲ申上ゲルカト

云フト、最近私達時々不愉快ナコトヲ聞ク  
ノデアリマス、拓務省ノ政府委員モ居ラレ  
マスガ、御承知ノ通り、日本ノ製紙業ハ今日  
殆ド王子製紙ノ獨占デアリマス、王子製紙  
ガ日本ノ製紙業獨占ノ裏面ニハ、相當不愉  
快ナ、或ハ政略的ナ疑惑マデ聞イテ居ルノ  
デアリマス、サウ云フコトヲ私ハ此處デ申  
上ゲタクナイノデアリマスガ、勿論資本主  
義ノ餘弊ト云フモノハ、木暮政府委員モ御  
認メニナリマシタガ、サウ云フモノガ強ク  
非難サレテ國民主義經濟、國家主義經濟ト  
云フモノガ強調サレテ居ル今日、文化生活  
ニ最モ必要ナ製紙業ト云フモノガタッタ一  
要者大衆ハ苦シマナケレバナラスト云フ  
形態ハ、今日敢然トシテ打破シナケレバ  
ナラヌト思フ、此王子製紙ノ資源獨占、  
此最モ大キナモノハ樺太ニ於ケル森林  
樺太材ノ九〇%マデモ持ツテ居ル、而モ樺太  
廳ノ森林ト云フモノハ官有デアリマス、國  
民全體ノモノ、國家ノモノデアリマス、其  
官有林ヲ昭和三年カラ九年マデノ間ニ樺太  
廳ガ王子製紙ニ拂渡シテ居ル、詰リ王子製  
紙ガ樺太廳カラ買受ケタ數量ハ三千八百二  
%ハ王子製紙及ビ王子製紙ノ傍系デアリ  
マスル日本人組「バルブ」會社ノ手ニ依テ  
伐採サレテ居ルノデアリマス、全ク資源  
獨占ノ形ハ今日其市價ヲ自由自在ニ吊上  
ゲ、且ツ勝手ナ振舞ヲシテ居ルノデアリ  
マス、斯ウ云フコトハ此際私ハ商工當

局トシテ農林省ノ主管デハアリマスガ  
使用シタ數量デアリマス、ソレガ七千七百  
餘程銳イ「メス」ヲ御加ヘニナツテ、ハッキリ  
サレルコトガ必要デアルト思フ、少クトモ  
社会正義ト云フコトヲ強調サレマス現内閣  
ニ於テハ、私ハ其裏面ニ伏在スル色々ナ巷  
處ヘ持チ出スノデハアリマセヌガ、少クト  
モ斯ウ云フ問題ニ付テハ、私ハ貿易及ビ貿  
易關係ノ產業調整ヲ御考ニナル際御考ニナ  
ルコトガ必要デアルト思フ、私事實ヲ澤山  
持ツテ居リマスガ、厭ナ事實ヲ別ニ致シマシ  
テ、一寸二二ノ數字ヲ拾ツテ見マスト、第一  
ニ斯ウ云フ事實ガアリマス、是ハ私ハ樺太  
廳ノ調査ト農林省ノ山林局ノ調査ニ付テ調  
べテ見タノデアリマスガ、王子製紙ハ今日  
樺太材ノ九〇%マデモ持ツテ居ル、而モ樺太  
廳デアリマシテ、國民全體ノモノデアル、  
之ヲ一營利會社ガ完全ニ獨占シテ、其獨占  
シタ立場ヲ利用シテ斯ノ如キ疑惑ニ満チタ  
行動ヲ爲シテ居ルト云フコトハ、私ハ社會  
正義ヲ強調サレル現内閣ノ下ニ於テハ許サ  
レナイコトデアルト思フノデアリマス、今  
日此木材ノ一石ノ値段ガ幾ラカ知レマセヌ  
ガ、大體二圓位デ賣ツテ居リマス、二圓ニ致  
シマスト約一億圓、此私ガ申シマシタ三年  
カラ九年マデノ間ガ三千八百萬石デアリマ  
スガ、十年十一年十二年ヲ加ヘマスト恐ラ  
ク五千萬石ニ及ブト思ヒマス、五千萬石ニ  
及ブトシマスト約一億圓ト云フモノハ國ガ

損シタ譯ニナル、國際收支ノ適合、又今日增稅モ必要デアリマスガ、一億圓アルナラバ此北支事變臨時增稅一億圓ガ助カルト思ヒマス、政府ハ此際之ヲ一つ嚴密ニ御調べニナツテ、一億圓御取リニナツタ然ルベキダト思ヒマス、又默ツテ伐タモノトスレバ、倍額ニナリマスカラ一億圓ニナルカトモ思フノデアリマス、其他私ハ資源獨占ノ裏面ノ色々弊害ヲ知ツテ居ルノデアリマスガ、時間ヲ制限サレテ居リマスカラ省略致シマスガ、斯ウ云フ點ニ付テ私ハ資源獨占ノ弊ト、是ハ私ガ曩ニ諄々シク討論ヲ致シマシタガ、其討論ニ返ルノデアリマスガ、詰リ國民經濟、國家經濟ノ觀念ニ戻ツテ、私ハ國內ノ產物、國內ノ資源總て是ハ國民全體ノモノデアル、國家全體ノモノデアル、殊ニ況ヤ國有林ニ於テハ最モ正確ニ最モ嚴肅ニ國民全體ノ爲ニ、國家全體ノ爲ニ是ハ利用サレナケレバナラスト思フ、サウ云フ點ハ寧ロ此國際收支ノ適合——私ガ事實トシテ例示シマシタ「バルブ」ノ問題デモサウデアクテモ日本ノ國內デ濟ムデハナイカ、ソレ占ノ弊害ニ流レルコトガ多イコトハ洵ニ遺憾ト致シマス、隨ツテ商工省ト致シマシテハ獨リマスガ、六千万圓位ノ金ハ外國ニ拂ハナクテモ拘ラズ之ヲヤツテ居ルト云フコトハ、一方ニハ斯ウ云フコトヲ言フ人ガアリマ

ス、森林關係ノ役人ハ山ノ中ニ木ト一緒ニ育ツテ、木ノ成長スルコトハ知ツテ居ルガ、社會ノコトハ知ラヌ、木ヲ伐ラレルコトハ自ダト思ヒマス、又默ツテ伐タモノトスレバ、ソコニ飛躍性ガナイト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、是ハ穿ツタ言葉デアルト思ヒマス、農林省ノソレ等ノ統計ト樺太廳ノ賣非トモ「バルブ」資材ニ付テハ自給自足ノ途ヲ御立テニナル御考ガアルカナイカ御伺シタイ

○木暮政府委員 御答申上ゲマス「バルブ」資源ノ確立ニ付キマシテ農林省、拓務省ナドト聯絡協議致シマシテ、植林ノ政策殊ニ治山治水ノ政策ト云フヤウナコトヲ篤ト考究致シマシテ善處致シタイト考ヘテ居ルノデゴザイマス、ソレカラ獨占事業ノ弊害ニ付キマシテハ御説ノ所御尤ノ點ガ多イノデゴザイマシテ、殊ニ最近ノヤウナ色々ノ事業ニ免許制ヲ布ク場合ニハ、動モスルト獨占ノ弊害ニ流レルコトガ多イコトハ洵ニ遺憾ト云フ場合ニ於キマシテハ、要スルニ王子ト王子ノ工場ニ於ケル消化量ニナツテ居ルト云フ場合ニ於キマシテハ、要スルニ王子製紙ガ同種材木ヲ他ノ商人カラ買材スル場合ガ相當多イノデアリマス、自然自分デ直接拂下ヲ受ケテ工場ニ持ツテ行ッタモノ、ソレニ「プラス」他カラ拂下ヲ受ケタモノ、ソ

○三田村委員 伺ヒタイ點ハマダ多々アリ買材ト、斯ウ云フ數量ガ入りマシテ、王子某工場ノ樺太材使用量ト云フモノガ拂下數量ノ合計ト違ツテ來ルト云フ場合ガアルノデアリマス、只今御指摘ノ場合ハドウ云フ場合カ具體的ニ私ハ存ジマセヌガ、唯併シ吾々トシテ非常ニ殘念ニ存ジテ居リマスノ

○植場政府委員 樺太ノ山林拂下關係ノ點ニ付キマシテ私カラ一言御答ヲ致シテ置キマス、農林省ノソレ等ノ統計ト樺太廳ノ賣拂統計トガ外部ニ出マシテ、間々違フト云フス、サウ云フ點ヲ十分ニ御考ニナツテ此際是非トモ「バルブ」資材ニ付テハ自給自足ノ途ヲ御立テニナル御考ガアルカナイカ御伺シ體此惡イコトガ行ハレタト云フコトヲ抜キマデ始終吾々ノ耳ニ入ツテ參リマス、併シニ致シマシテ、ナゼサウ云フ統計ガ出來ルカト申シマスト、例ヘバ今三田村君ノ御引例ニナリマシタ王子ノ場合ニ於テ、樺太廳ト王子製紙トノ賣拂契約ガ何千万石ニナツテ居ル、ソレニ「プラス」何ガシカガ實際ノ王子ノ工場ニ於ケル消化量ニナツテ居ルト云フ場合ニ於キマシテハ、要スルニ王子製紙ガ同種材木ヲ他ノ商人カラ買材スル場合ガ相當多イノデアリマス、自然自分デ直接拂下ヲ受ケテ工場ニ持ツテ行ッタモノ、ソレモ、十分研究ガ擴メラレテ居リマスノデ、「バルブ」資源ノ自給自足ト云フ問題ニ付キマシテハ、單ニ樺太ダケデハゴザイマセス、北海道、朝鮮、ソレカラ最近又臺灣、南洋材、内地ノ各種ノ樹種ト云フモノニ付テモ、十分研究ガ擴メラレテ居リマスノデ、關係省ガ寄リマシテ、吾々モ參加シテ十分ニ只今研究中デゴザイマス、御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○三田村委員 伺ヒタイ點ハマダ多々アリマスケレドモ、時間ガナクナリマシタカラ此邊デ打切りマスガ、唯私共本當ニ國家ノ現狀ニ鑑ミテ、眞剣ニ、貿易モ産業モ經濟モツノ飛躍ヲ求メタイノデアリマス、益々國際關係ガ悪化シテ參リマスト、ドウシテモ資源ノ貧弱ナ土地ノ狭イ日本ハ自給自足ハ、御指摘ニナリマシタヤウナ、例ヘバ立木百万石ノ賣拂契約ヲシテ賣拂ツタト云フノガ、御承知ノ如ク樺太ノ山林ハ大體増大致シマシテ五分留リト稱シテ居ルノデアリマスガ、ソレガヤハリ百万石ノ丸太が出て併ナガラ御承知ノ通り昭和七年以降林政改革方針ヲ確立致シマシテ、爾後検査販賣ヲシテ居リマス點ニ付テハ、サウ云フ點ハナイト斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、尙ホ又只今商工政務次官ノ御話ノゴザイマシタ「バルブ」資源ノ自給自足ト云フ問題ニ付キマシテハ、單ニ樺太ダケデハゴザイマセス、北海道、朝鮮、ソレカラ最近又臺灣、南洋材、内地ノ各種ノ樹種ト云フモノニ付テモ、十分研究ガ擴メラレテ居リマスノデ、關係省ガ寄リマシテ、吾々モ參加シテ十分ニ只今研究中デゴザイマス、御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

ノ途ヲ考ヘナクチヤナラナイノデアリマスカラ、ヤハリ理論ニ囚ハレナイデ、實際ヲ嚴肅ニ見極メテ、サウシテ勇敢ナ經濟產業政策ヲ立テテ欲シイノデアリマス、ソレデナイト、失禮ナ言葉ニナリマスケレドモ、大學ノ卒業論文ヲ書クヤウニ、理詰メデ、理窟デ押シテ行ッテモ、今日私ハ經濟ノ問題、產業ノ問題、貿易ノ問題ハ片付カズト思フ、ハッキリ爲スペキコトヲ決メテ、サウシテ行カナクチヤナラヌナラ必要ナ手段ヲ加ヘル、實力ヲ以テデモ之ヲ遂行スルト云フコトガ必要デアリマシテ、國民悉ク其點ニ付テハ私ハ熱烈ナ支持ヲ與ヘルト思フノデアリマス、一會社ノ利益擁護ノ爲ニ、斯ノ如キ經濟ノ現象ガアルコトヲ私ハ甚ダ遺憾ダト思フ、王子製紙一ツ今日其獨占形態ヲ發展セシメテ、ソレニ依ッテ、資本主義化ノ爛熟期ト云フコトヲ申シマスガ、爛熟期デナク既ニ其餘弊滿々タル今日ノ資本主義的ナ弊害ヲ、其一環ヲ崩スコトニ依ッテ私ハ少シデモ社會正義ニ立脚シタ經濟ニ進行シ得ルト思フノデアリマス、此點又他ノ機會ガアリマシタナラバ、モット事實ヲ以テ御伺シタイト思ヒマスガ、今日ハ此程度デ私ノ質問ヲ打切りマス

### ○増田委員長 昨日中村委員ノ質疑中ニ休

ノ途ヲ考ヘナクチヤナラナイノデアリマスカラ、ヤハリ理論ニ囚ハレナイデ、實際ヲ嚴肅ニ見極メテ、サウシテ勇敢ナ經濟產業政策ヲ立テテ欲シイノデアリマス、ソレデナイト、失禮ナ言葉ニナリマスケレドモ、大學ノ卒業論文ヲ書クヤウニ、理詰メデ、理窟デ押シテ行ッテモ、今日私ハ經濟ノ問題、產業ノ問題、貿易ノ問題ハ片付カズト思フ、ハッキリ爲スペキコトヲ決メテ、サウシテ行カナクチヤナラヌナラ必要ナ手段ヲ加ヘル、實力ヲ以テデモ之ヲ遂行スルト云フコトガ必要デアリマシテ、國民悉ク其點ニ付テハ私ハ熱烈ナ支持ヲ與ヘルト思フノデアリマス、一會社ノ利益擁護ノ爲ニ、斯

致シマシタノデ殘リノ部分ニ付テ御尋致シタイト思ヒマスガ、時間ノ關係モアリマスカラ、私ハ便宜上私ノ質疑事項ニ付テ一度繰メテ申上ゲマシテ、サウシテ其項目ニ付テ御答ヲ願フヤウニスルコトガ議事進行上宜イト思ヒマスカラ、左様ニ致シタイト思ヒマス、先程井上委員カラモ、此貿易組合案或ハ工業組合法案等ノ、是等ノ制度

ノ結果、大資本ノ者ヲ利益シテ小資本ノ者ヲ重壓スル結果ニナラナイカト云フヤウナ意味ノ御質問ガアツヤウデアリマス、私モ實ハ此點ニ付テ憂慮致シテ居ル一人デアリマス、殊ニ此法案ノ骨子トスル所ハ、努メテソレヽノ組合ノ自治的ノ統制ニ俟ツト云フヤウデアリマスガ、自治的統制ト云フ

ス、サウシテ非常ニ強化シタ統制ヲ致シテ居リマス、其爲ニ各工場ガ生产能力ノ四割或ハ五割程度ノ生產統制ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、大資本ノ工場デ、既ニ古イ工場、又機械モ古クナッテ今日ニ於テハソレダケノ優秀ノ生产能力ノ無イモノマデガ、算盤ノ上デ彈キ出シタ生产能力ノアルモノトシテ、其前提ノ下ニ統制ガ行ハレテ居ルト事實モアルノデアリマシテ、私共ハ統制定款ノ成立ニ付テハ、非常ニ其根本ヲ疑ツテ居ル者デアリマスガ、尙ホ今日ソレガ儼然トシテ存在シテ居リマシテ、私共ハ色々弊害ガアルヤウニ見受ケテ居ルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ例ガアリマスシ、ソレカラ工業組合ノ強化シタ統制ヲ行フガ爲ニ點カラ鑑ミマスト、統制ト云フコトノ

想致シタノデ質問ヲ保留シテアリマスガ、先程ヨリ發言ヲ要求サレテ居リマスカラ、極メテ簡潔ニ其質問ノ繼續アランコトヲ望ミマス  
○中村委員 昨日途中デ本會議ノ爲ニ散會致シマシタノデ殘リノ部分ニ付テ御尋致シタイト思ヒマスガ、時間ノ關係モアリマスカラ、私ハ便宜上私ノ質疑事項ニ付テ一度繰メテ申上ゲマシテ、サウシテ其項目ニ付テ御答ヲ願フヤウニスルコトガ議事進行上宜イト思ヒマスカラ、左様ニ致シタイト思ヒマス、先程井上委員カラモ、此貿易組合ト云フモノガアリマス、此製氷工業組合ト云フモノガアリマス、此製氷工業組合ノ現狀ヲ見マスルト、大製氷會社ガ中心ニナリマシテ其組合ガ結成致サレテ居リマス、サウシテ非常ニ強化シタ統制ヲ致シテ居リマス、其爲ニ各工場ガ生产能力ノ四割或ハ五割程度ノ生產統制ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、大資本ノ工場デ、既ニ古イ工場、又機械モ古クナッテ今日ニ於テハソレダケノ優秀ノ生产能力ノ無イモノマデガ、算盤ノ上デ彈キ出シタ生产能力ノアルモノトシテ、其前提ノ下ニ統制ガ行ハレテ居ルト事實モアルノデアリマシテ、私共ハ色々弊害ガアルヤウニ見受ケテ居ルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ例ガアリマスシ、ソレカラ工業組合ノ強化シタ統制ヲ行フガ爲ニ點カラ鑑ミマスト、統制ト云フコトノ

キマシテ、統制經濟デアルトカ、或ハ計畫シテハ、神奈川縣デアルトカ其他隣縣ノ生産製氷ハ半額或ハ何分ノ一ト云フ値段デ東京へ流レ込ムノデアリマス、東京府下ノ工業組合ガ強度ノ統制ヲ執ラテ値段ノ吊上げヲ行フ、ソレガ爲ニ消費者モ非常ナ不便ヲ感ズルノデアリマスガ、ソレト同時ニ他府縣ノ製氷ガ自然色々ノ手段ニ依ツテ流レ込ンデ來ルノデアリマス、此流レ込ミニ對シテ、ソレヲ防遏スル爲ニ組合ガ又色々ナ手段ヲ講ズル、斯ウ云フヤウナコトデ、其間ニ種々ナル弊害ガアルト同時ニ、消費者ノ利益ト云フモノガ甚ダシク侵害サレテ居ルト云フ實情ニアルヤウニ思フノデアリマス、尤モ此製氷工業組合ノ統制強化ノ定款ヲ作ルニ當リマシテハ、商工省ニ認可ノ申請ガ行ハレタ當時、贈賄事件等ガ起キマシテ、商工省ノ關係官ガ疑獄事件ニ連坐致シテ、其前後ノ下ニ統制ガ行ハレテ居ルト事實モアルノデアリマシテ、私共ハ色々弊害ガアルヤウニ見受ケテ居ルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ例ガアリマスシ、ソレカラ工業組合ノ強化シタ統制ヲ行フガ爲ニ生ズル弊害モ亦見逃スペカラザルモノ

ガアルヤウニ思ヒマスノデ、此點ニ付テ  
局ハドウ云フヤウニ運用シテ行カレルカ、  
左様ナ弊害ヲ將來ナイヤウニセラレル御決  
心、或ハドウ云フ方法、手段ヲ以テ本法ノ  
運用ヲセラレルト云フノデアルカ、其點ニ  
付テノ御所見ヲ承リタイト思フノデアリマ  
ス

ソレカラ次ニハ貴族院ノ質疑應答ニ依リ  
マシテ、マダ私共ハソレガ曖昧ノ結果ニ終ツ  
テ居ルヤウニ思ヒマスノデ、此機會ニ御所見  
ヲ承リタイト思ヒマス、貿易及關係產業ノ  
調整ニ關スル法案竝ニ貿易組合法案、工業  
組合法案等モサウラシイノデアリマスガ、  
大體内地ニ適用シテ、外地ニハ適用シナイ  
方針デアルト云フヤウデアリマス、私ハ此  
點ニ付テ心配ヲ致シテ居ル一人デアリマシ  
テ、貴族院ノ質疑應答ニ依ッテ吾々ノ諒解  
ガ十分行ケルコトヲ望ンデ居ツタノデアリ  
マスガ、ドウモソレガマダハッキリト解決シ  
テ居ナイヤウニ思ハレルノデアリマス、重  
要產業統制法ノ實施等ノ結果ヲ見マシテ  
モ、内地ニ是方施行サレテ外地ニ施行サレ  
ル爲ニ外地ニ工場ヲ建設スルト云フヤウ  
ナ結果ヲ生ジテ、其統制ガ破ラレタ、本法  
ナカツタ爲ニ、重要產業統制法ノ統制ヲ免カ

スルコトニナリマスト、外地ノ爲ニ本法  
ノ目的ト云フモノハ蹠躡サレテシマフ虞ガ  
アル、外地ト申シマシテモ、何レモ我國ノ  
領土内デアリマシテ、關稅等ノ關係ガアリ  
マセヌカラ、其間ノ調節ヲ圖ルト云フコト  
ハ私ハ恐ラク不可能デアラウト思フノデア  
リマス、イッソ是ハ出發カラ内外地共ニ適用  
スルト云フ段取デ掛ルコトガ適切デハナイ  
カ、サウスルコトニ依ラネバ本法案ノ目的  
ヲ十分ニ達スルコトガ出來ナイノデハナイ  
カ、此點ヲ憂慮致ス一人デアリマス、又或  
ハ見方ニ依リマシテ、外地ノ當業者ハマダ  
ソコマデ發達シテ居ナイト云フコトヲ言ヒ  
得ルカモ知レマセヌガ、併シ貿易關係ノ仕  
事ニ携ハル、或ハソレニ直接關係ノアルヤ  
ウナ産業ニ携ハル人達ハ、内地人或ハ然ラ  
ズト雖モ相當知識モ發達シ、十分ナ經驗ヲ  
以テ當ラレテ居ルノデアリマスカラ、是ハ  
チットモ差別ヲスル必要ハナイ斯様ニ私共  
ハ考ヘマスノデ、此點ニ付テノ御所見ヲ伺ツ  
テ置キタイト思ヒマス、ソレカラ本法案ニ  
依リマスト輸出組合、或ハ輸出組合聯合會、  
輸入組合、輸入組合聯合會、或ハ輸出入組  
合聯合會ト云フヤウナモノガ出來ル譯デア  
リマス、更ニ必要ニ應ジテ協議會ガ設ケラ  
レ、或ハ常設ノ審議會ガ設ケラレ或ハ又貿

ニ幾ツモノ機關ヲ經テ行クヤウデアリマス、是ハ運用上已ムヲ得ナイコトカモ知レ  
機敏ヲ要スルコトガ私ハ多イト思フノデアリマス、他國トノ商業上、所謂平和ノ戰爭ニ  
携ハルノデアリマスカラ、敏捷ヲ要スル、所ガサウ云フヤウナ機關ヲ經テ行ク爲ニ、勤  
モスレバ此敏捷ガ缺ケルヤウナコトガアリハシナイカ、此點ヲ私ハ心配ヲ致シマスノ  
デ、當局ハ此運用ニ於テ、左様ナ商取引ノ商機ヲ逸シナイ、敏捷ヲ缺カナイト云フ一  
ツノ決心ヲ持ツテ當ッテ戴キタイ、隨テソレニ付テノ御所見モ承リタイノデアリマス  
ソレカラ統制協議會ト云フモノヲ作りマシテ、當業者竝ニ第三者ヲ加ヘタモノニ依ツ  
テ統制上ノ協議ヲ行フト云フコトデアリマスガ、其統制協議會ニハ固ヨリ嚴正ノ立場  
ニアル第三者モ入ルニ致シマシテモ、直接利害關係ヲ持ツタ所ノ當業者ガ參加スルノ  
或ル程度マデハ——是ハ吾々議員ガ論議ヲアリマス、當業者ハ自己ノ利害ノ爲ニハ  
會ノ議ガ纏ラナイヤウナ事ガ起ルコトヲ豫スルヤウナ結果ニナリ、遂ニハ其統制協議  
想シナケレバナラスト思ヒマス、左様ニ議

ノ纏ラナイ場合ニ於テ如何ナル裁定ヲスル  
其點ニ一つノ疑義ヲ持ツノデアリマス、私  
共ノ考ヲ以テ致シマスナラバ、左様ニ議ノ  
纏ラナイ場合ニ應ズル爲ニ、一つノ裁定機  
關ヲ設置スル必要ガアルノデハナイカト云  
フコトモ考ヘルノデアリマス、輸出、輸入  
ニ關係致シマシテ、又他ノ場合ヲ想像シテ  
見マスルト、生産業者ト輸出輸入ノ貿易業  
者トノ間ニ利害ノ對立スル場合モ想像シナ  
ケレバナラヌノデアリマス、是等ニ付テモ、  
ドウ云フヤウナ統制、ドウ云フヤウナ協調、  
ドウ云フヤウナ裁定ノ途ヲ立テ、行クノデ  
アリマスカ、是等ノ點ニ付テ御所見ヲ承リ  
タイト思ヒマス

ソレカラ輸出品ノ検査ニ付テハ、今後國  
家機關ニ依ツテ輸出検査ヲヤツテ行カウト云  
フ方針ノヤウデアリマスガ、私ハ此組合ノ  
設立、組合ノ十分ナ機能ノ發揮ト云フコト  
ヲ組立テラレテ居リマスル上カラ見マスル  
ト、是等ノ検査ハ組合ニ任セル方ガ適切デ  
ハナカラウカト思フ、何故ナラバ、先刻モ  
申シマシタヤウニ、貿易上ノ事柄等ハ特ニ  
機敏ヲ要スル、ソレニ一々役人ガ検査ヲセ  
ネバナラヌト云フコトニナリマスト、色々  
豫算ノ關係、手不足ノ關係等カラ致シマシ

ソコデ組合ニソレ等ノ検査ヲヤラセルコトニ致シマスナラバ、組合ハソレニ必要ナル機關ヲ設ケテ、若シソレガ手不足デアルトスレバ、關係業者トシテハ自分達ノ醸金ヲ多く負擔致シマシテモ、ソレニ必要ナル方策ヲ講ジテ、機敏ナル検査手續ヲ經テ、輸出、輸入ヲスルコトガ出來ルト云フコトニナルノデハナカラウカト思ヒマス、唯其間組合ノミニ任シテ置クト云フコトモ是ハ如何カト思ヒマスカラ、ソレニ對シテ關係當局ガ、組合カラ検査ノ通知ヲ致シテ參リマスト、一人ナリ二人ナリノ係官ガソレニ立會ツテ、若シ係官ノ方デ手不足デ廻リ切レナイヤウナ場合ニハ、ソレハ常ニサウ云フ結果ニハナラヌノデアリマスカラ、先づ大體局ガ、組合カラ検査ノ通知ヲ致シテ參リマスト、一人ナリ二人ナリノ係官ガソレニ立會ツテ、若シ係官ノ方デ手不足デ廻リ切レナイヤウナ場合ニハ、ソレハ常ニサウ云フ結果ニハナラヌノデアリマスカラ、先づ大體ニ於テ検査ニ立會フト云フ大體大方針ダケヲ決メテ置キマシテ、萬一行カレナイ場合ニハ、組合ノ検査ノミニ任シテモ、左程大シタ弊害ハ起ラナイノデハナイカト云フヤウニ考ヘマスノデ、此點ニ付キマシテモ御所見ヲ承リタイト思ヒマス、殊ニ組合ヲ作用大體ノ方針ハ、同一商品若クハ輸出先ヲ同ジウスル關係業者ヲ以テ組織セシムルヤウデアリマスカラ、同一ノ商品ヲ扱フ組合、

業者ノ組合ノ検査デアルナラバ、決シテ私  
ハ統制ヲ素シ、統一ヲ缺クヤウナコトハナ  
カラウト思フノデアリマスガ、之ニ付テモ  
一ツ伺ッテ置キタイト思ヒマス  
ソレカラ昨日私ハモウ少シ貿易ノ指導助  
長ニ付テ力ヲ致サレテ欲シイモノデアルト  
云フ點ヲ申上ゲタノデアリマスガ、輸入ト  
輸出トノ調節ヲ圖ル上カラ言ヒマシテモ、商  
貿易ノ振興ヲ圖ル上カラ言ヒマシテモ、商  
工當局ニ於キマシテ一ツ盛ニ輸出業者ト輸  
入業者——輸入ニ携ハル者ト輸出ノ貿易若  
クハ輸出生産業ニ携ハル者ト合體シテ、  
色々ナ方面ニ計畫的ニ海外ニ出張致シマシ  
テ、サウシテ海外ノ市場ニ於テ見本市ヲ開  
イテ、日本生産品ノ販路擴張ノ政策ヲ講ズ  
ルト同時ニ、ソレニ釣合ッタ所ノ權衡ノ執レ  
タ輸入ノ方策ヲ其現地ニ於テ講ズルト云フ  
ヤウナコトヲ盛ニヤルコトガ、貿易振興ノ  
立前カラ言ツテ必要デハナカラウカ、現ニ東  
京府アタリニ於キマシテモ、屢々海外見本市  
ト云フモノヲ行ヒマスガ、僅カ一府縣デア  
ル東京府ガサウ云フヤウナ海外見本市ヲ開  
キマシテモ、一回ノ出張ニ於テ二百万圓ナ  
リ三百万圓ト云フヤウナ商取引ヲサヘ取結  
ブコトガ出來ルノデアリマシテ、是等ノ點  
ニ付テ全國的ニ統制ヲ執リマシテ、商工省

ガ一層力ヲ入レテ行ハル、コトガ私ハ必要デハナイカ、斯ウ考ヘルノデアリマスガ、此點ニ付テ當局ノ御所感ヲ承リタイト思ビマス

ソレカラ貿易ノ統制、或ハ關係產業ノ調整ト云フ點カラ見マスト、資源ト云フモノハ極メテ重要ナ關係ヲ持ツテ參リマス、資源關係ニ付テ十分ノ調査、十分ノ具體的ナ内容ニ觸レテ居ナケレバ、貿易調整ノ眞ノ目目的ヲ達スルコトハ私ハ出來ナイト思ヒマス、國內資源ハ固ヨリ、海外ノ資源ニ付テモ同一デアリマス、隨テ資源局アタリデヤッテ居リマス仕事ト、貿易局デオヤリニナル仕事等ヲ、或ル程度マデ一元化スルト云フコトモ圓滑ナル執行上必要デハナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマスガ、其點ニ付テ今現ニ何等カ御考ガアリマシタナラバ承ツテ置キタイト思ヒマス

ソレカラ前議會ニ於キマシテ輸出統制稅法案ト云フモノヲ政府カラ御提案ニナリマシテ、遂ニ是ハ色々ナ關係上議會モ解散ニナリ、不成立ニ終リマシテ、本議會ニ於テハ御提案ニナラナイ法案デアリマスガ、前議會ニ於テ此輸出統制稅法案ヲ御提案ニナリマシタ當時ノ御説明ヲ承リマスルト、ソレ依ル所ノ約四百万圓ノ金ヲ貿易ノ振興ニ

充當シテ行クノダ、斯ウ云フヤウニ説明ヲ  
承ツテ居リマシタ、遂ニ其法案ガ今度出サレ  
マセヌノデ、其約四百万圓程ノ財源ハ生レ  
貿易ノ振興、貿易ノ助長ト云フヤウナコト  
ニ必要ガアツテ、其財源ニ充テル爲ニ輸出統  
制稅法案ヲ提案ニナツタ、ソレガ全部ノ理由  
デハナイカモ知レマセヌガ、少クトモ一部  
ノ理由ニ相成ツテ居ル、其法案ヲ今度ハ出サ  
レナイ、結局四百万圓ノ財源ヲ得ルコトガ  
出来ナイ、サウシタナラバ其必要ヲ當局ガ  
御感ジニナリマシタ所ノ貿易ノ振興ニ付  
テ、今後ドウ云フ財源ヲ獲得シテ、ドウ云  
フ方策ヲ講ジテ行カレヨウトナサレテ居リ  
マスルカ、ソレヲ承リタイト思ヒマス  
ソレカラモウ一點ダケ伺ヒマスガ、工業  
組合法案ニ於キマシテハ非組合員ニ對シテ  
モ統制ヲ行フ、是ハ統制工業組合ニ付テ  
アリマスガ、非組合員ニ對シテモ統制ヲ行  
フト云フコトト、組合ノ自治的統制ト云フ  
コトトハ、何トナク觀念ニ於テ私ハ矛盾ガ  
アルノデハナイカト云フヤウナ感ジガ致ス  
ノデアリマス、此點ニ付テモ併セテ御答辯  
ヲ煩ハシテ置キタイト思ヒマス  
私ノ質疑事項ハ以上デアリマスガ、之ニ  
付テ项目的ノ御答辯ヲ承リマシテ、私ノ諒

解が出來ル範圍デアリマスルナラバ、ソレ  
デ打切りタイト思ヒマス、若シ都合ニ依リ  
マシテハ一二點ダケ御許ヲ願ヒマス  
○木暮政府委員 中村サンノ御質問ニ御答  
ヲ申上ゲマス、私ガ一通り答ヘマシテ、足  
リマセヌヤウナ所ハ貿易局長官カラ更ニ詳  
シク御答申上ゲルコトニ御諒承ヲ願ヒタイ  
ト思ヒマス

第一ノ貿易ノ統制ハ大キナ産業者ヲ保護  
スルニ墮セザルヤト云フヤウナ御質問デゴ  
ザイマシタガ、御承知ノ通リ統制委員會ニ  
依テ統制方針ヲ決定致シマシテ、生産數量  
ニ付テハ届出ヲ爲サシメル等ノ監督ヲ致シ  
マス、例ヘバ實例トシテハ小サナ生産者ニ  
對シマシテノ割當ニ最低ノ標準ヲ設ケルト  
節方法ヲ講ズルトカ云フヤウナコトヲ致シ  
マシテ、貿易統制ニ依テ大キナ者ヲ保護シ、  
ソレカラ統制ト云フコトハ一體當業者ヲ  
利シテ、物價ヲ高メテ、一般ノ大衆ノ利益  
ヲ害スルヤウニナルノデハナイカト云フ御  
話デゴザイマシタガ、御承知ノ通リ統制ト  
カ免許トカ云フコトハ勢ノ趨ク所、之ヲ放  
任致シマスレバ獨占ノ弊害ガ非常ニ多クナ

リマスコトハ御話ノ通リデゴザイマシテ、  
當局ハ其點ニ付テ特ニ統制ヲ行ヒマスルト  
同時ニ注意ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、  
生産統制或ハ販賣統制ニ當リマシテハ、數  
量價格ヲ決定スル場合ニ統制委員會ヲ組織  
セシメマシテ、其委員會ニハ消費者ノ代表  
者モ入り、或ハ官廳、役所側ノ人モ入ツテ居  
ルト云フヤウナ狀態デ、公正ナル價格ヲ維  
持スルト云フコトニ統制ノ場合ニ注意ヲ致  
シテ、唯當業者ノ利益バカリデナク、一般  
大衆ノ利益ヲ害シナイト云フコトニ氣ヲ付  
ケテ居ルノデゴザイマス、只今製氷會社ノ  
問題ガゴザイマシタノデ、コチラデ判ツテ居  
リマスルコトヲ御参考マデニ申上ゲル方ガ  
宜カラウト思ヒマスルガ、帝都製氷工業組  
合ト云フモノノ統制事業ニ付キマシテハ、  
第三者ヲ加へマシタ統制委員會ニ於テ其價  
格數量ヲ決定セシメテ、サウシテ公正ナル  
シテ居ルノデアリマス、隨テ價格ハ東京ガ  
大體ニ於テ低廉デアリマシテ、他府縣カラ  
シテ居ルノデアリマス、  
ハ安ク統制ニ依テ賣ツテ居テ、剩ツタモノヲ  
ソレカラ統制ト云フコトハ一體當業者ヲ  
利シテ、物價ヲ高メテ、一般ノ大衆ノ利益  
ヲ害スルヤウニナルノデハナイカト云フ御  
話デゴザイマシタガ、御承知ノ通リ統制ト  
トガ多イノデアリマスガ、本法ハ外地ニ必  
要アル場合ニハ通商擁護法ト同ジク外地ニ  
於テモ施行スルト云フコトト致シタイト考  
ヘテ居リマス、デ内地ト外地トハ御話モゴ  
ザイマシタガ、一般ニ民度ヲ異ニシテ、產

縣ト協議シテ、斯ウ云フコトノナイヤウニ  
ト云フ風ニ實ハ考ヘテ居ルノデゴザイマシ  
テ、私共ノ當局ノ方デ調べマシタ所ハ、一  
瞬當リノ値段ガ東京ガ十五圓、茨城縣ガ十  
七圓、岡山縣ハ十七圓五十錢、外ノ府縣デ  
モ十六七圓ト云フヤウナ工合ニナツテ居リ  
マシテ、東京ガ必ズシモ統制組合ガ出來マ  
シタ爲ニ價格ノ昂騰ヲ圖ッテ、サウシテ大衆  
ノ利益ヲ害スルヤウナ仕事ヲシテ居ルト云  
フヤウナコトハ見受ケラレナイノデゴザイ  
マスケレドモ、今後ニ於キマシテモ苟モ大  
衆ノ利益ニ反スルヤウナコトノナイヤウニ、  
當局ハ十分ノ注意ヲ致シタイト考ヘルノデ  
アリマス、ソレカラ此法律ヲ外地ニ適用ス  
ルカト云フ御尋ガゴザイマシタガ、御話ノ  
如クニ從來統制ガ内外連絡相一貫致シマセ  
ヌ爲ニ、色々ノ弊害ガアルノデゴザイマシ  
テ、内地ダケハ統制ヲヤラレテ居ル、一步  
要アル場合ニハ通商擁護法ト同ジク外地ニ  
於テモ施行スルト云フヤウナコトデ、ソコニ非常  
ニ努メル積リゴザイマス

業ノ組織其他經營ノ狀態ト云フヤウナモノ  
モニ致シテ居リマセヌカラ、此法律ヲ直  
チニ外地ニ適用スルニ當リマシテハ適當ナ  
ル參酌ヲ加フル必要ガアルヤウニ思ヒマ  
ス、言葉ヲ換ヘテ申シマスルナラバ、第一  
條竝ニ第三條ノ如キハ組合ト云フモノガ相  
當ニ發達致シテ居リマスル場合ニ是方行ハ  
レル規定デゴザイマシテ、外地ニ於テハ組  
合ガ割合ニマダ完備シテ居ラナイ狀態デア  
ルカラ、之ヲ施行スルコトハ如何カト考ヘ  
ラレマス、又貿易審議會ト云フヤウナ重大  
ナル權限ヲ持ツ所ノ機關ヲ作リマス場合ニ  
モ、内外地ノ民度ノ差ト云フヤウナコトデ、  
勢ヒ外地ノ方ニ貿易審議會ヲ作ラセルノハ  
マダ早イデハナイカト云フヤウナコトニナ  
リマスノデ、言葉ヲ換ヘテ申シマスルト、  
要アル場合ニハ通商擁護法ト同ジク外地ニ  
於テモ施行スルト云フヤウナモノハ專ラ第  
一條ノ貿易審議會ノ存在ヲ認メナイコトニ  
致シマシテ、此第一條及ビ之ニ伴フ監督規  
定トカ罰則ト云フヤウナモノハ外地ニ施行  
スルト云フ豫定デアルノデアリマス、ソレ  
カラ其次ノ御質問ハ統制協議會ハドウモ  
當業者ガ利害ヲ代表シテ相抗爭對立スル結  
果ハ、紛争ノ餘リ其決定ヲ見ザルヤウナ場  
合ガアルノデヤナイカ、サウ云フ場合一體  
ドウスルノダト斯ウ云フ御問デゴザイマス

ルガ、御承知ノ通り何カ當業者ノ間ニ於テ  
利害ガ一致シマセヌ場合デアルトカ、或ハ  
第二條ニ依ル統制ヲ行フ場合トカ云フヤウ  
ナ場合ニ、其場合々々ニ依リマシテ、市場  
別或ハ商品別ニ統制協議會ヲ作ルノデゴザ  
イマシテ、ソレニハ當業者バカリデナク、  
官廳ノ人或ハ學識經驗アル人ヲ入レマシ  
テ、サウシテ統制協議會ヲ以テ何カ争デモ  
アル場合ニハ裁定機關トル譯デアリマス  
カラ、此處デ色々ノ紛争ガ起ルト云フヤウ  
ナコトハ當局デハ豫想シテ居ラナイノデゴ  
ザイマス、此處デハ公平ナル意見ガ決定セ  
ラル、モノデアラウ、此處デ公平ナル意見  
ガ決定セラレタモノヲ更ニ場合ニ依テハ貿  
易審議會ノ議ヲ經テ強制スルト云フコトニ  
相成ルノデアルト考ヘテ居ルノデアリマ  
ス、ソレカラ資源ノコトガ御承知ノ通リ貿  
易ト云フ關係ニ執ツテハ極メテ重大ナル聯  
關ヲ持ツテ居ルコトハ申ス迄モナイノデゴ  
イマス、商工省ノ貿易局ニ於テモ資源局  
遺憾ナキコトヲ期シテ居リマス次第デゴザ  
イマス、ソレカラ第七十議會ニ於テ成立ヲ  
見マセヌデアリマシタガ、例ノ輸出統制稅  
ヲ財源トスル貿易振興ノ施設ト云フヤウナ  
モノニ付テノ御尋デゴザイマスガ、アノ貿

易振興ノ施設ト云フモノハ今日ノ時局ニ鑑  
ミマシテ最モ必要デアリ、益々必要ノ程度  
ヲ強メタモノデアルト商工省ハ考ヘテ居ル  
ノデアリマシテ、輸出統制稅法案ノ成立如  
ト云フモノハ益々時局ノ重大ト共ニ必要デ  
アルコト感ジマシテ、目下大藏當局ト折  
角協議ヲ致シテ居ル次第デアリマス  
○中村委員 今ノ統制協議會ノ問題デス  
ガ、是ハ此機關デ統制ヲ付ケル、意見ノ對  
立ノ纏ラナイヤウナ場合ト云フモノハ豫想  
シテ居ナイト云フコトデアリマスガ、私ハ  
豫想シテ置カヌト云フト、必ズ協議會ハ全  
會一致、或ハ過半數デ圓滿ニ纏マルトノミ  
ハ私ハ考ヘラレナイト思ヒマス、左様ナ場  
合ニ於テ商工大臣ガ裁定スルトカ、ドウ云  
フ機關ニ依テ裁定ヲスルトカ云フコトダケ  
ハ是ハ決メテ置ク必要ガアルノデハナカラ  
ウカト思フノデアリマスガ、餘り長時間ヲ  
要シマスコトハ如何カト思ヒマスノデ、附  
易ト云フ關係ニ執ツテハ極メテ重大ナル聯  
關ヲ持ツテ居ルコトハ申ス迄モナイノデゴ  
イマシタカラ御答ヲ申上ゲマス、只今ノ值  
段ハ一年ヲ通ジテノ値段デハゴザイマセヌ  
サウデ、七月八月ノ値段ダサウデアリマス、  
ソレカラ小賣ニ付テハ統制ヲ致シテ居リマ  
セヌ、生産ニ付テハ統制ヲ致シテ居リマス、  
リ他府縣カラ入ツテ參リマスト云フコトハ、詰  
加ヘテ此際私ハ申上ゲテ置キマス、ソレカ  
ラ製水工業組合ノ問題デアリマスガ、是ハ  
私ノ知ツテ居ル所ニ依リマスト、今政務次官  
ノ言ハレマシタノハ恐ラク一年ヲ通ジタ值  
段デハナカラウカト思フノデアリマス、夏  
ナドニ於キマシテハ現ニ神奈川縣カラ向フ

ガ安ク入ツテ來テ居ル、或ハ千葉縣ノ如キハ  
電力ガ非常ニ高イ關係上、隨テ製氷モ餘程  
高イ筈デアリマスガ、千葉縣カラサヘモ或  
ル一部ハ東京ニ入ツテ居ルト云フコトヲ私  
共ハ見受ケテ居ルノデアリマスガ、其間何  
ニ侵入セラルベキ筋合ヒハナイノダト思フ  
ノデアリマスガ、其點ニ付テハ遺憾ナガラ  
只今ノ御説明ニ依リマシテ諒承スルコトガ  
ガ、是ハ此機關デ統制ヲ付ケル、意見ノ對  
立ノ纏ラナイヤウナ場合ト云フモノハ豫想  
シテ居ナイト云フコトデアリマスガ、私ハ  
豫想シテ置カヌト云フト、必ズ協議會ハ全  
會一致、或ハ過半數デ圓滿ニ纏マルトノミ  
ハ私ハ考ヘラレナイト思ヒマス、左様ナ場  
合ニ於テ商工大臣ガ裁定スルトカ、ドウ云  
フ機關ニ依テ裁定ヲスルトカ云フコトダケ  
ハ是ハ決メテ置ク必要ガアルノデハナカラ  
ウカト思フノデアリマスガ、餘り長時間ヲ  
要シマスコトハ如何カト思ヒマスノデ、附  
易ト云フ關係ニ執ツテハ極メテ重大ナル聯  
關ヲ持ツテ居ルコトハ申ス迄モナイノデゴ  
イマシタカラ御答ヲ申上ゲマス、只今ノ値  
段ハ一年ヲ通ジテノ値段デハゴザイマセヌ  
サウデ、七月八月ノ値段ダサウデアリマス、  
ソレカラ小賣ニ付テハ統制ヲ致シテ居リマ  
セヌ、生産ニ付テハ統制ヲ致シテ居リマス、  
リ他府縣カラ入ツテ參リマスト云フコトハ、詰  
加ヘテ此際私ハ申上ゲテ置キマス、ソレカ  
ラ製水工業組合ノ問題デアリマスガ、是ハ  
私ノ知ツテ居ル所ニ依リマスト、今政務次官  
ノ言ハレマシタノハ恐ラク一年ヲ通ジタ值  
段デハナカラウカト思フノデアリマス、夏  
ナドニ於キマシテハ現ニ神奈川縣カラ向フ

益ニ反スルコトナキヤウ、統制ニ伴フ價格  
ノ昂騰、或ハ大衆ノ利益ヲ無視スルト云フ  
ヤウナコトノナイヤウニ十分注意致シタイ  
ト考ヘテ居リマス  
○増田委員長 一言致シマス、倉元委員其  
他ヨリ大臣ニ對シテ御質疑ガアツタノデア  
リマス、其要點ハ大臣ヘ傳達シテアリマシ  
テ、只今商工大臣ガ御出席ニナリマシタノ  
デ、此際御答辯ガアル筈デゴザイマス  
○倉元委員 御答辯ヲ先ニ承ルコトデアリ  
マスガ、最後ニ私ハ極ク簡潔ニ要領ダケヲ  
申上ゲタ方ガ間違ガナイト思ヒマス、其方  
ガ時間ノ節約ニナリヤセヌカト思フ、押問  
答スルヤウナコトニナリマシテハ時間ヲ費  
疑ハ此程度デ打切ツテ置キマス  
○木暮政府委員 只今重ネテ御質問デゴザ  
出来ナイノデアリマス、幸ニシテ吾々ノ諒  
承シ得ル御話ガアレバ結構デアリマスガ、  
其點ヲ今希望ヲ附加ヘテ置キマス、時間ヲ  
取ルコトハイカヌト思ヒマスカラ、私ノ質  
疑ハ此程度デ打切ツテ置キマス  
○木暮政府委員 只今重ネテ御質問デゴザ  
出来ナイノデアリマス、幸ニシテ吾々ノ諒  
承シ得ル御話ガアレバ結構デアリマスガ、  
其點ヲ今希望ヲ附加ヘテ置キマス、時間ヲ  
取ルコトハイカヌト思ヒマスカラ、私ノ質  
疑ハ此程度デ打切ツテ置キマス  
○增田委員長 宜シウゴザイマス  
○倉元委員 昨日御尋申上ゲマシタ以外ニ  
改メテ大臣ニ伺ヒタイノデアリマスガ、本  
法ノ實施期間ガ——施行期間ガ五箇年ト定  
めラレテ居ルノデアリマスガ、此五箇年ガ  
適當デアルト云フ政府ノ御考ニナル所ヲ  
承ツテ置キタイト思ヒマス、是ハ考方ニ依テハ  
斯ウ云フ法律ノ施行實施ハ成ベク短期間ニ  
切上ゲテ貴ヒタイ、是ガ國民ノ希望デアリマ  
ス、私共ノ感ジカラ申スト三年位ニ適當デ  
ハナイカ、斯ウ云フ風ニモ考ヘテ居リマス、

ノ土臺ガ定マルト云フノニハ、長期ノ期間ヲ要スルト云フヤウナ政府ノ御考カラ、五箇年ト云フ風ナ稍、長イ間ニ亘ッテノ期間ヲ御定メニナツタモノデハナイカト云フヤウナ推察ヲ持ツノデアリマスケレドモ、成ベク短キコトヲ私共ハ希望シテ居ル譯デアリマス、政府ノ五箇年ト御決定ニナツテ居リマスル其理由ヲ承ッテ置ケバ宜イト思ヒマス

イ、斯ウ云フ考デアリマシテ深イ意味ハ  
ナイノデゴザイマスガ、例ヘバ重要産業統  
制法ニ關スルモノモ一應五箇年トシタト云  
フヤウナ前例ト申シテハ何デゴザイマス  
ガ、ソレニ倣ツタヤウナ譯デアリマス、ゾレ  
カラ昨日デアリマシタカ、貿易審議會ノ構  
成ニ付テ御尋ガアリマシタサウデスガ、御  
尤ノ御尋デゴザイマシテ、アノ審議會ニハ  
當業者ト云フモノハ——政府委員ノ方カラ  
モ御説明ガアツタラウト思ヒマスガ、入レナ  
イ積リデゴザイマス、唯餘リ官僚獨善ニナ  
ラナイヤウニ、貴衆兩院ノ方デアリマスト  
カ、或ハ學識經驗者若干ト云フモノヲ入レ  
マシテ、公正妥當ニ運用スル、サウシテ當  
業者ノ利害カラ打算シタ意見ノ爲ニ政府方  
折角採ラウトスル措置モ採レナイト云フヤ  
ウナ弊ニ陥ルヤウナコトハ審議會ノ構成ノ  
時ニモ十分考慮スル積リデアリマス

アラセラレタ、十分ニ此點ハモウ御考慮ニ  
デアリマス、其間現商工大臣ハ時ノ次官デ  
回此特別議會ニ此法案ガ再ビ出テ參ッタノ  
ナツテ既ニ其原案ハ出來テ居ル、其所管ニナ  
ル場所モ御考ヘ濟ノコトト、斯ウ云フ風ニ  
私共ハ考ヘテ居リマス、本議會ニナリマン  
テモ芦田均君カラ同様ノ意味ヲ以テ御尋ネ  
申上ゲテ、御出席ノ木暮政務次官カラ、是  
ハ私ガ一存デ答ヘル譯ニ行カナイカラ、大  
臣ヨリ其點ハ御答ヘ申上ゲルト云フノデア  
リマス、此處ニ前七十議會ニ於ケル應答速  
記ノ寫シモアリマスケレドモ、之ヲ讀ムコ  
トハ長クナリマスカラ省略致シマス、要ス  
ルニ此經濟產業ノ廣イ範圍ニ於テノ自由ナ  
ル官廳國家ノ權力ニ依ル活動ガ出來ルノデ  
アリマスカラ、其意味ニ於テ拓務省ノ關係  
ガアリ、遞信省ノ關係ガアリ、外務省ハ勿  
論ノコト、各省ニ瓦ル關係ヲ持ツ譯デアリ  
マスカラ、單リ商工省ダケノ所管ニ置カレ  
ル審議會デナク、内閣直屬ノ審議會デアル  
ベキ性質ノモノノヤウニ考ヘラレル、斯ウ  
云フコトガ質問ノ要旨デアリマス、大臣ノ  
御考ヲ今日ハハッキリ承ッテ置ク方ガ宜イト  
思ヒマスカラ、此點ニ付テ御意見ヲ伺ヒマ

○吉野國務大臣 御説ノ通り關係致シマス所ハ商工省ノミナラズ、大藏、外務、或ハ拓務、遞信ト色々各官廳ニ關係ガアルノデア取リ、又其努力協調ニ依ツテヤラナケレバナケレドモ、併シ其審議會ナルモノヲ設置致シマス所ハ大體ニ於テ商工省内ニ置キタイト思ツテ居リマス、ト申スノハ、ヤハリ是ハ其中心トシテ置クノデアリマスカラ、内閣ニ置クコトモ是ハ一つノ案デゴザイマシテ、必シモ理論上内閣ニ置イテハイケナイト云フコトヲ申スノデハナイノデアリマスケレドモ、今日ノ重大ナ時局ニ於キマシテ、商工省ハ全責任ヲ以テ今申シマシタヤウナ各官廳ト聯絡協調ヲ取ツテ斷行シタイ、斯ウ云フ積リデ大體商工省内ニ置キタイ、斯ウ云フ考デアリマス

○倉元委員 今ノ御答ニ依リマシテハッキリ致シマシタ、了承致シマシタ、次ニ昨日貿易局長官ニ御尋不申上ゲテ御答モ出テ居リマスルガ、幸ヒ大臣カラ重不テ御答辯ヲ下サル御親切ニ對シテ私ハ簡潔ニ御尋不申上ゲマシタ要旨ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、先づ聯絡ノアル中村君ノ先刻ノ御質問ノ中ニ、統制協議會ノ關係ノコトヲ御述

置ヲドウ云フ風ニ御付ケニナル御見込カ、  
斯ウ云フ御尋ヲシタノデアリマス、所ガソ  
レハモウ從來ノ先例、各法規ヲ通ジテ斯ノ  
如キ機關ノアル場合ニ於テハ、政府ノ考ト  
違フヤウナ議決ニ至ル場合ハナイト申上ゲ

ウモスウ云フ特別ノ立法ノ立前カラ申スト如何カト思フ、第四條ハサウヂヤアリマセスカ、サウ私ハ見テ居ル、若シ間違ッテ居ルナラバ是正ヲ願ヒタインデアリマス、此點ニ付テ承リタイ

テモ宜イ位アルカラ、恐ラク此審議會モ  
サウ云フヤウナ狀態ニ進ムモノト政府ハ  
思ツテ居ルカラ其心配ハ要ルマイ、斯ウ云フ  
御答デアリマシタガ、私ハ是ハ少クトモサ  
ウ云フ譯ニハ行カヌカモ知レナイ、甚ダオ  
困リノ狀態ニナルヤウナコトガアツテハ、折  
角此非常立法ガ生キテ働カナイ、運營上非  
常ニ支障ヲ來スト云フヤウナコトガアツテ  
ハ困ルカラ、斯ウ申上ゲタノデアリマス、  
ソレダカラ政府ノ御考通リニ運營ヲナサル  
ト云フナラバ、昨日承ツタ組織ノ内容ニ付  
テ、其構成分子ハ官吏ガ過半數デナクテハ  
ナラナイ、支障ヲ來サナイヤウニスルノニ  
ハサウデナケレバナラヌ、ソレナラバ寧ロ  
無クテモ宜イト云フ結論ニ達シマス、斯ウ  
云フコトヲ申上ゲタ譯デアリマス、大臣ハ  
ドウ云フ風ニ此點ヲ御考ニナッテ居リマス  
ケテ、又統制協議會ニ掛ケル、ソコニ二重  
力、而モ屋上屋ヲ架スルヤウナ審議會ニ重  
ニ御掛ケニナル場合ガアルト思フ、是ハド  
○吉野國務大臣 御尤モナ御尋デゴザイマ  
シテ、法律ノ解釋トシテハ正ニ其通りデ  
ゴザイマシテ、議ニ付スルト諮問トハサウ  
云フ御示シノヤウナ差別ガアル譯デゴザイ  
マスガ、唯從來ニ於キマシテモ、貿易局長  
官カラ申サレマシタ通リニ、諮問スルノデ  
アリマシテモ、詰リソレハ法律論ハ諮問デ  
アリマスカラ聽クト聽カザルトハ政府ノ勝  
手デアリマスケレドモ、自ラ其處ニ政治上  
ノ責任モアリマスノデ、從來ト雖モ諮問シ  
テ居リマス、其審議會ヤ是等ノ委員會ガ之  
ヲ可決シナイ場合ニハ、其意ニ反シテ斷行  
スルト云フコトハマアヤラナイノガ、何ト  
申シマスカ、政治上ノ慣例ト申シマスカ、  
行政上ノ慣例ニナッテ居ルノデアリマス、ソ  
レデゴザイマスカラ御話ノ點ハ全然急ヲ要  
スルカ何カノ場合ニハ、貿易審議會ノ議ヲ  
経ルトカ、諮問ニ應ズルトカ云フ風ニセズ、  
獨斷的ニヤル方ガ宜イヂヤナイカ、斯ウ云  
フ結局御議論ニナルダラウト思ヒマスガ、

ソコハ先刻貿易局長官ノ申上ゲマシタ通り、相當是ハ考  
リ、又私モ申上ゲマシタ通り、相當是ハ考  
ヘヤウニ依リマシテハ、個人ノ經濟活動ニ  
體スラ既ニ暫定的ニ五箇年ノ施行期限ヲ付  
スルト云フ非常立法デアルト云フ精神カラ  
見マシテモ、ヤハリサウ云フ風ニ獨斷ニセ  
ズシテ、貿易審議會ト云フモノノ議ヲ經タ  
方ガ宜カラウ、サウシテ是ハヤツテ見ナケレ  
バ分リマセヌケレドモ、物ノ考へ方ガサウ  
朝ニ在ルト野ニ在ルトニ依ッテ、國家ノ大問  
題ヲ議シマス時ニ、見當ガ違ッタ結論ノ出  
ルコトハ立法者トシテハ實ハ期待シナイノ  
デアリマス、ソレデアリマスカラ、運用ニ  
依ツテヤレルダラウ、尙ホ貿易審議會ノ構成  
ニ付キマシテモ、場合ニ依ツタナラバ役所側  
ノ方ガ過半數ト云フヤウナ御話モアッタノ  
譯デアリマスカラ、運用ヲシタ上デ、ドウ  
シテモサウシナケレバナラヌノデアレバ、  
又サウ云フ風ナヤリ方モゴザイマセウシ、  
又愈運用シテ見テ、ドウシテモ貿易審議會  
ト云フモノガ邪魔ニナツテ、國策ヲ遂行スル  
上ニ却テ妨ゲニナルト云フコトニナレバ、  
其時ニハ法律ノ改正モ已ムヲ得ナイダラウ  
位ノ考ヲ持ツテ居リマス、併シヤハリソコ迄

行カナクテモ、物ノ見方ハ虛心坦懷ニ國家ノ事ヲ論ズル時ニハ、サウ突詰メテ物ヲ考ヘナイデモ、宜クハナイダラウカト云フヤウナ、常識ヲ主トシテ立法致シタヤウナ次第デアリマス

○倉元委員 決シテ國民ノ立場ナリ、或ハ

今日ノ貿易狀態、官僚主義トカ官僚獨善トカ云フヤウナ御立場ノ全然ナイ見地カラノ御答ノヤウニ考ヘラレマスガ、ドウカサウ思ツテ欲シノデアリマス、大臣ノ今御答ノヤウニ、總テノ心持ガソコニ一致シテ行カナケレバナラヌノデス、是ハ序ニ申上ガテ置キマスガ、今天大臣ノ御言葉ニモアリマシタヤウニ、廣汎ナル産業經濟ニ瓦ツテ國家ノ偉大ナ力ガ働ク、是ハ餘程御注意ヲ下サラヌト、マルデ國民全體ガ、謂ハ、産業經濟ノ上ニ奴隸的ニ唯服從ノミデ行ケバ宜イト云フヤウナコトニナツテ行クノデス、是ハ勢ヒガソコニ持ツテ行クノデス、ソレデアリマスカラ動モスルト吾々ハ與ヘラレタル權力限ニ依ツテ物ヲ運ブダケデアッテ、ダカラ苦情ハ承ラヌト云フヤウナ構方ガ往々官廳ニアルノデス、ソレカラ又一面カラ見ルト、前ニ斯ウ云フ風ニヤリ來ツタ、或ハ斯ウ云フ風ニ言明ラシテ居ルノデアル、ダカラ今日ニ及ンデ此事實ト相違スルコトガアッテ、國

家ノ爲ニ不利ト思フコト、當業者ノ爲ニ、或ハ國民ノ爲ニ不利ナリト考ヘテモ、吾々國家ノ官吏トシテノ體面ヲ保持スル爲ニハ、之ヲ今變ヘル譯ニハ行カヌト云フコトガ、往々ニシテ官廳ニアリガチデアリマス、今申スヤウニ斯ノ如ク廣イ範圍ニ於テ、經濟產業ノ上ニ影響ヲ及ボス此法律ガ、實施ニ當ツテ、私ノ杞憂デアルカモ知レヌガ、左様ナ考ガ一役人ノ御方ニアッテモ是ハ非常ナ害ヲ及ボスモノデアリマスカラ、此點ハ十分ニ大臣ニ於カレテハ御注意ヲ下サランコトヲ切ニ私ハ御願ヲスル次第デアリマスモウ一つ私ハ御伺シテ置キタイト思ヒマスノハ、法文ノ第一條、第一號カラ第四號ニ瓦ル法文ノ書キ方デアリマス、エライ細カイコトヲセセクッテ、甚ダ不都合ナヤウデアリマスケレドモ、之ヲ國民ガ見テ、斯ウ云フ法律ニ依ツテ吾々ハ是カラ産業經濟ノコトヲ考ヘテ行カナケレバナラヌ、斯ウ云フコトニナルト思ヒマスカラ、是ハモウ五年間働イテ、國民ガ不明ナルコトガ多イ、甚ダ疑問ガ多イ法律デアルト適從スル所ヲ迷フ、先づ第四號カラ申上ゲルト、色々程來他ノ委員諸君カラモ御議論ガアッタヤウデアリマスガ、國民經濟ノ健全ナル發達ヲ圖ル爲メト云フ此目標ガ、私ガ昨日申上

ゲタヤウニ實ニ茫漠タル、何ヲ摑ヘテ宜イカ分ラヌ、是ハ此局ニ當ル、實行ノ任ニアハ、是ハ別項ヲ設ケテ、軍需品ノ供給ヲ適正ナラシムルトノ一項ヲ別ニ御置キ下サル役人ノ考次第デ、如何様ニモ理由ガク付クト、是デドシノ縛ラレテハ堪ラヌ、斯ウ虞ヲ懷ク、サウ云フ非常識ナコトハアリマスマイ、實際ハ今ノ大臣ノ碎ケタ御話ヲ承ツテモ、サウ云フ虞ノナイコトヲ確信ニ當ツテ、私ノ杞憂デアルカモ知レヌガ、左様ナ考ガ一役人ノ御方ニアッテモ是ハ非常ナ害ヲ及ボスモノデアリマスカラ、此點ハ常ニ疑惧ノ念ニ驅ラレテ、ビクノシテ仕事ヲシテ居ル、是ハ寧ロ前三號ノ總テト、第四號ノ後段ノ目的ヲ御書キニナラヌデ、トキ」ト云フコトダケデ、第四號ヲ通ジテ見ルト云フト、國民經濟ノ健全ナル發達ヲ期スル爲メデアルコトハ一目瞭然デアリマス、何モ此處ニ殊更ニ御謹ヒニナルコトハス、何モ此處ニ御防セントスルトキ」トアリマス、斯ウ云フ場合ニ此法律ノ適用ガアル、是ハ昨日モ申上ガタノデアリマス、斯ウ面倒臭クドウモ分リ惡ク御書キニナラヌデモ、輸出ヲシテ不正ナ競争ヲスレバ、ソレハ向フデ暴落スルノデアリマス、非常ナ弊害ヲ起ス、騰ル場合ハナイ、輸入ノ場合ニハ騰貴スル、此二ツノ場合ヨリ考ヘラレナインノデアリマス、デスカラサウ云フ風ニハッキリ分ルヤウニ御書キ下サル方ガ國民ハ迷ハナイ、或ハ此立法ノ任ニ當ラレタ法制局ト云ヒ、其他ノ關係者ハ、ドウモソレハ立法技術ノ上カラ條文ノ體ヲ成スノニサウデナクチャイカヌ、斯ウ云フ體裁ノ爲ニ國民ガ迷ツテ迷惑ラセンナラヌト云フ理由ハ私ハナイト思

立前ガサウナツテ、精神ガサウデアルナラバ差支ナイデセウガ、併シハッキリスルノニハ、是ハ別項ヲ設ケテ、軍需品ノ供給ヲ適正ナラシムルトノ一項ヲ別ニ御置キ下サルコトノ方ガハッキリシテ宜シイ、斯ウ申上ゲタ譯デアリマス

ソレカラモウ一つ申上ガマスガ、第三號ノ「貿易業者ノ不當ナル競爭ニ因リ輸出品ニ當ツテ、私ノ杞憂デアルカモ知レヌガ、左様ナ考ガ一役人ノ御方ニアッテモ是ハ非常ナ害ヲ及ボスモノデアリマスカラ、此點ハ常ニ疑惧ノ念ニ驅ラレテ、ビクノシテ仕事ヲシテ居ル、是ハ寧ロ前三號ノ總テト、第四號ノ後段ノ目的ヲ御書キニナラヌデ、トキ」ト云フコトダケデ、第四號ヲ通ジテ見ルト云フト、國民經濟ノ健全ナル發達ヲ期スル爲メデアルコトハ一目瞭然デアリマス、何モ此處ニ御防セントスルトキ」トアリマス、斯ウ云フ場合ニ此法律ノ適用ガアル、是ハ昨日モ申上ガタノデアリマス、斯ウ面倒臭クドウモ分リ惡ク御書キニナラヌデモ、輸出ヲシテ不正ナ競争ヲスレバ、ソレハ向フデ暴落スルノデアリマス、非常ナ弊害ヲ起ス、騰ル場合ハナイ、輸入ノ場合ニハ騰貴スル、此二ツノ場合ヨリ考ヘラレナインノデアリマス、デスカラサウ云フ風ニハッキリ分ルヤウニ御書キ下サル方ガ國民ハ迷ハナイ、或ハ此立法ノ任ニ當ラレタ法制局ト云ヒ、其他ノ關係者ハ、ドウモソレハ立法技術ノ上カラ條文ノ體ヲ成スノニサウデナクチャイカヌ、斯ウ云フ體裁ノ爲ニ國民ガ迷ツテ迷惑ラセンナラヌト云フ理由ハ私ハナイト思

ヲカ言ハシヤデアリマスケレドモ、事實ハソレト第二號ノ國際收支ノ適合ヲ圖ルト云フ此字句、國際收支ノ適合ヲ圖ルト云フコトハ、ドウ云フ意味デアリマスカト云フコトヲ御尋申上ゲマシテ、御答ヲ得タノデアリマス、ソレハ此處デ諄ク申上ゲマセヌガ、國際收支ノ均衡ト云フコト、ハ又言葉ノ意味ガ違ツタ御答デアリマス、甚ダ解釋上範圍モ廣イシ、分リ兼ネル、常識判断デ行ツテモ、斯ウ云フコトグラウト云フヤウナ心配ヲ持ツ問題ハ、私註文ヲ付ケテ貿易局長官ニ能ク御願ヲシテ置キマシタガ、一般當業者ト言ハズ、國民モ、少クモ此業務ニ携ハル者ガ貿易ノ收支ノ適合ト云フコトガ自分ノ頭ニ分ルダケノ資料ヲ政府カラ御與、ヘヲ願ヒタイ、或ハ官報ヲ讀ンダラ分ルヂヤナイカト言ハレルカモ知レナイガ、ソレハ役場へ行ツテ居ル者トカ、又ハ大キナ商店ナラ官報ヲ取ツテ居ル者ハアルデセウガ、ソレダケデハ不十分ヂヤナイカ、之ヲ周知セシメル所ノ方法ヲ御執リニナラナケレバナラヌト思フ、是亦國民經濟云々ノソレト同様ニ、國

ソレカラモウ一ツ、直ストナレバ序ニ直シタイカラ申上ゲマスガ、「貿易ニ關スル條約又ハ之ニ準ズベキモノニ依リ」ト云フ此「依リ」ハ、將來ニ於テ締結又ハ協約其他ノ貿易ニ準ズベキモノ等ガ生レテ來ル、ソレニモト云フ意味デアリマスルカト云フ私ノ御尋ニ對シテ、サウデハナイ、基本條約、及ビ協約其他協定等ノ場合ヲ指スノデアルト云フ御答デアリマシタカラ、ソレナラバ「基キ」ト御書キニナルコトガ適當デアリマセヌカ、ソレナラバハッキリ致シマス、「貿易ニ關スル條約又ハ之ニ準ズベキモノニ基キ貿易ヲ調整セントスルトキ」、斯ウ云フ風ニ、ハッキリ之ニ基イテヤルノダト云フ風ニキ貿易ヲ調整セントスルトキ」、入レタ方ガ、國民モ成程是ナラバ、ハッキリシテ居ルト云フ風ニ考ヘルダラウト思フノデアリマス、之モ併シ御答ニ依リマシテハッキリ致シマシタガ、私共ハ出來得レバサウ云フヤウニ直スコトニ御承知下サレバ結構ダト思フノデアリマス、大體ヲ通ジマシテアリマス

四號ガ新ニ加ッテ居ル、前ノ議會ニハ是ハ無カッタ、ソレカラ國際收支ノ適合モ多分無居ル、デスカラ此立法ノ立前ガ同ジ貿易ノコトト申シナガラ、第四號ノ方ハ全然產業部門ノ生産ニ關スルコトガ主トシテアルノデ、ダカラ立法ノ立前カラ言ヘバ二ツニナルベキ性質ノモノデアルト思フガ、便宜上、貿易ト又密接ノ關係ヲ持ツカラ、併セテ立法者ガ入レタ、斯ウ私ハ見テ居ルノデアリマス、隨テ此法ノ名前ガ御變更ニナツテ居ル、斯ウ云フコトヲ昨日來私御伺シタ譯デアリマス、此點ニ付テ大臣カラ承ルコトガ出來レバ幸デアリマスガ、貿易局長官ノ答ヘタ通リデ、自分ハ其通リ考ヘルト、簡單ナラ簡単デ宜シイ、何レカニ一ツ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、

現ハス字が無イモノアリマス、併シサウ云フ風ニ今ノヤウナ精細ナ御議論ヲサレマスト、大分曖昧ナ點ガ出テ參リマス、又國民ヲシテ嚮フ所ニ迷ハシムルト云フヤウナコトガゴザイマスカラ、御話ガアル迄モナク、實ハ此法律ガ發布ニナリマシタナラバ、關係ノ貿易業者ト云フ者ヲ呼集メマシテ、一號ハ斯ウ云フ場合ヲ目指シテ居ルノダ、二號ハ斯ウ云フ場合デアルト云フコトヲ懇切丁寧ニ十分ニ周知セシムル方法ヲ執リタイト思ツテ居リマス、自然是等ノ抽象的ナ文字ノ解釋ナドニ付キマシテモ、貿易審議會ト云フヤウナモノノ決定ニ依ツテ、丁度抽象的ナ言葉ガ裁判所ノ判決例ニ依ツテ明ニナルガ如クニ、段々ニ具體的ノ内容ト云フモノガハッキリスルダラウト思フノデアリマスカラ、御話ノ通り言葉自體ハ一つ／＼拾ツテ見マスト、必シモ是デ以テ完全デアルト云フ風ニハ私モ考ヘテ居リマス、ソレカラ法律ノ目的ナドニ付キマシテモ、全ク御話ノ通りデアリマシテ、ソレデ實ハ名稱モ改メマシタヤウナ譯デアリマス、或ハ木ニ竹ヲ接イグヤウナ感ジヲ御持



ノ生産設備、生産ノ狀況ニ鑑ミマシテ、相當ノ數量ガ幸ヒ入ツテ居ルノデアリマスカラ、先ヅ下半期ニ於テ適當ナ抑制ヲ加ヘマシテモ、今申シマシタヤウナ觀點カラ、國民經濟ノ全局ニサシタル惡影響ハ及ボサナイデモヤレルノデハナイカ 斯ウ云フ見透シヲ大體持ツテ居リマス、尙ホ貿易審議會ヲ商工省ニ置クコトニ付キマシテハ、先程御答申上ゲマシタ通リデアリマス

○增田委員長 貴族院ノ豫算委員會カラ商工大臣ノ出席ヲ頻リニ要求サレテ居ルノデアリマスカラ、此場合貴族院ノ方へ讓歩シテハ如何デスカ

○倉元委員 一寸私重要ナ點ヲ一點ダケ残シテ居リマスカラ……

○増田委員長 極メテ簡單ニ願ヒマス

○倉元委員 モウ一點私忘レテ居リマシタガ、例ノ「重要物資ノ供給」云々ト云フ、アノ第一條第四號ノ運用ノ場合デスネ、ソレハヤハリ此重要物資ハ是レノモノデアルト云フコトヲ御明示ニナルコトヲ昨日モ要求シテ置キマシタガ、ソレハサウナルノデセウカ

○吉野國務大臣 是モ有體ニ申上ゲマスガ、實ハ一號、二號、三號ト云フモノデ足リルノデハナイカト私共ハ一應考ヘモ致シ

マシタ、所ガ單ニ「國際收支ノ適合」トカ、或ハ二號ニ書イテアリマスルコト以外ニ、尙ホドウモ物ニ依テハ、例ヘバ——多分貿易局長官カラモ例トシテ示サレタダラウト思ヒマスルガ、羊毛ナラ羊毛ガ濠洲ノ方ニ餘リ賴リ過ギテ居ル、日本國內ノ需要ノ八割モ濠洲カラノミ買ツテ居ル、斯ウ云フヤウニ一つニ偏倚シテ居ルト云フコトハ、色々ナ場合困ル、現ニ濠洲ガ日本ノ品物ニ不當ナコトヲ致シマシタ時ニモ、ア、云フ風ニ通商擁護法ヲ發動ハシタモノ、實ハコチラノ身ガ痛イト云フヤウナコトモアリマシタガ、サウ云フヤウナ場合ニ、ドウシテモ原料ノ買付ヲ分散シタイト云フコトヲ考ヘマスル時ニ、一號ニアラズ、二號ニアラズ、三號ニアラズト云フヤウナコトガアルモノデスカラ、言葉ガ御示シノ通リニ非常ニ曖昧デアリマスケレドモ、ヤハリ四號ノ規定ヲ置キマセヌト、實際ノ問題トシテ困ルコトガアリハセヌカ、斯ウ云フ意味デ、謂ハムツノ例ニナリマシタガ、サウ云フヤウナ極ク限ラレタ場合ダケニ付キマシテ、四號ト云フモノヲ適用致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○原委員 先程政府委員ノ方カラ斯様ナ答辯ヲ得マシタノデスガ、工業組合法ノ第二實ハ考ハナイノデアリマス、ソレデ斯ウ云フヤウナ抽象的ノ文字ヲ書キマシタノデアリルノデハナイカト私共ハ一應考ヘモ致シ

○吉野國務大臣 貿易及關係產業ノ調整ニ關スル法律案外二件委員會議錄 第三回 昭和十二年八月五日

○吉野國務大臣 資ヲ海外カラ輸入セナケレバ日本ノ產業ガ成立タスト云フヤウナ、サウ云フ物資デアリマス

○倉元委員 能ク御趣旨ハ分リマシタ、併シ是ハ非常ニ迷ヒマス、此事ダケハ申上ゲテ置キマスガ、今例ニ御引キニナッタヤウナ例カラ申上ゲルト、國內ニ缺乏シテ居ル物資ヲ海外カラ輸入セナケレバ日本ノ產業ガ成立タスト云フヤウナ、サウ云フ物資デアリマス

○增田委員長 木村淺七君ニ發言ヲ許シマス

○吉野國務大臣 御所見ノ通リデゴザイマカ

○木村委員 私ノ質問モ大臣カラ御答ヲ願ヒタイト思フノデアリマスガ、豫算委員會ノ關係上已ムヲ得ナイトシマシテ政府委員カラ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス、先づ先程中村委員カラ、貿易調整ニ關スル法律案ハ外地ニモ適用スルノカト云フ質問ニ對シテ、木暮政務次官カラ、外地ノ業界ノ狀況ニ鑑ミテ、第一條ニ於ケル貿易審議會、或ハ二條三條ニ於ケル統制協議會ト云フ風ナモノヲ設ケルコトハ適當デナシ、故ニサウガアツクノデアリマスルケレドモ、其外地ニ適用スル條項ニ付キマシテ、モウ少シ具體的ニ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○寺尾政府委員 御答ヲ申上ゲマス、此貿易及ビ關係產業ノ調整ニ關スル法律案ヲ外地ニ施行スルカドウカト云フ點ニ付テハ、

ニ、此法律ノ全部ニ亘ツテ其儘外地ニ之ヲ施行スルト云フコトハ、實際上困難デアルト考ヘテ居リマス、即チ政務次官カラモ申上ダマシタ通り、本法ノ第二條、第三條ノ統制ニ關スル規定ト云フモノハ、其前提ト致シマシテ、或ル程度マデ組合制度ト云フモノガ發達シタコトヲ必要トスルノデアリマスケレドモ、外地ニ於テハ未ダ斯ノ如キ組合制度ガ完備シテ居リマセヌ關係上、之ヲ直チニ施行スルコトハ出來ニクイコトト考ヘテ居ル次第デアリマス、又同様ニ貿易審議會ニ關スル規定モ、内外ノ民度ノ相違トカ、一般外地ノ制度トノ關係上、直チニ之ヲ施行スルコトガ出來ナイト考ヘテ居リマス、隨テ外地ニ施行スルコトガ出來ルノハ第一條關係ダケニ限ルト、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○寺尾政府委員 只今御答辯ヲ申上ダマシタ通り、必要ガアリマス場合ニ於テハ、政府ハ第一條ノ關係ノ事柄ダケハ之ヲ外地ニ施行スルト云フ意味ニ於テ御答ヲ申上ゲテ居リマス、其意味ハ、第一條ノ第一號乃至第四號ノヤウナ事態ガ生ジマシタ場合ニ、第一條ノ貿易審議會ニ關スル事項ヲ除イテ、其以外ノ事柄ヲ外地ニ施行スル、言葉ヲ換ヘテ言ヒマスレバ、第一條ノ輸出又ハ輸入ノ制限禁止ト云フコトハ、是ハ内地同様ニ施行スルコトガ出來ルト云フ意味デゴザイマス、唯ソレニ附帶致シマシテ、各種ノ之ニ必要ナル統制ヲヤラシメルコトニ付シテ居リマセヌカラ、其點ヲ直グニ外地ニテハ、差當リ外地ニ左様ナ組合制度ガ發達施行スルコトハ、事實上困難デアル、斯ウ云フ意味ヲ申シタノデアリマス

○木村委員 第一條ノ第一號カラ四號ニ掲ゲタ事項ヲ實施スル場合ニ於キマシテモ、輸入ノ制限禁止ヲスルト云フ場合ニ於キマシテモ、輸出、輸入ニ當ル者ハ貿易業者デ

アリマス、トシマスレバ結局ハ貿易組合法ヲ外地ニモ適用セシメテ、イツ如何ナル場合ニ於テモ、斯ウ云フ第一條ノヤウナ事態ヲ發生シタ場合ニ於テハ直チニ、外地ニ於テ審議會ガナクテモ、總督府ノ獨斷的ノ考ニ依シテモ施行シ得ルヤウナ風ニ仕向ケテ行クコトガ適當デハナイカト思フ、一體輸出組合法モ現在外地ニ於テハ適用サレテ居リマセヌ爲ニ、日本ノ全體ノ輸出貿易ノ調整、又ハ輸出ノ全般的ノ統制ヲ圖ルト云フ點カラ申シマシテモ、外地ニ於テ輸出組合ノ適用ヲ見ナイト云フコトハ、輸出組合ニ於テ統制上甚ダ惡イ影響ヲ來シテ居ル事實ハガ多々アルノデアリマス、恐ラク此事實ハ政府ニ於テモ御認メニナッテ居ルコトグラウト思フ、承ル所ニ依リマスト、外地ノ總督府ニ於キマシテハ、サウ云フ時期デナイト考ヘテ居ルラシイト云フ話デアリマスケレドモ、少クトモ今日ノ國際收支ノ適合ヲ圖リ、輸出入ノ均衡ヲ圖ルト云フ風ナ、此國家トシテノ大目的ヲ達成スル意味カラ申シマスレバ、又日本ノ内地ニ於テ輸出組合ヲ結成スル場合ニ於テハ、第九條迄モ適用致シマシテ、「アウトサイダー」迄モ此輸出統制ニ服セシムルト云フヤウナ強制ヲシテ居リマス、隨テ當業者ノ好ムト好マザルト

ニ拘ラズ、此統制ヲ強制サレテ居ルト云  
狀態ニ於キマシテハ、外地ニ於ケル所ノ區  
區ノ利害ニ依ツテ、此國家ノ全面的ノ輸出統  
制ヲ圖ルコトノ實行ガ出來ナイト云フコト  
ハ洵ニ殘念デアリマス、加之重要ナ輸出品  
ト云フモノハ、何レモ政府ガ嚴重ナル所ノ  
検査ヲ施行シテ居ル、然ルニ外地ニ於キマ  
シテハ國家ニ依ル所ノ嚴格ナル検査モ實施  
ヲシテ居ラナイ立前上、外地ニ輸出組合法  
ノ適用ガナイコトヲ利用致シマシテ——惡  
用致シマシテ、日本ノ輸出統制ヲ紊ル結果、  
延イテハ此製品ガ海外ノ市場ニ流レ出ルヤ  
ウナコトデアツテ見マスレバ、是コソ日本ノ  
輸出貿易ノ伸展ヲ阻碍スルコト最モ大ナル  
コトト考ヘマスガ、政府ハ此外地ニ對シマ  
シテ、外地ト能ク協議ヲ致シマシテ、何故  
ニ一日モ早ク此輸出組合法ノ實施ヲ見ルヤ  
ウニ今日迄ニ出來ナカツタカ、是ハ洵ニ遺憾  
ニ存ズル所デアリマスガ、此點ニ向ツテ政府  
ハ外地トノ交渉ニ於テ、ドノ位ノ努力ト交  
渉ヲシテ居ルカ、又現在ニ於テモサウ云フ  
全般ノ輸出統制ノ上カラ見マシテ、外地ヲ  
モ統制ニ包含セシムルト云フ立前カラ、必  
要ナル問題迄モ何故ニ外地ガ之ニ應ジナイ  
カト云フコトニ付キマシテ、政府ノ御所見  
ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○寺尾政府委員 御答ヲ申上ダマス、貿易組合法其モノヲ直チニ外地ニ適用シテ居ラ  
ヌト云フコトニ付キマシテハ、之ヲ直チニ  
外地ニ適用致シマスコトハ、現在ノ輸出組  
合法ト致シマシテハ、單ニ統制事業ヲヤッテ  
居ルノミナラズ、各種ノ積極的ナ共同施設  
ト云フモノヲ行ツテ居ルコトハ御承知ノ通  
リデアリマス、斯様ナ次第デアリマスカラ、  
統制事業ヲ行ツテ居ル組合ノ中ニ、海外ノ業  
者ト云フモノヲ一ツニシテ組合ノ構成ヲ  
圖ヅテ行ク、組合ニ屬セシメテ行クト云フコ  
トハ、今日ノ状態カラ申シマシテ、マダ其  
時期デナイノデハナイカト考ヘテ居リマス  
ノデ、此貿易組合法自體ヲ其儘外地ニ適用  
スルト云フコトハ如何カト考ヘテ居リマス  
ガ、併シ此内地ノ貿易組合ニ於テ、統制ヲ  
ヤリマス際ニ、外地ガヤハリ此統制ト一ツ  
ニナツテ行カナケレバ、十分ニ外地ノ統制ガ  
確保出來ナイト云フコトハ、御承知ノ通り  
デアリマシテ、今御話ノアリマシタヤウニ、  
商工省ト外地ト適當ナ連絡ヲ圖ヅテ内外共  
ニ此統制ヲ確保シテ行クコトノ必要ナコト  
ハ御話ノ通リデアリマス、從來トテモ輸出  
ト同様ノ検査ヲ、例ヘバ朝鮮總督府ノ如キ、  
検査等ニ付キマシテ、内地ガ検査ヲヤッテ居  
リマス際ニ、外地ニ於キマシテモヤハリ是

既ニ幾ラカノ品目ニ付テ検査ヲ行ツテ居リ  
マシテ、内外呼應シテ統制ヲヤルト云フコ  
トニ努メテ居リマスト同時ニ、又必要ノア  
ル場合ニハ、内地ノ業者ト外地ノ業者トノ  
間ニ、輸出數量ニ關スル協定ヲ實行政致シマ  
シテ、何ト申シマスカ、オ互ニ割合ト云フ  
モノヲ決メテ、オ互ニ衝突致シマセヌヤウ  
ニ、全體トシテ統一アル方法ヲヤッテ行クト  
云フコトニ留意致シテ居ル次第デゴザイマ  
シテ、例ヘバ之ヲ品物ニ付テ申上ゲマスト、  
電球ニ付テ英吉利トノ間ニ或ル輸出數量ノ  
協定ヲ行ツテ、其統制ヲヤッテ居リマスガ、  
其場合ニ付テハ、今御話ノゴザイマシタヤ  
ウニ外地ト内地トノ兩者ヲオ互ニ協議セシ  
メマシテ、其間ニ一ツノ輸出數量ノ統制ヲ  
ヤリマンシテ、其統制ガ満足ニ行ハレルヤウ  
ナコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、將來此  
點ニ付テハ十分ニ氣ヲ付ケマシテ、内地ノ  
統制ニ付テハ、外地ニモヤハリ其統制ヲ同  
時ニ實行スルコトハ、今申上ガタヤウナ各  
種ノ方法ニ依ヅテ適當ノ助成ニ努メルコト  
ニ、外地ト——拓務省ト、從來トテモ協議  
ヲ致シテ居リマスガ、今後モ尙ホ其方針ニ  
依ヅテ努力ヲ致シタイト考ヘテ居ル次第ア  
リマス

致シマシテモ、朝鮮ニ致シマシテモ、過去ニ  
於キマシテハ主トシテ對支那或ハ滿洲國ト  
云フ風ナ方面ノ貿易ガ多カッタノデアリマ  
スケレドモ、最近ハ外地ニ於ケル海外貿易  
ト云フモノモ、亞細亞洲ノミナラズ、南洋、  
ア弗利加、南米、合衆國、歐羅巴方面ニ迄  
モ漸次輸出ガ伸展シテ參ッテ居ルヤウナ狀  
況デアリマシテ、日本ノ内地ニ於キマシテ  
輸出組合ヲ結成ヲ致シマシテ、全世界ニ向ッ  
テ、全面的ナ統制ヲスルト云フ風ナ商品ニ  
對シマシテ、外地ガ、何等ノ輸出ノ統制ヲ  
行ツテ居ラナイト云フコトハ、其輸出ノ伸展  
上惡イ影響ヲ及ボスコトハ先程申上ゲタ通  
リデアリマシテ、品種ニ應ジテ、全面的ノ  
統制ヲ行フヤウナ品種ニ付キマシテハ、内  
地トノ狀況ヲ斟酌致シマシテ内地ト一日  
モ早ク協議致シマシテ輸出組合ヲ結成セシ  
メテ、内外一貫シタル所ノ統制ヲ行フコト  
ガ國家ノ爲ニ非常ニ利益デアル、又不正ナ  
業者ノ利益ヲ防止スルト云フ立前カラ申シ  
マシテモ、最モ緊要ナル問題デアラウト考  
ヘルノデアリマス、滿洲國ガ創立以來、日  
本ハ滿洲國ト同盟ヲ結ビマシテ、滿洲ノ健  
全ナル發達ヲ願ヒ、產業ノ進展ヲ希フ上カ  
ラ申シマシテモ、日滿兩國ノ經濟ニ於テ一

申シマシテモ、全ク内地ト外地間ノ統制ノ如キモノモ完全ニ行ハレテ居ラナイト云フ状況ハ、洵ニ遺憾ト存ズル次第デアリマシテ、此點ニ向ヒマシテハ諄々シク申上ゲマセヌガ、政府ニ於キマシテモ十分ニ考慮ヲ願ヒマシテ、日本ノ全般的ナ統制ノ、完全ナル圓滿ナル所ノ遂行ノ期セラレルヤウニ、一日モ早ク御配慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ今日午前中ノ委員カラノ質問ニ對シテ、貿易局長ハ、日本ノ將來ノ輸出貿易ト云フモノニ對シテ、樂觀的ナ御言葉ガアツタノデアリマスガ、現内閣ハ財政經濟ノ立前カラ申シマシテ、三原則ト云フコトヲ言ツテ居ラレマス、生産力ノ擴充ヲ圖ル意味カラ申シマシテモ、又國內ニ於ケル物資ノ需給調節ヲ圖ルト云フ立前カラ申シマシテモ、根本的ニ是等ノ生産力ノ擴充ヲ圖リ、是ガ將來平和的ノ場合ニ於キマシテモ、安全ナ産業ノ擴充ヲ圖ルト云フコトハ、結局輸出ノ増進ヲ圖ルト云フコトノ外ニ方法ガナイト思ヒマスシ、國際收支ノ均衡ヲ圖ル上ニ於テモ同様デアリマスケレドモ、最近ノ海外貿易ノ状況ヲ見マスト、關稅ガ段々上ヅテ來ル、輸入ノ制限ヲ受ケルト云フ風ナコトデアリマシテ、又國內ノ生産ノ状況ヲ見マシテモ段々物價ガ騰貴ヲ致シマシテ、

第六類第十號 貿易及關係產業ノ調整ニ關スル法律案外一件委員會議錄 第三回 昭和十一年八月五日

生産費モ上ヅテ來ル、勞銀モ若干上ヅテ來ルト云フ風ナ狀況デアリマシテ、日本ノ輸出貿易モ過去ニ於ケルヤウナ輸進ノ勢ヒト云フモノガ非常ニ鈍ツテ參ッタ今日ニ於キマシテ、吾々ハ昨今ノヤウナ輸入ガ非常ニ多クモ、國際收支ノ均衡ヲ圖ル上カラ申シマシテモ、輸出ノ増進ヲ何トカシテ積極的ナ方法ヲ講ジテ、是ガ増進ヲ助長スルヤウナ政策ヲ執ラケレバナラナイト思フノデアリマス、過去ノ對外的ノ會商、日印會商或ハ日蘭會商、日埃會商、色々ナ會商ニ於キマシテモ、漸次輸出ノ制限ヲ受ケテ來タ、輸出ノ活動ノ範圍ト云フモノガ段々狹メラレテ來テ居ルヤウナ狀況デアルノデアリマス、斯ウ云フ時ニ當ツテ現在ノヤウナ非常時局デアレバル程、政府ニ於キマンテモ輸出ノ増進ニ積極的ナ助長ノ政策ヲ執ラナケレバナラナイト思フノデアリマス、政府ハ此春ノ議會ニ於キマシテ輸出ニ對シテ課稅ヲシテ迄モ、輸出増進ノ助長策ヲ講ジョウト考ヘテ居ツタノデアリマスルケレドモ、吾吾ハ此輸出品ニ課稅ヲシテ迄モ輸出ノ助長ヲスルト云フ問題ニ付キマシテハ、甚ダ疑義ヲ持ツ一人デアリマス、是等ノ政府ガ考ヘタ必要ナル所ノ施設ニ依リ、政府ハ時局

ガ困難デアル此場合、輸出ノ増加ヲヨリ以上シナケレバナラナイ時期ニ當ツテ、積極的ノ政策ト云フモノヲ益々計畫スル必要ガアル思フノデアリマスケレドモ、政府ハ此點ニ向ヅテ、來ルベキ通常議會ニ於キマシテハドウ云フ風ナ提案ヲサレルカ分リマセヌガ、現在ドウ云フ御考ヲ持ツテ居リマスルカ、御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○寺尾政府委員 洋ニ御尤ナ御尋デゴザイマシテ、今回ノ議會ニ政府ガ此貿易關係ノ法案ヲ提出致シマシタノモ、御話ノ趣意ノ一端ニ副フ次第デゴザイマスガ、勿論唯是ノミヲ以テ將來ノ輸出貿易ノ振興ヲ期スル譯ニハ參リマセヌ、尙ホ其他ニ於キマシテ御話ノ如ク積極的ニ輸出ヲ振興スル爲ニ、ノミヲ以テ將來ノ輸出貿易ノ振興ヲ期スルルノデアリマスルケレドモ、最近ノ北支事ノ内地ニ於ケル所ノ組立ノ割當ヲ持ツテ居ス、又過去ニ於テ「フォード」ノ會社或ハ「シボレー」ノ會社、是等ガ一定ノ數量ノミヲ以テ將來ノ輸出貿易ノ振興ヲ期スル若クハ乗用車ガ軍用ニ徵發ヲサレタト云フ風ナ立前カラ、「トラック」ガ非常ニ市中ニ減リマシテ、爲ニ貨物ノ輸送ニモ現在不圓滑ナ狀況ニ相成ツテ居ル、隨テ業者ガ非常ニ困ルノミナラズ、之ニ依ツテ國內ニ於ケル物資ノ圓滿ナル配給ニ迄モ惡イ影響ヲ及ボシテ此爲ニ幾分デモ物價ノ騰貴ヲ來スコトガアツテハ相成ラヌト考ヘルノデアリマス、現在ノ輸入人爲替ノ管理ノ立前カラ申シマシテモ、組立テタル考ヘルノデアリマス、云フモノヲ決定スル、或ハ生產ノ業態ニ依リマシテハ、品種別ニ生產ノ總數量ヲ決定スル、又ソレニ對シテ若干ノ超過生產ヲ認メルト云フ風ナコトヲヤツテ居ルノデアリ

○木村委員 時間ノ都合モアリマスノデ質問ヲ續ケマスガ、最近ノ狀況ニ考ヘマシテ、政府ハ自動車ノ輸入ニ付テ何トカ考ヘル必要ヲ認メナカ、ト言ヒマスルコトハ御承知ノヤウニ自動車製造事業法ノ先般制定ヲサレマシテ、國內ノ自動車ノ製造ヲ獎勵シテ居ルノデアリマスルケレドモ、マダ國內ニ居ル需耍ヲ全部充タス域ニ至ツテ居リマセヌ、又過去ニ於テ「フォード」ノ會社或ハ「シボレー」ノ會社、是等ガ一定ノ數量ノミヲ以テ將來ノ輸出貿易ノ振興ヲ期スルルノデアリマスルケレドモ、最近ノ北支事ノ内地ニ於ケル所ノ組立ノ割當ヲ持ツテ居ス、斯ウ云フ時ニ當ツテ現在ノヤウナ非常時局デアレバル程、政府ニ於キマンテモ輸出ノ増進ニ積極的ナ助長ノ政策ヲ執ラナケレバナラナイト思フノデアリマス、政府ハ此春ノ議會ニ於キマシテ輸出ニ對シテ課稅ヲシテ迄モ、輸出増進ノ助長策ヲ講ジョウト考ヘテ居ツタノデアリマスルケレドモ、吾吾ハ此輸出品ニ課稅ヲシテ迄モ輸出ノ助長ヲスルト云フ問題ニ付キマシテハ、甚ダ疑義ヲ持ツ一人デアリマス、是等ノ政府ガ考ヘタ必要ナル所ノ施設ニ依リ、政府ハ時局

○木村委員 時間ノ都合モアリマスノデ質問ヲ續ケマスガ、最近ノ狀況ニ考ヘマシテ、政府ハ自動車ノ輸入ニ付テ何トカ考ヘル必要ヲ認メナカ、ト言ヒマスルコトハ御承知ノヤウニ自動車製造事業法ノ先般制定ヲサレマシテ、國內ノ自動車ノ製造ヲ獎勵シテ居ルノデアリマスルケレドモ、マダ國內ニ居ル需耍ヲ全部充タス域ニ至ツテ居リマセヌ、又過去ニ於テ「フォード」ノ會社或ハ「シボレー」ノ會社、是等ガ一定ノ數量ノミヲ以テ將來ノ輸出貿易ノ振興ヲ期スルルノデアリマスルケレドモ、最近ノ北支事ノ内地ニ於ケル所ノ組立ノ割當ヲ持ツテ居ス、斯ウ云フ時ニ當ツテ現在ノヤウナ非常時局デアレバル程、政府ニ於キマンテモ輸出ノ増進ニ積極的ナ助長ノ政策ヲ執ラナケレバナラナイト思フノデアリマス、政府ハ此春ノ議會ニ於キマシテ輸出ニ對シテ課稅ヲシテ迄モ、輸出増進ノ助長策ヲ講ジョウト考ヘテ居ツタノデアリマスルケレドモ、吾吾ハ此輸出品ニ課稅ヲシテ迄モ輸出ノ助長ヲスルト云フ問題ニ付キマシテハ、甚ダ疑義ヲ持ツ一人デアリマス、是等ノ政府ガ考ヘタ必要ナル所ノ施設ニ依リ、政府ハ時局

○寺尾政府委員 御話ノ點ニ付キマシテハ十分慎重協議致シマシテ、善處致シタイトマスガ、工業組合ガ全國的ニ普及ヲサレマシテ、生產ノソレヽノ同業者ガ何レモ統制ヲ實施シテ居リマス、自治的ノ統制ヲ考ヘテ居リマス

○木村委員 工務局長ニ伺ヒタイトノデアリマスガ、工業組合ガ全國的ニ普及ヲサレマシテ、生產ノソレヽノ同業者ガ何レモ統制ヲ實施シテ居リマス、又統制ヲ強化サレル意味合ニ於キマシテ、政府ハ工業組合法ノ第八條ノ適用マデ致シテモ、此統制ノ強化ヲ圖ツテ健全ナル生產業ノ發展ニ資シテ居ル狀況デアリマスルガ、此生產ノ統制ノ實際ノ方法ヲ見マスルノニ、何レモ生產ノ總數量ト云フモノヲ決定スル、或ハ生產ノ業態ニ依リマシテハ、品種別ニ生產ノ總數量ヲ決定スル、又ソレニ對シテ若干ノ超過生產ヲ認メルト云フ風ナコトヲヤツテ居ルノデアリ

ト云フ風ナ立前カラ、鬼角國內ノ各生産地ニ於ケル特殊的ノ事情ト云フモノガ全然沒却サレテ居ル狀況デアリマシテ、是デハ本當ニ必要ナ製品モ、或ハ生産ガ過剩デアッテ生産ノ減少ヲ必要トスル所ノ品種モ、何レモ同一ナル統制ノ下ニ服セザルヲ得ナクナル狀況デアリマシテ、眞ニ嚴正ナル統制、輸出ノ増進ヲ期待スル當業者ノ共同ノ利益ヲ増進スルト云フ立前カラ見マスルト、矛盾ヲスルヤウナ點ガ多々アルノデアリマス、是等ニ向ツテ政府ハ工業組合ノ統制ノ指導ノ任ニ當ラレテ居ルノデアリマスルケレドモ、此統制ノ方法ニ付キマシテモ、政府ハ從來ノ御考ヲ何等力は正スルヤウナ必要ヲ認メテ居リマセヌカドウカ、此點ヲ先づ伺ヒタイト思フノデアリマス、尙ホ工業組合ニ於テ生産數量ノ割當ヲ實施シテ居ノデアリマスルケレドモ、業界ニ於ケル狀況ハ時々變遷ヲシテ參リマス、殊ニ重要ナ輸出品ニ於キマシテモ、海外市場ノ需要ノ變遷ニ依ツテハ、需要スル所ノ品種ガ時々増ルノデアリマスルガ、從來工業組合ノ生産統制ニ依リマシテ品種別ノ統制ヲ行ツタ場合ニ於キマシテ、當業者ハ此品種ノ割當ト

云フモノニ縛ラレテ、海外ニ於テ賣行ノ好イ、需要ノアル所ノ品種ガアリマシテモ、其生産ニ轉換スルコトガ出來ナイ、又過去ニ於テ其海外ノ需要ノアル品種ノ生産ヲヤツテ居ル生産業者ガ十分ナル生産ヲ見テ足リナイト云フ場合ニ於キマシテモ、他ノ當業者ハ、過去ノ需要ノ狀況ニ依ツテ割當ラレタ品種以外ノモノニ生産ノ轉換ガ出來ナイト云フ風ナ現狀ハ、生産統制ノ立前カラ行キマシテ一大缺點デアルト考ヘルノデアリマス、此點ニ向ツテ、現在ノ統制法ニ鑑ミマシテ、政府ハ何等カ本當ニ適切ナル統合統制ト云フモノハ、動モスレバ地方ノ產業ノ特殊事情ト云フコトヲ輕視スル虞モアリ、或ハ又其品種別ノ統制ヲヤリマスルナシテ從來ノ態度ヲ御變ヘニナル必要ヲ認メテ居リマスカドウカ、此點ニ付テ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○小島政府委員 只今木村委員カラ工業組合ニ於キマスル各種ノ統制ノ實情ヲ御述べニナリマシテ、將來是ガ缺陷ノ是正ト云フハ必要ナル品種ヘノ轉換ヲ致サナイト云フ缺陷ガ動モスレバアリ得ルコトト存ジテ居リマス、此點ニ關シマシテ木村委員ノ御述ニナリマシテ、御尤ノコトト私共考ヘテ居リマス、今後ハ此統制ノ擴充ヨリ必要デアリマスルガ、此統制ヲ實施致シマス、御趣意ノアル所ハ能ク拜承致シマシテ、是等ノ生産輸出ノ實情ニ即シタルシテ、結局重要輸出品デアリマスナラバ、

其輸出品ヲ將來確實ニサウシテ益、其販路ノ擴張ヲ圖ルコトヲ本來ノ目的トシテ居ルコトハ申ス迄モナインデアリマス、殊ニ國際收支ノ適合ヲ圖ル意味ニ於キマシテ、益モ、尙且ツ海外市場ニ於テ需要ヲ充タスニ足リナイト云フ場合ニ於キマシテモ、他ノ當業者ハ、過去ノ需要ノ狀況ニ依ツテ割當ラバ、私共トシテハ出來ル限り之ヲ是正シテ参リタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、只今御質疑ニナリマシタ從來ノ全國的ノ組合統制ト云フモノハ、動モスレバ地方ノ產業ノ特殊事情ト云フコトヲ輕視スル虞モアリ、或ハ又其品種別ノ統制ヲヤリマスルナシテ、外地ニ於テ自由ナ生産ヲスルト云フノヲサレテ居ラナイコトガ多イノデアリマシテ、内地ニ於キマシテハヤハリ工業組合法ノ第八條ノ適用ヲ受ケテ、全體ガ適用サレテ居ル、隨テ新規業者ト云フモノガ業界ノ需給ノ狀況ニ應ジテ割當テラレナイ、是ハ業界ノ狀態ニ於テハ已ムヲ得ナイコトト思フノデアリマスケレドモ、外地ニ於テ工業組合法ト云フモノガ實施サレテ居ラナイノヲサレテ居ルコトガ多イノデアリマスケレドモ、外地ニ持ツテ行ツテ工場ヲ建設致シマシテ、外地ニ於テ自由ナ生産ヲスルト云フ風ナコトガ現在アルノデアリマス、斯ウ云フコトハ日本ノ内地ノ工場ノ統制ノ上カラ見マシテ、日本ノ全體ノ工業生產品ノ需給ノ均衡ヲ素ルコトデアリマシテ、全體ノ工業ノ進展ノ上カラ見マシテ、由々シシ事態デアルト考ヘルノデアリマス、先程貿易局長ニ御伺シマシタ通り、外地ニ於キマシテデアルト考ヘルノデアリマス、此工業組合ニ依リマス統制ハ、決シテ個々ノ産業ヲ萎縮セシメルコトガ目的デハナイノデアリマス、御尤ト思フノデアリマス、此工業組合ニ依リマス統制ハ、決シテ個々ノ産業ヲ萎縮事情竝ニ海外市場ト云フモノヲ研究致シマシテ、是等ノ生産輸出ノ實情ニ即シタルシテ、結局重要輸出品デアリマスナラバ、例へバ人絹ノ輸出織物ノ如キハ、朝鮮ニ於キマ

シテモ漸次勃興ラシテ來テ居ルノデアリマ  
スケレドモ、内地ニ於テ人絹ノ輸出織物ガ  
生産ノ統制ヲ受ケテ居ルト云フ立前カラ、  
大キナ人絹會社若クハ紡績會社ト云フモノ  
ガ、大規模ノ工場ヲ外地ニ設ケマシテ、大  
量ノ生産ヲスルト云フ狀況デアリマス、サ  
ウシテ輸出ノ統制ヲ受ケテ居リマセヌカ  
ラ、外地デ自由ニ海外ニ輸出ヲスルト云フ  
狀況デアルノデアリマス、斯ウ云フコトデ  
アツテ見レバ、輸出ノ統制ヲ素ルコトハ勿論  
デアリマスガ、生産ノ統制ヲ素ッテ、工業組  
合法ノ精神カラ申シマシテモ、國內ニ於ケ  
ル中小業者ノ共通ノ利益ヲ増進スル爲ニ、  
大資本ニ對抗シテモ中小業者ガ經濟上ノ對  
立ノ出來ルヤウニ導ク所ノ工業組合ノ精神  
ト云フモノガ、全然沒却サレテ居ルノデア  
リマシテ、何トカ外地ニ於キマシテモ、人  
ナ資本家ガ朝鮮ニ進出ラシテ、大規模ノ生  
産ヲスルト云フ現狀デアリマシテハ、外地  
ニ於ケル事情ト云フモノモ、是ハ内地ガ徒  
ニ外地ニ其生産ノ勃興ヲ希望スルト云フコ  
トダケデアツテ、果シテ日本全體ノ工業ノ圓  
滿ナル進展ヲ期待シ得ルカドウカト云フコ  
トヲ吾々疑ヒタイ、斯ノ如キ狀況デアリマ

シテハ甚ダ憂フベキ所ノ結果ヲ來スノデアリ、内地ニ於ケル所ノ工業ノ統制ニ向ヒマシテモ、當業者ノ中ニ於キマシテハ此統制ニ對シテモ色々ナ異論ヲ持テ居ル所ノ業者モ相當ニアルノデアリマス、外地ガ只今申上ゲマシタヤウナ統制外ニ全然置カレテ居ルト云フ風ナコトハ、私共ハ國內ニ於ケル所ノ此工業統制ノ圓滿ヲ期スルト云フ立前カラ申シマシテモ甚ダ遺憾ニ存ズルノデアリマスガ、此點ニ向ヒマシテ外地ニ一日モ早ク此工業組合ノ統制ガ實施サレルヤウナ方法ヲ政府ニ於キマシテモ御考ニナッテ居リマスルカドウカ、又過去ニ於テ外地トノ御交渉ト云フヤウナモノガドウ云フ風ナコトニナッテ居ルカ、此點ニ付テ御所見ヲ伺ヒタインオデアリマス

タノデアリマス、其他ノ各種ノ重要ナル產業ニ付キマシテモ同ジヤウナ方針デ參リタ  
イト考ヘマシテ、拓務省、朝鮮總督府等ノ當局トモ種々折衝ヲ致シテ居リマス、而シテ  
例ヘバ朝鮮等ニ於キマシテハ特ニ統制ニ資ベキ組合ト云フモノハマダ出來テ居リマ  
セヌ、從來重要物產同業組合ニ該當スルモノガアリマシタガ、是トテモマダ十分普及  
シテ居リマセヌ、況ヤ統制ト云フモノヲ實質的ニ效果ヲ擧ゲシムルヤウナ工業組合ノ  
制度ト云フモノハナイノデアリマス、サリトテ現在ノ工業組合法ヲ其儘外地ニ施行ス  
ルト云フ譯ニモ參リマセヌノデ、今後ハ出來ルダケ速ニ外地ニ此工業組合法ト同ジヤ  
ウナ法令ノ制定ヲ願ヒマシテ其規定ニ基イタ工業組合ノ制度ト、内地ニ於キマスル工  
業組合ノ制度ト此二者ヲ連絡協調セシムルコトガ最モ實際的デアラウ、左様ニ考ヘテ居リマス、サウ云フ趣旨ニ於キマシテ外地當局ト折衝致シマシテ、之ニ基イテ關スル法規ガ制定ヲ見マシテ、之ニ基イテ見ルコトト相成ラウト思ヒマス、今後モ出来ル限リ外地當局ト折衝致シマシテ、内外地ヲ通ジテ一貫シタル統制ヲ實施シテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○木村委員 御話ノ點ハ能ク了解シタノデ  
アリマスルガ、尙ホ輸出ノ人絹織物ニ付キ  
マシテ實際ノ實情ヲ申上ゲマスト云フト、  
朝鮮ニ於キマスル所ノ人絹織物ハ大體ニ於  
テ一箇年間ニ百二十万反位ノ生産シカ現在  
アリマシテ、朝鮮モ漸次此鮮内ニ於ケル所  
ノ需要ニ應ズル爲ニ生産ノ增加ヲ見テ居リ  
マスルケレドモ、先程申上ゲマスヤウニ朝  
鮮ニハ輸出統制ガ實施サレテ居リマセヌ關係  
上、朝鮮ニ内地カラ移出ヲサレマシテ、  
其商品ガ海外市場ニ流レテ行クト云フ所ノ  
數量ガ相當アルノデアリマス、ソレデ内地  
ノ輸出組合ニ於キマシテモ統制ノ手數料ヲ  
徵收シテ居ル、其統制ノ手數料ハ相當ノ金  
額ニ上ルノデアリマシテ、外地ニ於テ輸出  
スル場合ニ於テハ全然輸出ノ統制ガアリマ  
セヌ爲ニ、統制手數料ノ徵收ヲ見ナイ、即チ  
云フモノモ、亦外地ニ於ケル所ノ加工費ト  
云フモノモ、内地ニ於ケル所ノ生産費並ニ  
加工賃ヨリハ現在實際ニ於テ安イト云フ  
ナ狀況デアルノデアリマシテ、斯ウ云フコ

トデアッテ見レバ、外地ニ統制ガナイ爲ニ輸出ニモ惡イ影響ヲ及ボシ、又生産ノ工業方面ニモ非常ニ惡イ影響ヲ及ボス、内地ノ當業者ト朝鮮ノ當業者ノ利害ト云フモノガ相剋ヲ致シマシテ、内外ノ當業者ガ相反目スルト云フ風ナ狀況デアリマス、而モ聞ク所ニ依リマスルト、内地ニ於ケル所ノ人絹染色ノ聯合會ト云フモノハ、内地ニ於ケル所ノ輸出人絹織物染色加工ノ統制ヲヤッテ居リマス、所ガ朝鮮ニ於テハ全然統制ヲ行ツテ居ラナイ爲ニ内地ヨリモ安ク染色加工ヲスル、ゾコデ内地ノ業者モ朝鮮ノ當業者ニ向ツテ内外地ヲ一貫シタル所ノ統制ノ協調ヲ申込ンダノデアリマスケレドモ、外地ガ之ニ應ジナイ爲ニ、日本輸出人絹染色聯合會ニ於キマシテハ、外地ニ持ツテ行ツテ染色工場ヲ設立致シマシテ、外地ノ當業者ヨリモヨリ以上ニ安イ賃銀ヲ以テ加工ヲショウ、即チ外地ノ同業者ニ向ツテ染色加工ノ競争ノ業者ノ利害ノ相剋ト云フモノヲ此儘ニ置キリマシテ、斯ノ如ク内外地ニ於ケル所ノ當業者ニ及ボスト云フコトニ相成ツテ來ルノデアリマシテ、是等ノ點ニ鑑ミマシテ何トカ政府ハ一日モ早ク外地ニ同様ナ生産竝ニ加

工方面ニ於キマシテノ統制ヲ實施スルコトニ御盡力ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、段々長クナリマスルカラ、私ハ此點ニ向ツテ政府ハ從來相當ナル努力ト御配慮ヲ願ツテ居ツタコトダと思フノデアリマスケレドモ、此點ニ向ツテ尙ホ一層ノ御配慮ヲ希望致シマシテ私ハ質問ヲ打切りマス

タカモ知レマセヌケレドモ、今日ノヤウモ  
モウ下リ坂ニナツタ時ニコンナコトヲス  
ト、丁度諸外國ニ對シテ手ヲ付イテ謝マリ  
ト云フヤウナ感ガ私ハスルノデアリマス、  
英國人ヲ初メ外國ノ貿易業者ヲ見テ居リ  
スト、取ルダケハ取ツテシマツテカラ、ソ  
ナニ取ツテハイケナイデヤナイカト言ハ  
タ時ニ、ソレナラ少シオ前ニ返サウト云ニ

シ軍需品ノ爲ニハ一切ノ貿易業者ハ此際忍ベト、斯ウ云フ意味ニ私ハ此法案ヲ解釋セザルヲ得マセヌ、又今日ノ時代ヲサウ私ハ認識スルノデス、第一此貿易組合法案ノ所ニ重要輸出品ト書イテアルガ、此重要輸出品ト云フノハ、商工省ガオ作リニナリマシタ本邦重要貿易品、此品目ダラウト思ヒマス、サウ致シマスト、輸入ノ方ヲ眺メマスト總テガ殆ド原料品デス、然ラバ國內ニ於ケル代用品ノ助成ヲスル爲ニ斯ウ云フ原料ヲツ禁シテヤラウ、斯ウ云フコトデアルナラバ國內ニ是ガ代用品ノ工業ト云フモノノヲ助成スルナリ乃至ハソレノ目當ト云フモノガナケレバナリマセヌガ、ドウモ私ノ見タ所デハ代用品ノ問題ニ付テハマダ政府御當局ハ——成程世間デ彼此レ一二聲ハ多少聞エテ居リマスガ、是ゾト思ハレル代用品ハ私等ハマダ耳ニシテ居ナイノデアリマス、サウ致シマスト、代用品ノコトヲ先づ考ヘナイノニ原料ヲ制限シテ行ク、成程先程商工大臣ガ仰シヤイマシタヤウニ、羊毛ヲ買ツテ來ル、濠洲バカリニ八割モ頼ツテハイケナイ、アノ日濠交渉ヲ好轉スル爲ニハ、オ前ノ方デソンナニ我儘ヲ言フナラバ今マデ買ツタ半分モ買ハナイ、其殘リハ亞米利加ノ方カラ買フ、或ハ満洲ノ曠野ニ於テ吾々

ハ緬羊政策ヲ樹テルノダト、斯ウ云フコトヲ仰シヤル意味ノコトニナルカ知レマセヌケレドモ、マダ私ハソコマデ政府ノ肚ガオ出來ニナッテ居ルカドウカト云フコトニハ甚ダ疑フ持ツ一人デアリマス、結局先ヅ第一ニ御尋シナケレバナラヌノハ、此法案ガ決シテ仰シヤルヤウニ積極的ト云フカ、貿易ノ伸展ヲ圖リ云々ノ明文ノ通リニ行クモノカ、行カナイモノカ、斯ウ云フ點ニ對シマシテ政府ハ本當ニ之ヲ御信ジニナッテ居ラツシヤルカ、或ハ御答辯ヲナサルベキ筋合ノモノデナケレバソレハマア控ヘテ置クトレバ、政府ハ一體本當ニ此際ドウ云フ氣持デオ居デニナルカ、一つ信念ノ程ヲ承リタイト思ヒマス

○寺尾政府委員 御話ノ御趣意ヲ十分諒解致サナカツカト思フノデスガ、詰リ今日議會ニ提出ニナッテ居リマス此法案其モノダケデハ、到底貿易ノ振興ハ期セラレナイ、之ニ付テハ先づ第一ニ根本的ニ貿易振興ニ關スル方策ト云フモノヲ樹テ、積極的ニ實行スル所ノ決意ガアルカト云フ風ノ御尋ノヤウニ拜承致シマシタガ、ソコノ所ガハッキリ呑込メマセヌノデ、要スルニドウ云フ御尋カモウ一應一ツ……

○高岡委員 此法案ノ性質ト云フヨリモ、私ノ方デハ斯ウ云フコトヲヤリマスガ、此邊デ然ラバ割當制ヲ決メルカ、斯ウ云々タヤウナ工合ニ民間ノ力ヲ或ル程度政府ガ之ヲ是正スルト云フカ、統制スルト云フカ、サウ云フ政府ト民間トノ「コンビ」ニ依ツテ海外貿易ト云フモノガ決マルト云フナラバ宜イケレドモ、今日ノヤウニ下リ坂ニナッテシマツテ居ル時ニ斯ウ云フ法案デハトテモ私ハ伸展ト云フコトハ出來ナイト思フ、サウナリマスト其次ニアリマス所ノ國際收支ノ適合ヲ圖ル爲ナノダ、ダカラ其御精神ガ國際收支ト云フ點ニダケ重點ヲ御置キニナリマシタノカ、ソレトモヤハリ貿易ノ伸展トケデハ、到底貿易ノ振興ハ期セラレナイ、云フモノヲ御考ニナッテヤハリ此法案ヲ御作リニナッテ居ルノカ、文字ハサウ書イテアリマスケレドモ、今日ノ時勢、又此法案ノ必要ト云フヨリモ、商工省ト云フカ、國家ガモ買ツテ行カナクチヤイケナイカラ、軍需品スウ行カナケレバ國際收支ノ均衡ト云フモダケハ買フガ、民間ノ方ハ暫ク待ツテ吳レ、ノガ取レテ行カナイ、斯ウ思ヒマス、ソレヲヤツタスレバ、今度ハ民間ノ方ノ收支ガ出来ナクナル、私ハソコニドウシテモ矛盾ガアルヤウナ氣ガスルノデアリマスケレドモ、是ハ私ノ頭ガ惡クテ勘違ヒシテ居ルノデアレバ致シ方アリマセヌケレドモ、私ハノダカラ、今度ハ貿易ガ發展スルノダト云

○寺尾政府委員 此法案ノ性質ト云フヨリモ、是亦貿易振興ノ爲ニ極メテ必要ナ項目デアラウト思ヒマス、單ニ國際收支ノ適合ヲ圖ルト云フコトガ主要ナ目的デアルト云フコトヲ申上ゲル譯ニハ參ラナイト思ヒマス、ソレモ併シ今日ノ時勢ニ鑑ミテ、最モ必要ナルコトデアラウト思ヒマスカラ、國際收支ノ適合ガ圖ラレナイ場合ニ於テハ、今日ノ將來ノ貿易振興ノ對策ヲ考ヘルコトハ出來ナイト思ヒマス

○高岡委員 國際收支ガ此商工省ノ御示シニナッテ居ルモノカラ割出シテ行クト、原料品デアリマス、ダカラ輸出ガ非常ニ少イニ居リマスノデ、外國ガヤツテ居リマスヤウニ賣出サナクチヤイケナイ、サウ云フ立場ニ立ツテ居ツテ、サウシテ其商品ヲ諸外國ニ盛ドウシテモ買ハナクチヤイケナイ立場ニカ是ハ面倒ダト思フノデアリマス、日本ハハ日本ハ弱味ヲ色々持ツテ居リマスノデ、オ前ノモノヲ買ハナイト言フコトハ、ナカナルコトハ出來ナイト思ヒマス

○高岡委員 國際收支ガ此商工省ノ御示シニナッテ居ルモノカラ割出シテ行クト、原料品デアリマス、ダカラ輸出ガ非常ニ少イニ居リマスノデ、外國ガヤツテ居リマスヤウニ賣出サナクチヤイケナイ、サウ云フ立場ニ立ツテ居ツテ、サウシテ其商品ヲ諸外國ニ盛ドウシテモ買ハナクチヤイケナイ立場ニカ是ハ面倒ダト思フノデアリマス、日本ハハ日本ハ弱味ヲ色々持ツテ居リマスノデ、オ前ノモノヲ買ハナイト言フコトハ、ナカナルコトハ出來ナイト思ヒマス

○寺尾政府委員 御話ノ御趣意ヲ十分諒解致サナカツカト思フノデスガ、詰リ今日議會ニ提出ニナッテ居リマス此法案其モノダケデハ、到底貿易ノ振興ハ期セラレナイ、之ニ付テハ先づ第一ニ根本的ニ貿易振興ニ關スル方策ト云フモノヲ樹テ、積極的ニ實行スル所ノ決意ガアルカト云フ風ノ御尋ノヤウニ拜承致シマシタガ、ソコノ所ガハッキリ呑込メマセヌノデ、要スルニドウ云フ御尋カモウ一應一ツ……

○高岡委員 此法案ノ性質ト云フヨリモ、是亦貿易振興ノ爲ニ極メテ必要ナ項目デアラウト思ヒマス、單ニ國際收支ノ適合ヲ圖ルト云フコトガ主要ナ目的デアルト云フコトヲ申上ゲル譯ニハ參ラナイト思ヒマス、ソレモ併シ今日ノ時勢ニ鑑ミテ、最モ必要ナルコトデアラウト思ヒマスカラ、國際收支ノ適合ガ圖ラレナイ場合ニ於テハ、今日ノ將來ノ貿易振興ノ對策ヲ考ヘルコトハ出來ナイト思ヒマス

○寺尾政府委員 國際收支ガ此商工省ノ御示シニナッテ居ルモノカラ割出シテ行クト、原料品デアリマス、ダカラ輸出ガ非常ニ少イニ居リマスノデ、外國ガヤツテ居リマスヤウニ賣出サナクチヤイケナイ、サウ云フ立場ニ立ツテ居ツテ、サウシテ其商品ヲ諸外國ニ盛ドウシテモ買ハナクチヤイケナイ立場ニカ是ハ面倒ダト思フノデアリマス、日本ハハ日本ハ弱味ヲ色々持ツテ居リマスノデ、オ前ノモノヲ買ハナイト言フコトハ、ナカナルコトハ出來ナイト思ヒマス

フヤウナ點ガアリマシタラ、サウ云フ點ヲ

一ツ御教ヘヲ願ヒタイト思ヒマス

○寺尾政府委員 實ハ私共ノ考ト致シマシ

テハ、此貿易及關係產業ノ調整ニ關スル法

律案ニ規定致シテ居リマス、例ヘバ第一條

ノ第一項乃至第四項ト云フコトニ重大ナル關係

レモ貿易ノ伸張ト云フコトニ重大ナル關係

ヲ持ツテ居ルモノト考ヘテ居リマシテ、必シ

モ是ガ全部消極的ナモノト言フコトハ出來

ナイト考ヘテ居ルノデアリマス、例ヘバ第一

項ノ「貿易ニ關スル條約又ハ之ニ準ズベキ

モノニ依リ貿易ヲ調節セントスルトキ」是

ハマア早イ話ガ、一ツ印度ニ對シテ日本カ

ラ輸出スベキ綿布ノ數量ニ付テ協定ヲシタ

イト云フコトニナリマシテ、ソレガ爲ニ貿

易ヲ調節スルト云フコトヲ實行致シ

ノデアリマスガ、サウ云フコトヲ實行致シ

マスルコトハ、畢竟スルニサウ云フ措置ヲ

執ルコトニ依ツテソレ以上ニ日本ノ輸出貿

易ガ阻礙サレルト云フコトヲ、其程度ニ於

テ喰ヒ止メルト云フコトデアリマシテ、是

ハ兎ニ角日本カラノ輸出貿易ノ維持ト云フ

爲ニ必要ダ、之ヲ自然ノ儘ニ放擲シテ置キ

マスナラバ、ソレダケ貿易ト云フモノガ減

退スルノヲ、其程度ニ喰ヒ止メル爲ニ、言

ヒ換ヘレバ貿易ノ維持ノ爲ニ必要ガアルト

云フコトデアリマス、又第二項ノ點ニ付テ

申シマスルナラバ、特定國トノ輸出及輸入

ノ均衡ヲ圖ル——或國ニ對シテ日本ガ入超

關係ニ立ツテ居ル、ソコデ其國ニ對シテハド

ウシテモ輸出ヲ振興サセナケレバナラヌ、

左様ナ場合ニ於テ、其相手國カラ入ッテ來ル

輸入品ニ對シテ此法律ニ依ツテ一ツノ輸入

制限ヲ實行スル、之ニ依ツテ逆ニ日本カラ此

方ニ輸出スル品物ニ付テ、先方ニ對シテ或

ル程度之ニ對スル優遇ノ方法ヲ講ズルコト

ヲ要求スル、例ヘバ現在ノ關稅率ヲ引下ゲ

ルト云フ風ナ交渉ヲスル爲ニ、先づ此輸入

ノ制限ヲスル、ト云フ風ナ場合モ起ツテ參リ

マスルノデ、左様ナ場合ニ日本ノ要求ト云

フモノガ貫徹セラレマスレバ、其限度ニ於

テ日本ノ輸出ヲ促進スルト云フコトニモナ

ルノデアリマス、一々各條項ニ付テ御話ヲ

申上ゲルコトハ如何カト思ヒマスガ、此法

律ニ規定シテ居ル事柄ハ、今申上ゲタヤウ

ナ事柄モ左様デアリマスルノミナラズ、又

此第二條、第三條以下ニ於テモ、統制ニ關

スル、政府ガ適當ナル方針ヲ定メテ統制ヲ

ナサシメ、又之ヲ確保シテ行クト云フ所ノ

方法ヲ決メテ行クコトガ、結局ハ輸出貿易

ノ振興ト云フコトニ重大ナル關係ヲ持ツテ

居ルト考ヘルノデアリマス、勿論是以外ニ

貿易ノ振興ノ方策ガナイト云フ譯デハ勿論

ナイノデアリマスケレドモ、此法律ノ關係

ト言ヒマスカ、日本ノオ役人ノアナタ方ニ

對シテ私ハ一ツ御願ガアルノデスガ、一體

此貿易ハ空船デハドウニモ出來ナインダ、

ダカラ結局ハ物々交換ナンダ、斯ウ云フ御

考ニ一ツオナリ下サイト言ウタ所デ、是ハ

中々願ハレルモノデモナイケレドモ、之ヲ

一ツオ耳ニ御聽取ヲ願ヒタイト思フ、ト言

フノハ過般ノ日印會商ノアリマシタ時モ、

印棉不買同盟ナンカヤッテ大分ワイ／＼騒

ガレタコトモアリ、色々ナコトガアリマシタ

ガ、私ハアノ時若モ日本ガ、ソレナラバアナ

タノ方デ棉ダケ買ツテコツチノ綿布ヲ買ハナ

イト仰シヤツタ所デ、空船デアナタノ所ノ棉

ヲ買フト云フヤウナコトハ出來ナイカラ、ア

ナタノ方デ日本ノ綿布ヲ買ハナケレバ結局

空船デハ行ケナイカラアナタノ原棉モ買ハ

レマセヌ、結局アナタノ方ガ私ノ方ノ綿布ヲ

買ツテ下サラナイ以上ハ、何處カ他ニ市場ヲ求

メテ、或ハ南米ニ日本ノ綿布ノ市場ヲ求メ

テ、サウシテコツチカラ品物ヲ持ツテ行ツテ、ソコ

ノ原棉ヲ買フヨリ外ナイ、斯ウ云ツタヤウナ

工合ニモウ少シ理窟ト言ヒマスカ、理窟ニ因

ハレルト云フ甚ダ何デスガ、餘リモノヲ詮

索サレルコトナク、大體ノ標準ハ物々交換デ、

デ敢テ是ハ御尋致シマセヌガ、一ツ考ヘテ

戴ケレバ非常ニ幸ダト思フノデス、商工省

ト言ヒマスカ、日本ノオ役人ノアナタ方ニ

對シテ私ハ一ツ御願ガアルノデスガ、一體

此貿易ハ空船デハドウニモ出來ナインダ、

ダカラ結局ハ物々交換ナンダ、斯ウ云フ御

考ニ一ツオナリ下サイト言ウタ所デ、是ハ

中々願ハレルモノデモナイケレドモ、之ヲ

一ツオ耳ニ御聽取ヲ願ヒタイト思フ、ト言

フノハ過般ノ日印會商ノアリマシタ時モ、

印棉不買同盟ナンカヤッテ大分ワイ／＼騒

ガレタコトモアリ、色々ナコトガアリマシタ

ガ、私ハアノ時若モ日本ガ、ソレナラバアナ

タノ方デ棉ダケ買ツテコツチノ綿布ヲ買ハナ

イト仰シヤツタ所デ、空船デアナタノ所ノ棉

ヲ買フト云フヤウナコトハ出來ナイカラ、ア

ナタノ方デ日本ノ綿布ヲ買ハナケレバ結局

空船デハ行ケナイカラアナタノ原棉モ買ハ

レマセヌ、結局アナタノ方ガ私ノ方ノ綿布ヲ

買ツテ下サラナイ以上ハ、何處カ他ニ市場ヲ求

メテ、或ハ南米ニ日本ノ綿布ノ市場ヲ求メ

テ、サウシテコツチカラ品物ヲ持ツテ行ツテ、ソコ

ノ原棉ヲ買フヨリ外ナイ、斯ウ云ツタヤウナ

工合ニモウ少シ理窟ト言ヒマスカ、理窟ニ因

ハレルト云フ甚ダ何デスガ、餘リモノヲ詮

索サレルコトナク、大體ノ標準ハ物々交換デ、

日本ノ物ヲ買ハナケレバアナタノ方ノ物ヲ  
買ハナイ、此趣意デ、此一本調子デ進マレ  
ルト云フコトガ、結局國際收支ノ均衡モ是  
デ取レテ行キマセウシ、ソレカラ一切ノ貿  
易ノコダハツカコトガ此精神デサヘ居レバ、  
私ハ或ル程度開拓ト言フカ、ヤレテ行クノ  
對シテ政府當局ノ御意見ヲ承ツタ所デ、俺ハ  
デヤナイカト考ヘルノデアリマスガ、之ニ  
斯ウ云フ肚ダント云フヤウナコトハ、斯  
ウ云フ公開ノ席上デハ仰シヤラナイ方ガ宜  
イダラウト思ヒマスカラ、是ハ御答辯ヲ求  
メナイコトニ致シマス、ソコデ尙ホ私ハ色  
色根本的ナ問題ヲ御尋シタインデアリマス  
ケレドモ、何分時間モアリマセヌシ、是ハ  
モウ既ニ衆議院デモ議論サレ、貴族院カラ  
回付サレテ來タモノデアリマスカラ、一二  
細カイ點ダケヲ御聞キ致シマスカラ、簡單  
ニ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

開クカト言ヒマスト、或ル一定ノ時ノ現勢  
力ト言ヒマスカ、生産力ト言ヒマスカ、輸出  
額ト言ヒマスカ、ソレニ依リマスト、元カ  
ラ大キイ人ハ何時迄モ大キイシ、新シク發  
展シテ來ヨウトスル所謂新興勢力ノ商店ト  
言フカ、サウ云フ商賣人ガ、非常ニ私ハ困  
ルト思フノデアリマス、一體割當ヲスル場  
合ニハ、ドウ云フ處ヲ標準ニナサルノカ、  
御説明ガ願ヘレバ仕合セダト思ヒマス

ヲ、非常時ダカラ兎ニ角ヤツテ行カナケレバ  
ナラヌト云フ爲メノ是ハ立法デアリマスケ  
レドモ、斯ウ云フコトヲナサルト、或ハ支  
那ハ此頃北支問題デイケマセヌケレドモ、  
其他ノ國デ合辦會社ガ出來マシテ、日本ノ  
資本ガ海外ヘ相當流レ出ルト云フコトハ、  
覺悟ノ上デゴザイマセウケレドモ、サウ云  
フ點ハドノヤウニ見テオイデニナリマスカ  
ト云フ風ナ場合ガ起ラナイカト云フ御尋デ  
○寺尾政府委員 今ノ御尋ハ内地ニ於テ貿  
易統制等ヲヤル結果トシテ、内地ガ非常ニ  
窮屈ニナル、隨テ海外ニ資本ガ流レテ行ク

ラウト思ヒマスガ、其場合ニハヤハリ外地ニ——日本人デアルトカ、乃至ハ合辦ノ場合ハ、ドウスウト云フヤウニ、色々法律ヲ御作リニナルノデアリマセウカ、其點ヲ御伺シテ置キタイ、能ク英國デモ、獨逸デモアリマスネ、外國ニ其會社ガアリマシテモ、獨逸人ガヤツテ居ルトカ、乃至ハ獨逸ノ資本ダト云フト、之ニ對シテ稅金ヲ課スルト云タヤウナ工合ニヤツテ居リマス、サウ云フヤウニ、此法案ガ適用サレテ外地ニ及ブノカドウカ、其點ヲ伺ヒタイ、斯ウ云フ譯ニアリマス

○寺尾政府委員 只今ハ御尋バ 朝鮮トガ  
臺灣トカ云フ風ナ外地ニ關スル問題デゴザ  
イマセウカ、ソレトモ諸外國ニ關スル問題  
デゴザイマスカ

○高岡委員 諸外國デス

○寺尾政府委員 諸外國ニハドウモ此法律  
ヲ施行スルヤウナ譯ニハ、一寸參ラナイカ

ト思フノデアリマス

セウカ、ドウカ  
○寺尾政府委員 只今左様ナコトハ考ヘテ  
居リマセヌ  
○高岡委員 ソレナラ大分是ハ世間デ……

ノ方法ノ 大體莫ル程度マテ過去ノ實績ノ  
云フモノヲ基準ト致シマシテ、組合員ニ割  
當テルト同時ニ、又其數量ノ或ル部分ハ是  
ハ實績以外ニ、新規ノ業者ニ適當ナ標準デ  
割當テルト云フ風ナ方法ヲ執ッテ居ルノデ  
アリマス、併シ具體的ナ問題ニ當リマシテ、  
ソレヲドウ云フ限度ニ、ドウ云フ方法デヤル  
カト云フコトハ、御話ノ通り實際困難ナ事  
情ガアリマスノデ、是等ノ點ニ付キマシテ  
ハ、將來トモ十分考究致シマシテ、適當ニ  
其方法ヲ誤ラナイヤウニ實行致シタイト考  
ヘテ居リマス

ニサイマーナカ  
○高岡委員 サウデス

○寺尾政府委員 只今ハ御尋バ 朝鮮トガ  
臺灣トカ云フ風ナ外地ニ關スル問題デゴザ  
イマセウカ、ソレトモ諸外國ニ關スル問題  
デゴザイマスカ

○高岡委員 諸外國デス

○寺尾政府委員 諸外國ニハドウモ此法律  
ヲ施行スルヤウナ譯ニハ、一寸參ラナイカ

ト思フノデアリマス

セウカ、ドウカ  
○寺尾政府委員 只今左様ナコトハ考ヘテ  
居リマセヌ  
○高岡委員 ソレナラ大分是ハ世間デ……



マスルノデ、私ハ此際重複スル問題ニ付テハ質問ヲ避ケタイト思フノデアリマス、ソレデ私ハ簡単ニ特殊ナ具體的ナ問題ニ付テ、二三質問ヲ致シテ見タイト思フノデアリマス、先ヅ貿易關係ニ付テデアリマスルガ、從來アリマシタ所ノ輸出組合法ナリ、又今回提案サレマシタ所ノ二ツノ法案ナリ、ソレ等ノ法律ニ依シテ行ハレル所ノ統制下ニ於テ、屢々大資本ヲ有スル所ノ輸出商人竝ニ輸入商人ノミガ利益ヲ占メテ、サウシテ小資本ノ業者デアルトカ、或ハ直接生産者等ハ、屢々不利ナ立場ニ置カレルト云フコトハ、他ノ委員諸君ノ質問ニ於テ伺ツタノデゴザイマスルガ、只今私ガ質問致シマスル問題ハ、ヤハリ此問題ニ關聯致シテ居ル好キ實例デアルト思ヒマスルノデ、伺ッテ見タイト思フノデアリマス、陶磁器ノ問題デアリマスルガ、昨年陶磁器ノ對米價格統制ガ實行サレマシタニ付キマシテ、一口ニ申シマスレバ非常ナ利益ヲ蒙リマシタ者ハ、名古屋ノ大輸出商人デアツタノデアリマス、サウシテ一方ニ於キマシテ、非常ナ不利益、即チ損害ヲ蒙リマシタノハ、岐阜、愛知兩縣下ニケル所ノ價格ノ安イ珈琲碗皿ト云フヤウナモノノ輸出ガ、大激減ヲスルコトニナツタノデアリマス、デ此問題ガ輸出組合ト工業組合トノ間ニ論議サレルニ付キマシテ、商工省ガ中ヘ入ラレマシテ、利益ヲ受ケル所ノ名古屋ノ輸出組合カラ、非常ナ損害ヲ蒙ムル所ノ岐阜縣ノ製造業者ニ對シマシテ、補償金ヲ出サセルト云フ幹旋ヲセラレタノデニ働イテ居リマスル所ノ多數ノ労働者デアツタノデアリマス、ソレハ私ガ御説明申上

ゲルマデモナク、其當時殊ニ岐阜縣下ニ於キマスル所ノ價格ハ、非常ニ安ク亞米利加ニ輸出サレテ居ル、其爲ニ亞米利加ノ陶磁器生産者トノ間ニ、利害關係ニ於キマシテノ方デハ關稅ヲ上ゲルカ、値段ノ統制ヲヤルカト云フヤウナ問題ヲ持出サレマシテ、其結果名古屋ノ陶磁器輸出組合ト工業組合トノ間ニ、非常ナ紛擾ガ捲キ起ツタノデアリマスルガ、結局價格統制ヲ斷行スルト云フコトニナツタノデアリマス、之ニ依リマシテ名古屋ニ於ケル所ノ日本陶磁器株式會社、或ハ名古屋製陶所等ノ大工場ニ於テ生産サレタ所ノ製品、所謂高級製品ガ、價格統制ノ結果俄ニ其輸出數量ガ殖エテ參リマシテ、一方ニ於キマシテ、殊ニ岐阜縣下ニ於ケル所ノ價格ノ安イ珈琲碗皿ト云フヤウナモノノ輸出ガ、大激減ヲスルコトニナツタノデアリマシタニ拘ラズ、何等カノ設備ヲシタナラバ、其設備シタ金額ニ相當スルダケノモノヲ出サウト云フヤウナ條件ヲ持出シマシテ、未ダ此金額ハ全額支拂ハレテ居ナイノデアリマス、其共同設備ニ致シマシテモ、工業組合側ニ於キマシテ設備ノ計畫ヲ立テマシテモ、ソレニ難癖ヲ付ケマシテ、サウ云フ計畫デアツテハ此補償金ハ出セナイト云フヤウナコトヲ言ヒマシテ、今日未ダ名古屋輸出組合ハ、其補償金ヲ全額支拂ッテ居ナイノデアリマス、此問題ニ付キマシテ、商工省ハ其當時勿論幹旋ノ勞ヲ執リ、其上ニ若シ製造業者ガ、其所屬ノ工

業組合ニ於テ相當ノ共同施設ヲスルナラバ、商工省ハ相當ノ補助金ヲ輸出組合カラ支拂ハセルト云フヤウナ關係ニナツテ居タト思フノデゴザイマス、是ト同時ニモウツ工業組合ガ適當ナ共同施設ヲ致シタ場合ニ、政府ハ其助成金ヲ出サウト云フ御言葉ニ付テモ、何等實行サレテ居ナイ、此點ニ付テノ今日ノ商工省ノ御考ハ如何デアリマスカ、何ノ理由ヲ以テ、此輸出組合ニ對シマシテ支拂ノ請求ヲ、商工省ハナサレナシカ、又商工省ガ約束セラレタ所ノ助成金ヲ出サレナイカト云フ問題ニ付キマシテ、最初ノ契約ハ無條件ニ此補償金ヲ出スト云フノデアリマシタニ拘ラズ、何等カノ設備ヲシタナラバ、其設備シタ金額ニ相當スルダケノモノヲ出サウト云フヤウナ條件ヲ持出シマシテ、未ダ此金額ハ全額支拂ハレテ居ナイノデアリマス、其共同設備ニ致シマシテモ、工業組合側ニ於キマシテ設備ノ計畫ヲ立テマシテモ、ソレニ難癖ヲ付ケマシテ、サウ云フ計畫デアツテハ此補償金ハ出セナイト云フヤウナコトヲ言ヒマシテ、今日未ダ名古屋輸出組合ハ、其補償金ヲ全額支拂ッテ居ナイノデアリマス、此問題ニ付キマシテ、商工省ハ其當時勿論幹旋ノ勞ヲ執リ、其上ニ若シ製造業者ガ、其所屬ノ工

業組合ノ製造業者ノ下ニ働イテ居リマスル所ノ勞働者ガ、ヤハリ此對米價格統制ノ爲メ、對米輸出ガ減リマスレバ勞働者ハ失業シナケレバナラナイ、賃銀切下ヲ受ケナケレバナラヌト云フノデ、勞働者ニモ其補償ヲスルヤウニ、輸出組合ニ對シテ幹旋シテ貰ヒタイト云フ要求ヲ致シマシテ、商工省ニ其幹旋ヲ御願致シタノデゴザイマス、當時寺尾貿易局長官ハヤハリ貿易局長ト致シマシテ、私ガ勞働組合ノ依頼ヲ受ケテ御願致シマシタ時ニ、能ク一ツ幹旋ノ勞ヲ執リヤラウ、君ノ希望モ達セラレルヤウニ取計

ラッテヤラウト云フ、御言葉ガアリマシタニ

モ拘ラズ、其後何等具體的ナ施設ヲ見ルコ

トガ出來ナイノデゴザイマス、此點ニ付キ

マシテ長官ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○寺尾政府委員 只今御質問ノアリマシタ

事柄ニ付テハ、私モ確ニ其際ニ立會ヒマシ

テ、工業家ノ受け損失ヲ補償スル意味ニ

於テ、輸出組合ヨリ一定ノ金額ヲ工業家側

ニ支拂フコトノ斡旋ヲ致シタコトモ事實デ

アリマス、輸出組合トシテハ、其話合通り

ニ支拂ヲ致シタモノト、實ハ私今日マデ考

ヘテ居ツタノデアリマス、尤モ私ハ其後直接

貿易局ニ關係セヌ立場ニ居リマシタノデ、

ハツキリ知リマセヌガ、若シモ輸出組合側ガ

正當ノ理由ナクシテ、一旦支拂フコトニ取

決メタモノヲ、支拂ハナイト云フコトデア

レバ、是ハ甚ダ穩カデナイト思ヒマス、果

シテ事情ハ如何ニナツテ居リマスカ、十分調

査致シタ上デ、適當ノ措置ヲ致シタイト考

ヘテ居ル次第ゴザイマス

ソレカラ是ハ工務局關係ニナリマスガ、

工業家ニ對シテ一定ノ補助金ヲ交付スルト

云フ約束ヲ致シマシタ、然ルニソレヲ實行

シテ居ナイデヤナイカト云フ點ニ付キマシ

テハ、一寸只今其眞相ガ分リ兼ネマスノデ、

後刻取調べマシタ上デ何分ノ御返事ヲ致シ

マス

○小島政府委員 只今工業組合ノ共同施設

ニ關シマスル補助金ノ問題ニ付テ御尋ガゴ

ザイマシタ、是ハ色々手續上遅レテ居リマ

スガ、目下工務局ニ於テ調查審議中デアリ

マス、左様御諒承願ヒマス

○加藤委員 商工省ガ約束セラレタ助成金

ノ問題ニ付テ、目下審議中トノ御話デゴザ

イマスガ、此問題ハ既ニ一年以上モ前ニ御

約束ニナツタ問題デアリマシテ、今更調査審

議中ト云フノモヲカシイト思フノデアリマ

スガ、サウ云フ御考デアリマスナラバ、是非

共至急商工省ノ方針ヲ決定シテ戴キマシ

テ、適當ナ施設ニ對シマシテハ、此補償金

ノ支拂ト同時ニ御下付ニナルヤウニ御願シ

タインデアリマス、ソレカラ此補償金ノ問

題ニ付キマシテモ、貿易局長官ハマダ支拂ツ

タカ支拂ハナイカ知ラスト云フ御話デアリ

マスガ、長官ハ御知リニナラナイトシテモ、

恐ラク商工省ニ於テ直接關係ノ諸君ハ、十

分知ツテ居ラレル筈デゴザイマス、各關係

ノ陶磁器工業組合カラ、屢々商工省ニ對シ

テ其コトヲ督促シテ居ルノデアリマス、ソ

レニ對シマシテ商工省ハ非常ニ冷淡ナ態度

ヲ執ツテ居ラレルヤウニ、私ハ聞イテ居ルノ

デアリマスカラシテ、此際問題ノ解決ニ付

キ是非積極的ナ態度ヲ執ツテ、一つ名古屋ノ

輸出組合ニ對シマシテ、斷乎タル態度ヲ執ツ

テ戴キタイト云フコトヲ御願致シタイノデ

アリマス、尙ホ此問題ニ關聯シテモウ一ツ

御伺致シタイノハ、對米珈琲碗皿ノ價格統

制ノ結果、一打一圓二十錢ト云フ最低價格

ガ決定セラレタノデゴザイマスガ、最近物

價騰貴ニ依リマシテ、實際検査ノ合格品ヲ

見マスルト、一圓二十五錢程度ノ物ハ合格

シテ居ナイ、少クトモ一圓四十錢位ノモノ

デナイト合格シテ居ナイノデアリマス、即

チ検査セラルル側ノ人々ノ言フコトヲ聞キ

マスルト、物價騰貴ニ依ツテ今マデ一圓二十

五錢程度ノモノデハ、不合格ニスルヨリ外

仕方ガナイト云フヤウナコトヲ言ツテ居ラ

レマスガ、此價格統制ト云フコトハ、飽マ

デ價格統制デアリマシテ、品質ヲ基準ニシ

テ統制シテ居ルノデハナイノデアリマス、

一圓二十五錢ト云フ價格ヲ基準トシテ統制

シテ居ルノデアリマスルカラ、如何ニ物價

ガ賤致シマシテモ、ヤハリ最低價格ガ一

圓二十五錢デアリマスルナラバ、一圓二十

五錢以上ノ品ハ合格品トシナケレバナラナ

イト思フノデアリマス、ソレヲ物價騰貴ヲ

理由トシテ、少クトモ一圓四十五錢以上デ

ナケレバ合格サセナイト云フコトハ、先程

私ガ申シマシタヤウニ、日本陶器株式會社

デアルトカ、或ハ名古屋製陶所ト云フヤウ

ガ、大工場ニ於ケル所ノ高級品ガ、此物價

騰貴ニ依ツテ、岐阜縣ニ於ケル下級品ノ價格

一圓二十五錢以下ハ、ハネラレテ居タ品物モ、

一圓二十五錢以上ニナツテ來タノデ、只今申

シマシタ日陶、名陶等ニ於ケル高級品ノ分

野ニ侵略シテ參リマシテ、是等ノ高級品ノ

輸出量ヲ減額セシメルト云フノデ、此日陶、

名陶ノ高級品、所謂「ディナー・セット」ヲ護

ル爲ニ、斯ウ云フ方針ガ採ラレテ居ルノデ

ハナイカト私ハ思フノデアリマス、其點ニ

付テノ御所見ヲ伺ヒマス

○寺尾政府委員 御話ノ御趣意ハ一應御尤

ノヤウニ拜聽シマシタ、此點ニ付キマシテ

モ甚ダ迂闊デゴザイマスガ、詳細ノコトハ

私承知シテ居リマセヌカラ、早速取調べテ

適當ナ措置ヲ執リタイト思ヒマス

○加藤委員 商工省ハ或ハ輸出組合、或ハ

工業組合ノ指導監督ヲサレルニ付テモ、是

等ノ具體的ナ事實ニ付テ餘リ御存ジナイヤ

ウデアリマス、サウシタ具體的ナ事實ヲ知

ラズシテ、唯徒ニ煩瑣ナ法律ヲ設ケテ統制

ヲ云々サレテモ、ソレハ恐ラク唯徒ニ直接

生産業者ヲシテ不利ニ陷入レルノミデアッ

テ、私ハ效果ノ薄イモノデアルト考ヘルノデ  
アリマス、私ハ今後統制ガ益々強化サレルニ  
従ヒマシテ、少クトモ私ガ今質問致シマシ  
タ位ノ問題ハ、何時デモ答辯出來ル位ノ具  
體的ナ知識ヲ持ツテ居ツテ戴キタイト思フノ  
デアリマス、今知ラナイト云フ御言葉デゴ  
ザイマスカラ、後程適當ナ機會ニ伺フト致  
シマス、次ニ工業組合法ノ關係ニ付キマシ  
テ二三伺ツテ見タイト思フノデアリマス、私  
ハ一般質問ノ際ニモ申上ゲマシタガ、今回  
工業組合法ノ改正ニ依リマシテ、統制ハ益々  
強化サレルヤウデアリマス、併シソレハ唯  
監督方面ノミノ強化デアリマシテ、指導方  
面ニ於ケル強化ト云フコトハ、甚ダ考ヘラ  
レテ居ナイヤウデアリマス、勿論其指導方  
面ニ於ケル強化ト云フコトハ、業者ノ自覺  
ト相俟ツテ進マナケレバナラナイモノデア  
ルト云フコトハ、私モ知ツテ居ルノデアリマ  
スカラ、今法文ノ改正ニ依ツテ直チニ私ハ此  
點ヲ追及スルノデハナイノデアリマスガ、  
此方面ニ於キマシテ、殊ニ具體的ニ如何ニ  
指導シ、今日ノ没落ニ瀕シテ居ル所ノ中小  
工業家ヲ、如何ニ更生セシムルカト云フ點  
ニ付キマシテノ、具體的ナ親切ナ方針ガ樹  
テラレナケレバナラナイト私ハ考ヘルノデ  
アリマス、其第一ト致シマシテ、私ハ金融

方面ニ付テ同ヅテ見タインデアリマス、先ヅ  
第一ニ、是ハ金融ト云フ言葉デ申シマシテ  
ハ語弊ガアルノデアリマスルガ、助成金ノ  
組合ガ作り始メラレマシタ當時ニ於キマシ  
テハ、政府モ相當助成金ヲ出しシテ居ラレタ、  
殊ニ陶磁器工業組合ニ對シマシテハ、最初  
ノ一年頃ニ於テハ、年額七十万圓以上支出  
セラレマシテ、或ハ共同施設、或ハ共同事務  
所、サウシタ設備ニ對シマシテ助成金ヲ出  
サレテ居ツタノデアリマス、所ガ最近ニ至リ  
マシテ段々ソレガ減リマシテ、最近デハ年  
額二十五万圓位シカ出シテ居ラレナイヤウ  
ニ伺ツテ居ルノデアリマス、私考ヘルノニ、  
今日コソ此助成金ヲ益<sup>増加</sup>サレマシテ、或  
ハ共同販賣ノ強化、或ハ共同施設ノ完備、  
原料、材料ノ共同購入ト云フ方面ニ、指導  
的ナ力ヲ注ガナケレバナラナイト考ヘルノ  
デアリマス、殊ニ例ヘバ私ガ申シマシタ陶  
磁器工業組合ニ於キマシテ、今日最モ必要  
ナモノハ、加工完成ニ對スル共同施設ヲ、  
政府ガ積極的ニ指導獎勵セラレテ、ソレニ  
リ直接消費者ヘト云フツノ目的ヲ達スル  
對スル助成金ヲ出來ルダケ交付セラレ、サ  
ウシテ此工業組合ノ使命デアル、生産者ヨ

シテ、直接諸外國へモ輸出シ得ルヤウナ方  
法ヲ講ゼラレナケレバナラナイ時デアルト  
私ハ考ヘマス、其點ニ付キマシテ政府ノ御  
所見ガ伺ヒタイノデアリマス、序ニ商工中  
央金庫ノ問題ヲ伺ヒマスガ、昨日他ノ委員  
カラ商工中央金庫ハ、其貸出金額ガ非常ニ  
少額デアルト云フ御質問ガアリマシタガ、  
私モ同感デアリマス、併シ中央金庫ハ創立  
後マダ日ガ淺イノデアリマスカラ、其點ハ  
已ムヲ得ナイト致シマシテモ、此中央金庫  
ノ利子ガ非常ニ高イ、貸出利率ガ年利五分  
七厘トナッテ居リマス、サウシテ手形ノ割引  
日歩ガ一錢五厘トナッテ居リマスガ、是ハ非  
常ニ高イ、決シテ是ハ低利デハアリマセヌ、  
今日市中ニ於テ取引ガ行ハレテ居ル利息ヲ  
見テモ、東京市中ノ銀行利息モサウデアラ  
ウト思ヒマスガ、名古屋ヲ中心トスル地方  
ノ市中銀行ノ日歩ハ一錢一厘以下デアリマ  
ス、普通營利銀行ノ日歩ガ一錢一厘以下デ  
アルニ拘ラズ、低利資金ト云フ名目ノ下ニ  
貸出サレタ中央金庫ノ日歩ガ一錢五厘ト云  
フノハ、餘リニ懸隔ガアリ過ギルト考ヘル  
ノデアリマス、少クトモ營利銀行ヨリモ以  
ノデアリマスガ、此點如何ナル御考ヲ以テ

斯ノ如キ御方針ヲ持テ居ラレルカト云フ  
ノ個人保證ヲ強制セラレテ居ルヤウデアリ  
マス、勿論ソレニハ色々ナ理由ヲ附ケテ居  
ラレマスルガ、此理事ノ個人保證ト云フコ  
トガ、絶對條件デアルトル限リニ於テ、  
此金ヲ一般商工業者ガ利用スル際ニ於テ、  
非常ナ支障ヲ來スト考ヘラレルノデアリマ  
スガ、勿論其人ノ信用程度ト云フコトモ考  
慮シナケレバナラナイト思ヒマスルガ、併  
シ私ハモウ少シ政府ハ、其人ヲ信用スル方  
針ヲ執ツテオヤリニナツタラドウカ、サウ云  
フ意味ニ於テ、理事ノ個人保證ト云フコト  
ハ絶對條件トシナイ、萬已ムヲ得ナイ場合  
ノ條件トスルト云フヤウナ方針ヲ採ラレタ  
ラドウカト云フ點ニ付テ伺ヒタイノデアリ  
マス

決シテ是等ノ統制若クハ監督ノ規定ノ整備ヲ以テ満足スルモノデハゴザイマセヌ、全ク御趣旨ノ如ク、是ガ指導方面ニ力ヲ致スト云フコトハ極メテ必要ナコトト考ヘテ居リマス、先般成立シマシタ豫算ニ於キマシテモ、此工業組合ノ經營ノ指導ト云フ意味ニ於キマシテ、各府縣ニ商工主事ヲ特ニ配置致シマシテ、一層各地方ノ實情ニ即シタル工業組合法ノ運用ヲ致シ、同時ニ中央地方ノ連絡ヲ圖リタイト、斯様ニ考ヘマシタノデアリマス、而シテ此工業組合ヲ組織致シテ居リマスルモノハ、御話ノ如ク全ク中小工業者デゴザイマス、殊ニ陶磁器等ニ於キマシテハ一層其資力、信用等ノ方面ニ於キマシテモ、大キナ工業者ト並ンデ立ッテ行クノニハ、工業組合ニ依リマシテ其原料、材料ノ共同購入ヲ行ヒ、加工ノ共同設備ヲ致シ、製品ノ共同販賣ヲ致スト云フヤウナコトガ最モ適切デアルトス様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、之ニ付キマシテハ、政府ノ助成金ガ洵ニ少イコトハ御話ノ通リデアリマスガ、今後出來ル限リ此工業組合ニ對スル政府ノ助成金額ヲ増加致シタイ、斯様ニ私共モ考ヘテ居リマス次第デアリマス、是等ノ經濟的ノ共同施設ノ完備ニ依リマシテ、中小工業者ノ製品ガ生地ヨリ加工、加

工ヨリ更ニ完成品ニ至リマシテ、直接ニ輸出方面ニ向ヒマスルコトヲ、私共モ希望致シテ居リマスヤウナ次第デアリマス。次ニ工業組合ノ資金ノ問題ニ關聯シマシテ、中央金庫ノ金利ガ高イデハナイカト云フヤウナ御尋デゴザイマスガ、中央金庫ノ金利ハ、只今自己資金ハ五分ノ利率ヲ以テ貸出シテ居ルノデアリマスルガ、低利資金ハ三分九厘デ之ヲ融通致シテ居ルノデアリマシテ、大部分ハ此低利資金ニ依リマス、資金ヲ中央金庫ヨリ工業組合等ニ融通シテ居ルト云フヤウナ狀態デゴザイマス、尙ホ此中央金庫ノ資金ノ貸付ニ付キマシテ、個人保證ヲ條件トシテ居ルガ、此點ニ付テ改善ノ意綴ハナイカト云フ御話デゴザイマスガ、中央金庫ノ方ノ貸付ヲ爲シマス方面ノ心組ミト致シマシテハ、苟モ組合ノ理事者ハ、其組合ノ將來ノ發展ト言ヒマスカ、基礎ト云フモノニ付テハ十分ノ責任ト自信トヲ持ッテ居ルコトガ望マシイ、隨ヒマシテ組合ノ理事ノ任ニ當ル方ハ、其組合ノ借入ニ付テハ個人保證ヲシテ迄モ、尙且ツ其資金ノ運用ニ付テハ十分ノ效果ヲ擧ゲ得ルト云フヤウナ確信ガアツテ欲シイ、斯様ナ心持テアラウト思フノデアリマス、現在必シモ中央金庫ノ資金ノ貸付ニ付キマシテハ、個人

保證ト云フモノヲ絕對的ノ條件トハ致シテ居ラナイノデアリマスルガ、今申上ゲマシタヤウナ貸付ヲ爲ス方面ノ心持ト致シマシテハ、組合員間ノ結合ノ狀態デアリマストカ、或ハ理事者ノ意氣込デアリマストカ、心證ヲ得ル意味ニ於キマシテ、個人保證ヲ要求スルト云フ場合ガ多イデアラウト思マシテハ、個人ノ保證ト云フコトハ絕對的ノ條件デナクテ、之ニ依ラズシテ中央金庫ノ資金ガ組合ニ流レ入りリマスヤウニ努力致シタイト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス。○川崎委員　關聯事項デ、工務局長ニ御伺人保証ヲ條件トシテ居ルガ、此點ニ付テ改善ノ意綴ハナイカト云フ御話デゴザイマスシタイ、工業組合改正法ヲ見マスルト、第二十八條ノ三ニ色々ノムヅカシイコトガ出テ居リマシテ、國民經濟ノ健全ナル發達ヲ期スル爲ニハ、行政官廳ガ工業組合ノ設立ヲ命ズルコトガ出來テ、其地區ニ於ケル業者ヲ強制的ニ會員ニスルコトガ出來ル、サウシテ左様ニシテ作ラレタ所ノ組合デハ、其會員ニ出資ヲ命ズルコトガ出來ナイ、左様ナ工業組合ハ合併ヲ爲スコトガ出來ナイトカ、大層ムヅカシイ強力ノ工業組合ガ出来ルヤウニナツテ居リマスガ、サウスルト他アラウト思フノデアリマス、現在必シモ中央金庫ノ資金ノ貸付ニ付キマシテハ、個人

保證ト云フモノヲ絕對的ノ條件トハ致シテ居ラナイノデアリマスルガ、今申上ゲマシタヤウナ貸付ヲ爲ス方面ノ心持ト致シマシテハ、組合員間ノ結合ノ狀態デアリマストカ、或ハ理事者ノ意氣込デアリマストカ、心證ヲ得ル意味ニ於キマシテ、個人保證ヲ要求スルト云フ場合ガ多イデアラウト思マシテハ、個人ノ保證ト云フコトハ絕對的ノ條件デナクテ、之ニ依ラズシテ中央金庫ノ資金ガ組合ニ流レ入りリマスヤウニ努力致シタイト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス。○川崎委員　關聯事項デ、工務局長ニ御伺人保証ヲ條件トシテ居ルガ、此點ニ付テ改善ノ意綴ハナイカト云フ御話デゴザイマスシタイ、工業組合改正法ヲ見マスルト、第二十八條ノ三ニ色々ノムヅカシイコトガ出テ居リマシテ、國民經濟ノ健全ナル發達ヲ期スル爲ニハ、行政官廳ガ工業組合ノ設立ヲ命ズルコトガ出來テ、其地區ニ於ケル業者ヲ強制的ニ會員ニスルコトガ出來ル、サウシテ左様ニシテ作ラレタ所ノ組合デハ、其會員ニ出資ヲ命ズルコトガ出來ナイ、左様ナ工業組合ハ合併ヲ爲スコトガ出來ナイトカ、大層ムヅカシイ強力ノ工業組合ガ出来ルヤウニナツテ居リマスガ、サウスルト他アラウト思フノデアリマス、現在必シモ中央金庫ノ資金ノ貸付ニ付キマシテハ、個人

ヤイマスカ、或ハ一向構ハヌト云フ御考デ  
ゴザイマスカ、一寸其點ダケヲ御伺シタイ

ト思ヒマス

○小島政府委員 只今御尋ノ點ガ、或ハ私

ガ誤解シテ居ルカモ知リマセヌガ、從來ア

リマスル共同施設ト同時ニ、統制ヲモ實施

致シマスル工業組合ノ制度ハ其儘ニ相成ツ

テ居リマスノデ、若シモ貿易ニ直接關係ノ

アリマスルヤウナ工業者ガ、自治的ニ工業

組合ヲ作リマシテ統制ヲ致スト云フ場合ニ

於キマシテハ、今後ニ於キマシテモ出資ニ

依リマスル從來ノ工業組合ヲ作ツテ參ッテ、

一向差支ナイノデアリマス、寧ロ私共ト致

シマシテハソレヲ希望シテ居リマス、唯併

ナガラ貿易ノ統制ヲ急激ニ實施致シマス必

要ガアリ、之ニ對應シマスル生産統制モ亦

急速ニ組合組織ヲ實施スル必要ガ起ツタ場

合ニ於キマシテハ、行政官廳ガ工業組合ノ

設立ヲ命ズルト云フコトガアリ得ル、此政

府ノ設立命令ニ依リマシテ出來マシタ工業

組合ヲ特ニ統制組合、斯ウ申スノデアリマ

スガ、從來アリマス工業組合ト今後出來マ

ス統制工業組合トノ間ニハ、何等摩擦相剋

ト云フコトハナイデアラウ、寧ロ兩者ハ相

俟チ、相連絡ヲ保チマシテ、生產統制ヲ致

スコトニ相成ラウト、斯様ニ考ヘテ居リマ

ス  
○加藤委員 只今ノ商工金庫ノ利率ノ問題

デアリマスガ、本年五月五日ニ開カレマシ

タ第一回通常總代會ノ報告書ヲ見マスト、

定期貸付利率ハ證書貸付、手形貸付等ノ五

分七厘以内、手形割引ハ一錢五厘以内トナッ

テ居リマスガ、事實ハソレヨリモ安ク御貸

出シニナルト云フ御話デアリマスカ

○小島政府委員 手形ノ割引率ニ付キマシ

テハ、預金部ヨリ低利資金ヲ廻シテ貰ッタ

モノニ付キマシテハ、先般話合ヒガアリマ

シタモノト別デアル、斯様ニ私ハ承知致シ

テ居リマス

○加藤委員 時間ガ經チマスノデソレ位ニ

シマシテ、其他ニモ色々々伺ヒタイ問題モア

ルノデアリマスガ、モウ一つダケ一番重要

ナ點ニ付テ伺ツテ見タイト思ヒマス、是ハ貿

易局ト兩方ニ關聯シタ問題デアリマスガ、

居ルノデアリマス、是ハドウ云フ事情デア

リマス、而シテ只今御例示ニナリマシタ撫

順炭ノ内地ニ輸入シマスル數量ガ少イシ、是

ハ石炭聯合會ニ於キマスル統制方法ガ惡イ

爲ニ、若クハ強ヒテ撫順炭ノ輸入ヲ阻止シ

テ居ル爲ニ、内地ニ入ラナイノデハナイトカ

ト云フ御話デアリマシタガ、左様ナ事實ハ

ナイト私共ハ考ヘテ居リマス、是ハ全ク満

洲ニ於キマスル各種產業ノ勃興ニ伴ヒマシ

テ、石炭ノ需要ガ急増致シマシタ結果、内

地ニ於テ期待シマス程ノ撫順炭ノ輸入ガ出

來難イ事情ニナッテ居リマスル次第デアリ

マス、今後石炭ノ增產計畫ト云フモノニ付

燒製上撫順炭ト云フモノガナイト、ドウシ  
テモ完全ニ燒ケナイト云フコトニナッテ居

リマス、即チ撫順炭ガサウシタ特殊ナ性能

ヲ持ッテ居リマスノデ、年々相當多額ノ撫順

炭ガ、陶磁器ノ方面ニ消費サレテ居ルノデ

アリマス、所ガ是ガ最近非常ニ不足ナノデ、ゴ

ザイマス、御承知ノ通り撫順炭ハ石炭工業聯

合會ト、日滿商事トノ間ニ契約ガ出來テ居

リマシテ、年々三百萬餘噸ノ契約高ニナッ

テ居リマスガ、ソレガドウモ最近ハ契約高

ダケ内地ニ輸入サレナイ、殊ニ昨年度ノ如

キハ三百万噸ノ中デ、輸入ガ百万餘噸モ契

約高ヨリモ少イト云フヤウナ狀態ニナッテ

居ルノデアリマス、是ハドウ云フ事情デア

リマス、其理由ハ石炭箇等ニ聞キマスト、撫順

ルカド云フコトヲ伺ヒタイノデゴザイマ

ス、其理由ハ石炭箇等ニ聞キマスト、撫順

炭ガ滿洲ニ於ケル產業勃興ニ依ッテ、其方面

ニ消費セラレタト云フヤウナコトヲ言ツテ

居リマスガ、私共ハサウデハナイト思フ、

是ハ恐ラク今日ノ強力ナ石炭「トラスト」

タ半面ニ於キマシテ、中小工業ガ燃料ノ暴

騰ト又其不足ニ惱シテ居ルト云フコトハ御

承知ノコトト思ヒマス、殊ニ陶磁器ナドノ關

ナイト思フノデアリマスガ、斯ウシタ今

日ノ物價騰貴ニ際シマシテ、殊ニ絕對必要

ナル燃料等ノ物價ヲ出來ルダケ急激ニ上ラ

ナイヤウニスル爲ニハ、此撫順炭ノ如キモ

ノヲ少クトモ契約高ダケ輸入シテ、ソレ以

テニ其協定高ヲ増サセルト云フ方針ヲ、一

ツ政府ガ御執リニナラナイト、此中小工業

家ハ非常ニ困ルノデハナイト思フノデア

リマス、サウ云フ點ニ付テノ政府ノ御考ヲ

ツシテ見タイノデアリマス



ルノデ、非常ニ遺憾ニ思ヒマス、尙ホ言葉ヲ強ク申シマスト、農林省ノ方ハ何トナク地方産業等ニ付キマシテモ餘リニ出シヤバリ過ギル、心臓ガ強過ギルト云フヤウニ考ヘル、而シテ商工省ノ方ハソレ等ニ對シマシテモ、ドウモ割負ケヲシテ居ルヤウナ感ガアル、是ハ地方ノ關係ニ致シマシテモ、ヤハリサウ云フ風ナ狀況ヲ目ノアタリ吾々ハ屢々見セ付ケラレルコトガアルノデアリマスガ、是ハ目下産業ノ振興ヲ叫ビマス時ニハ、ドウシテモ兩省相聯繫シテ産業ノ發展ニ盡シテ戴クコトガ吾々ノ希望デアリマス、此意味合ニ於テ以上三點ヲ伺ヒマシテ私質問ヲ打切ルコトニ致シマス

○小島政府委員 只今坂本委員ヨリ、工業組合ノ運用ノ實際的見地ニ立チマシテ種々御質疑ガゴザイマシタ、其御述ベニナリマンタ趣旨ハ、私共ト致シマシテモ洵ニ感ヲ同ジクスル點ガ多イノデゴザイマス、第一ノ金融ノ點ニ付キマシテ、手形ノ割引ト云フコトハ、工業組合ノ經濟的活動ノ上ニ於テ極メテ必要デアルト云フ點ハ、洵ニ御話ノ通りデアリマス、私共ト致シマシテモ、工業組合ノ金融事業ヲ整備致シマス上カラ、是非共手形割引ト云フコトハ、法制上之ヲ認ムルコトガ必要デアル、緊切デアルト云フ風

ニ考ヘテ居リマス、今回ノ法律案ニ於テハ、尙ホ組合制度ニ關スル商工、農林兩省ノ今ソコマデ及シニ居リマセヌガ、是非近キ將來ニ於テハ、手形ノ割引ト云フコトヲ工業組合ノ金融事業ノ中ニ加ヘタイト、斯様ニシテモ、アリマシタガ、是モ同様ニ、工業組合ニ於テ組合員ノ貯金ノミナラズ、其家族ノ貯金ニ付テモ取扱フト云フヤウナコトニ付テモ、篤ト考究致シタイト思ツテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、第二ニ同業組合トノ關係ニ付キマシテ御尋ニナリマシタガ、現在ノ法制ニ於キマシテハ、工業組合ノ組合員ハ重要輸出品ニ關シマス限り、重要物產同業組合ニ加入セズ、又之ヲ脱退致ス途ガ開ケテ居ルノデアリマスケレドモ、内地織物其他ノ物產ニ付キマシテハ、依然トシテ工業組合員ハ重要物產同業組合ニ加入スペキ義務ヲ負ウテ居リマス、此點ニ於キマシテ二重ノ加入ヲシテ居ルト、ソレダケノ負擔ヲ受ケルト云フヤウナ不便ガアルト云フ點ニ付キマシテモ、御質問ノ點ハ御尤ト存ジマス、是等ノ點ニ付キマシテハ、出來ル限リ是等ノ二重負擔ト云ヒマスカ、ソレ等ノ統制ノ混淆ト云ヒマスカ、ソレ等ヲ改善致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、

ニ考ヘテ居リマス、今回ノ法律案ニ於テハ、尙ホ組合制度ニ關スル商工、農林兩省ノ今ソコマデ及シニ居リマセヌガ、是非近キ將來ニ於テハ、手形ノ割引ト云フコトニ付テノ組合ノ金融事業ノ中ニ加ヘタイト、斯様ニシテモ、アリマシタガ、私共モ出來ル限り農業組合ノ金融事業ノ中ニ加ヘタイト、斯様ニ考ヘテ居リマス、尙ホ家族貯金ニ付テモ御話ガアリマシタガ、其連絡統一ニ遺憾ノナイヤウニ今後共努力致シタイ、斯様ニ於テ組合員ノ貯金ノミナラズ、其家族ノ貯金ニ付テモ取扱フト云フヤウナコトニ付テモ、篤ト考究致シタイト思ツテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、第二ニ同業組合トノ關係ニ付キマシテ御尋ニナリマシタガ、現在ノ法制ニ於キマシテハ、工業組合ノ組合員ハ重要輸出品ニ關シマス限り、重要物產同業組合ニ加入セズ、又之ヲ脱退致ス途ガ開ケテ居ルノデアリマスケレドモ、内地織物其他ノ物產ニ付キマシテハ、依然トシテ工業組合員ハ重要物產同業組合ニ加入スペキ義務ヲ負ウテ居リマス、此點ニ於キマシテ二重ノ加入ヲシテ居ルト、ソレダケノ負擔ヲ受ケルト云フヤウナ不便ガアルト云フ點ニ付キマシテモ、御質問ノ點ハ御尤ト存ジマス、是等ノ點ニ付キマシテハ、出來ル限リ是等ノ二重負擔ト云ヒマスカ、ソレ等ノ統制ノ混淆ト云ヒマスカ、ソレ等ヲ改善致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、

○増田委員長 質問ハ是ニテ終了致シマシタ、明日ハ午前十時ヨリ開會致シマシテ、討論ニ入ル積リデアリマスカラ、ドウゾ必ズ御出席ニナルヤウニ希望致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後六時十一分散會